建築と社會

都市美觀號

内容

美觀並風致地區建議案
都市の美觀
都市計畫と都市連絡
都市交通の立體化
我國都市計畫の現勢
他に都市問題研究記事五項
沖繩の民家 …… …… 武田五一博士

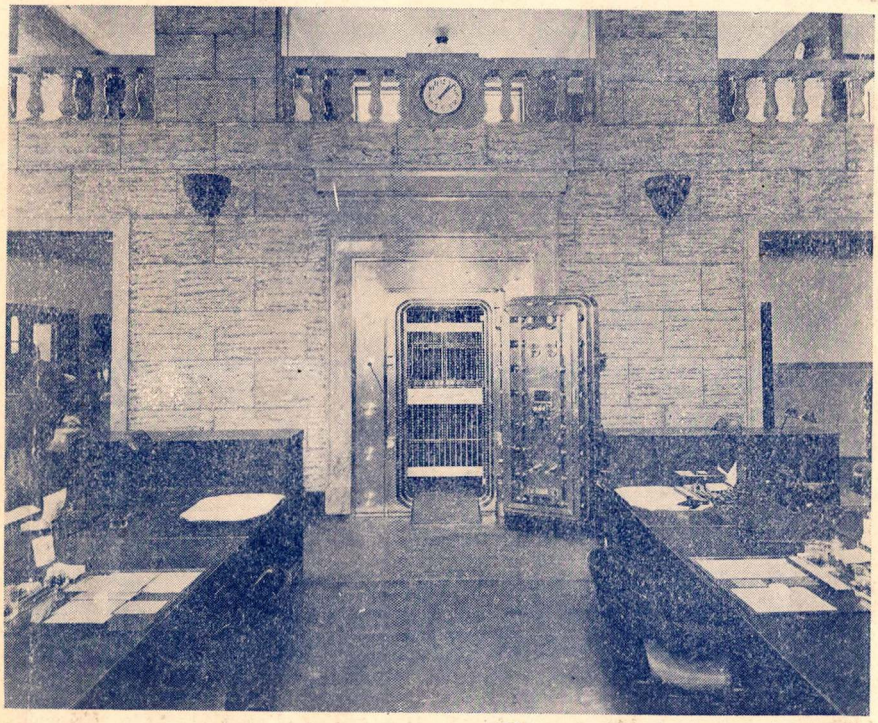
昭和四年七月一日

第十二輯
第七號

日本建築協會

モスラー金庫扉及内部設備

斯界ノ權威!!



堅牢無比!!

(寫眞正面は最近竣工のナショナルシチー銀行大阪支店御採用の金庫室入口扉)

一手販賣代店理

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區内幸町一ノ三(大阪ビル内)
電話銀座(57)5330—5335—(6)2831—2833(3)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル内)
電話本町　1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號(延長許可)外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式シヤッター
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類
特許不二式サッシ受托販賣

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地(電話三田(三三)七三三七・七三八三)

(電話土佐堀二七二五)大阪市此花區上福島中二・所詰員張出付取



都市美觀號　建築と社會　第十七輯

目次

◇卷頭　都市の美觀問題……九

寫眞版＝大大阪新態・舊態　大手橋……九

◇美觀地區並風致地區建議案……一〇…二

◇都市の美觀……日本建築協會會長工學博士　片岡安……二…二五

◇斯くあるべき地區(1)……法學士　岡本彰一……一五…一七

◇二十四間道路と建築の關係(1)……大阪市土木部　岡崎早太郎……一七…二二

◇都市計畫より見たる都市交通の問題……大阪市土木部計畫課長工學士　內山新之助……二三…二五

◇都市連絡と都市計畫……京都市土木課長　溝口親種……二六

◇交通の立體化——步行者の保護——……大阪朝日新聞社調查部長　藤田進一郎……二七…二九

◇我國に於ける都市計畫の現勢(1)……都市計畫大阪地方委員會　加藤善吉……二九…三四

◇都市に於ける公園新設と受益者負擔制度(1)……大阪市土木部計畫課　溝江五月……三四…三七



◇都市計畫受益者負擔に關する若干の考察……(1)……大阪市主事 法學士 玉井猛……三七…四〇

◇思ひつく事など……(1)……大阪府建築技師 工學士 林豪藏……四〇…四二

◇沖繩の民家……(1)……京都帝國大學教授 工學博士 武田五一……四三…四七

◇建築工事の勘定と事務……(3)……由良基夫 中島智喜……四八…五三

◇春季大會參加記……編輯部……五四…五五

附錄

◇寫眞 國際新建築集……二七…三〇

◇寫眞 京阪神新建築集……二七…三四

◇會報……三一…三六 ◇編輯後記……三六 ◇新刊紹介……三六 ◇本誌廣告目次……五六

眞寫繪口

◇大阪府廳屋上より大大阪を御俯瞰の天皇陛下……一

◇行在所紀州御殿へ御還幸の天皇陛下・大阪市奉迎式場御便殿……三

◇大阪市廳の奉迎裝飾・御上陸地築港棧橋の奉迎門・大阪府廳前廣場の裝飾塔……四

◇大阪驛附近都市計畫事業模型・阪急ビル附近都市計畫事業配景圖……五

◇新築近き大阪市美術館模型・近く堂々と新裝の容姿を現す大江橋の模型……六

◇太閤居城を今に返す再建の大阪城天主閣・大阪城天主閣新築設計圖……七

◇大阪市が御大禮記念として計畫された大阪城公園鳥瞰圖・大阪市美術館鳥瞰圖……八

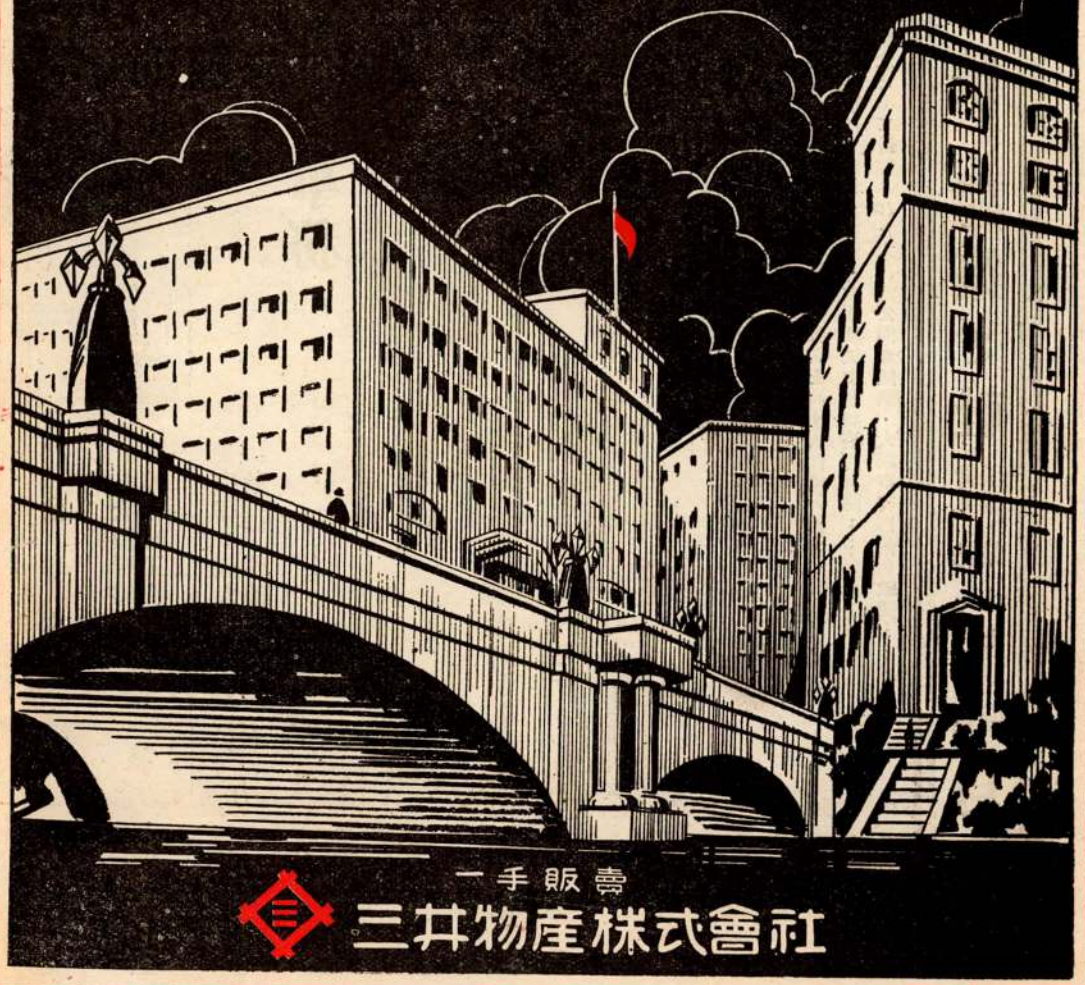
都市美觀號 建築と社會 第十二輯 第十七號 目次

小野田白色ポルトランドセメント

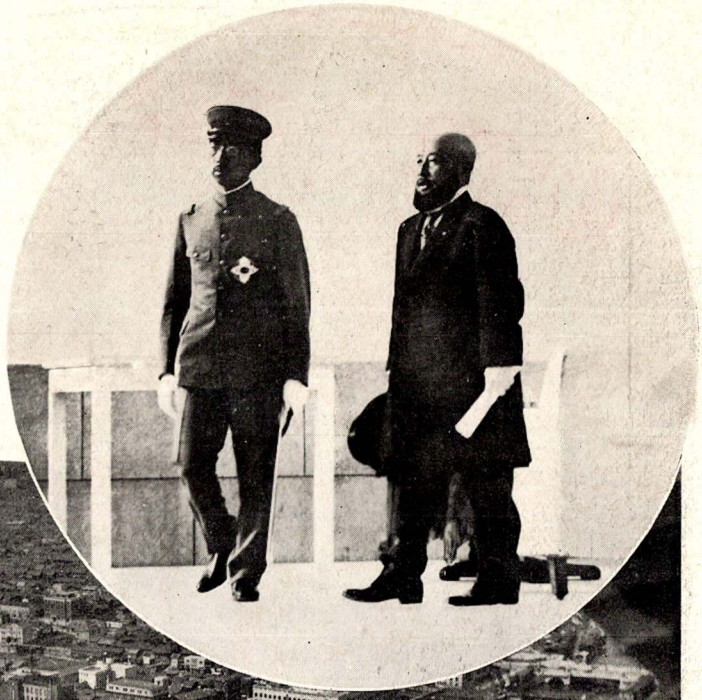
小野田ポルトランドセメント

創立　明治十四年
資本金　金参千万円
年産額　八十八万瓲(五百二十万樽)
本社工場　山口県厚狭郡小野田町

支社工場
大連市外周水子
朝鮮平壌府外勝湖里
朝鮮咸鏡南道線川内里
名古屋市南区熱田東町

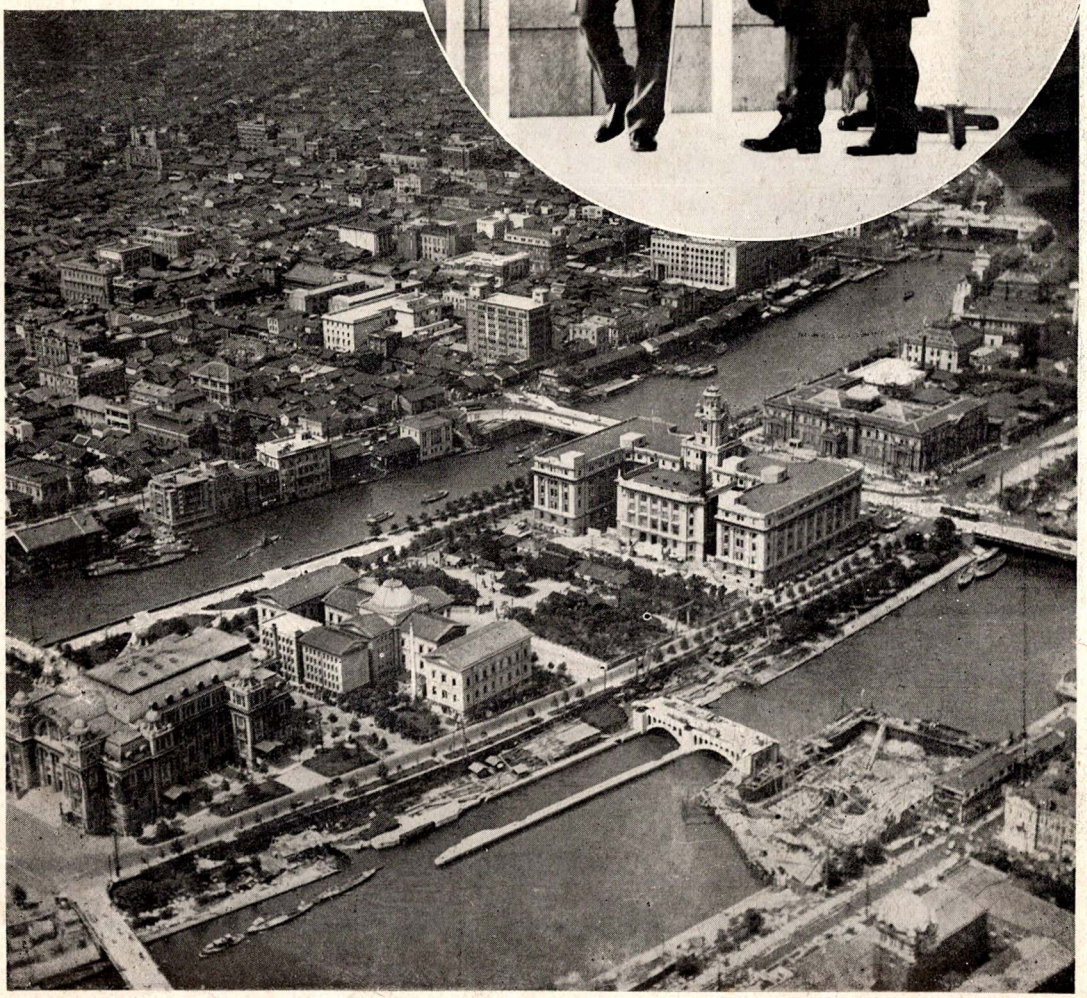


一手販賣
三井物産株式會社



榮光の大阪 (1)

關西行幸の天皇陛下には長くも大阪府廳屋上より大大阪の殷賑の狀を覽はせたまふ(六月四日)



(大阪朝日新聞社撮影)

會告

貸家建築ニ關スル展覽會開催

本協會ハ建築知識普及ノ爲昨秋市内大丸ニ於テ展覽會ヲ開キ好成績ヲ得タリ、今夏引續キ貸家建築ニ關スル展覽會ヲ左ノ通開催セムトス冀クハ本協會々員諸彦ノ熱誠ナル御後援ト懇切ナル御賛助ニ依リ本展覽會ヲシテ益々有意義ナル事業タラシメムコトヲ切望ス

一、會　場　市内心齋橋大丸五階

一、會　期　八月一日自十三日至十八日六日間

一、開場時間　毎日自午前八時半至午後九時

一、陳列部類

計畫部
構造部
保健衛生部
室内設備部

昭和四年七月

社團法人　日本建築協會

會告

本號別項廣告ノ貸家住宅設計圖案懸賞募集規程第十二條ノ審査員ハ左ノ諸氏ニ願フコトニ決定致シマシタ

小笠原銀氏　　小川安一郎氏

葛野壯一郎氏　　松本儀八氏

藤井厚二氏

（イロハ順）

昭和四年七月

社團法人　日本建築協會

煖房ト冷房

AIR CONDITIONING

大和工業株式會社

代表取締役 山崎寛二郎

代表取締役 萩原貞

宮崎式ペーチカ

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
衛生工事　汚水淨化裝置
給水給湯裝置　蒸氣諸裝置

温濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
氣送管(ユニウマチツクチユウヴ)裝置　眞空掃除(バキユウムクリナー)裝置

以上の設計、監督、工事請負並に材料販賣

本社 大阪北區曾根崎上四丁目三三　電話局北一〇七八・六二九一番　(オサカダイワ)(略受語電)
支店 東京市京橋區南傳馬町三丁目五(第一相互館二〇八)　電話局京橋三二三七番　(トウケイダイワ)(略受語電)

"ACME" ULTRAVIT-GLAS

"アクメ"ウルトラヴイット

(理想的紫外線透過窓硝子)

過する理想的窓硝子
紫外光線を多量に透



ふる太陽光線中の
に可驚活力を與
凡ゆる生物の生活

紫外線透過率試験%(獨逸伯林國立物理工業試驗所)

波長	340	320	310	300	297	295	290	280	uu
ウルトラヴイット硝子	85	83	77	63	58	53	42	22	%
普通硝子	43	1	0	—	—	—	—	—	—

歐米諸國に於ては既に多數の病院結核療養所、養老院、保育院、動物園、農園、畜産場等に使用し更に進んで積極的に發育助長健康增進等の一般衛生的設備として家庭、學校を初め會社銀行等に盛んに利用され夫ぞれ驚くべき好成績を擧げて居ます折角御使用あらんことを

(御照會次第明細型錄送呈可致候)

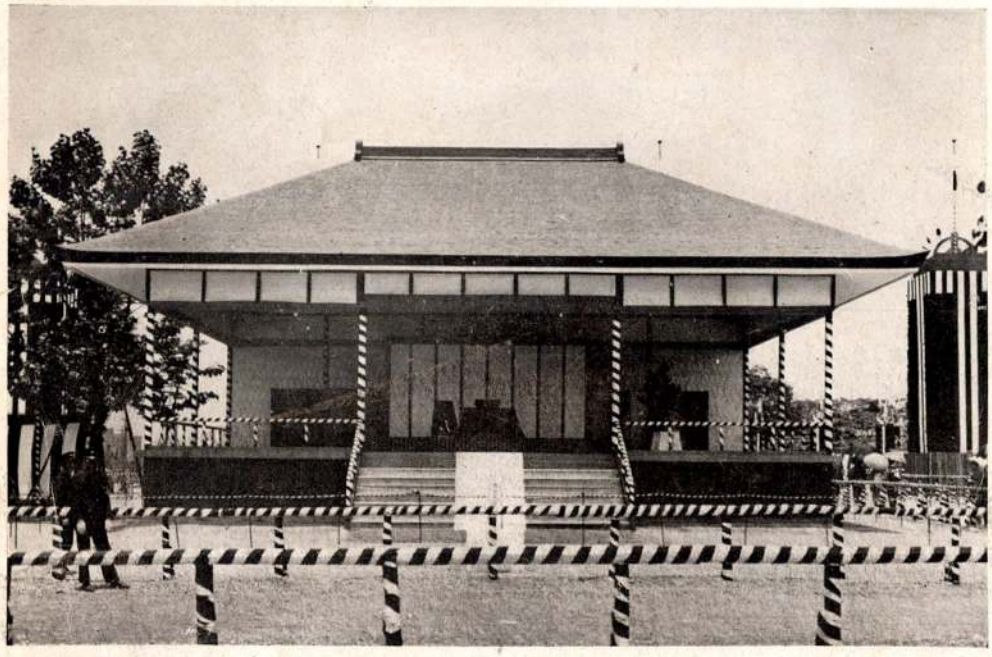
株式會社

島津製作所貿易部

京都市河原町二條南

東京、福岡、大阪、大連、伯林、

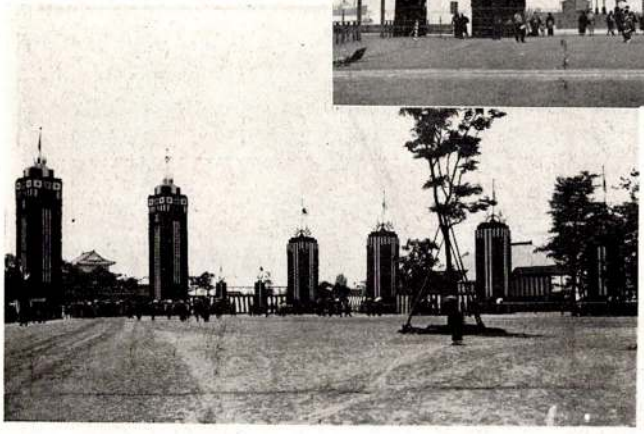




榮光の大阪(2)　　上・行在所紀州御殿へ御還幸の天皇陛下　　下・大阪市奉迎式場御便殿

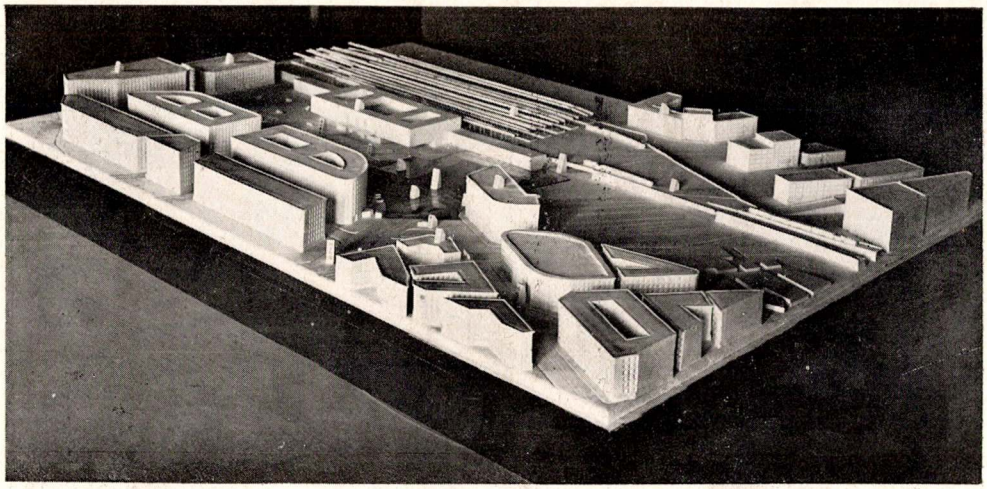


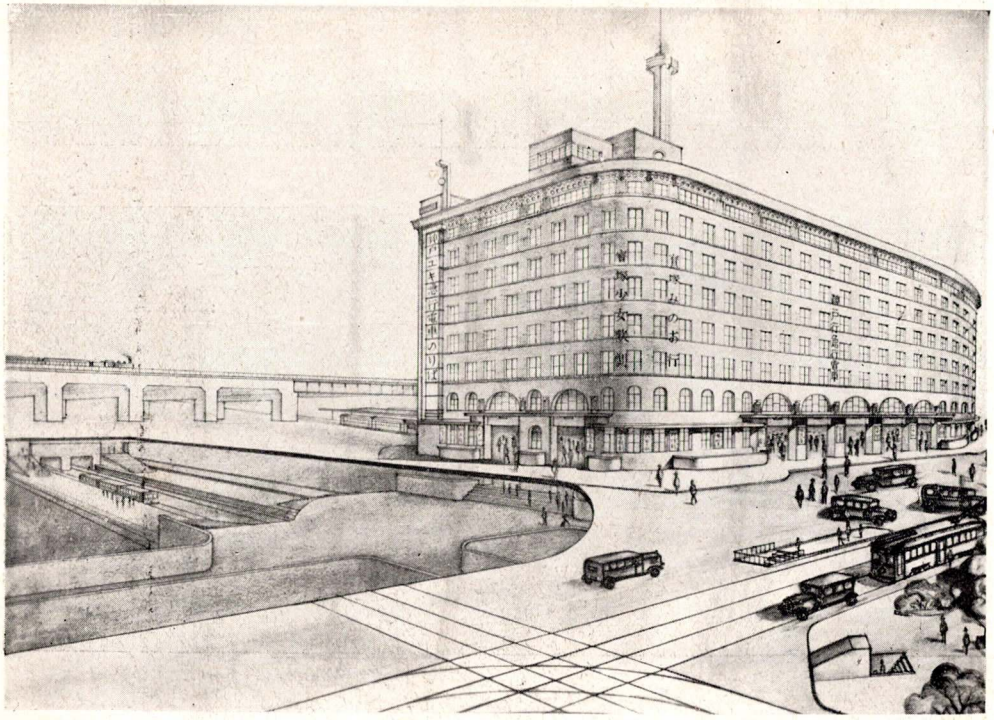




榮光の大阪 (3)

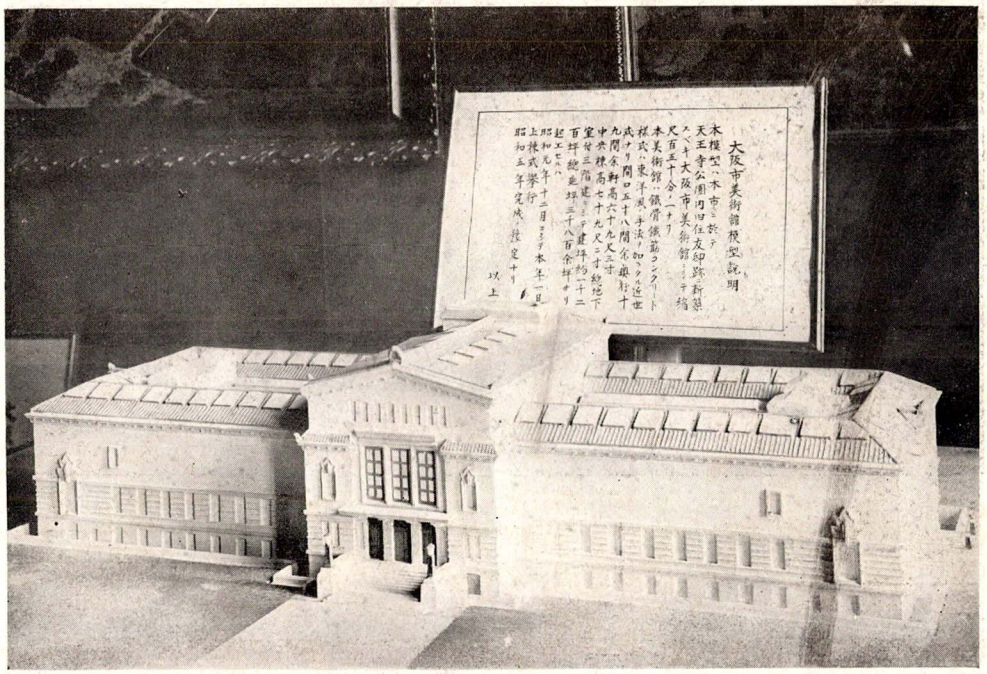
上・大阪市廳へ御臨幸の陛下と奉迎裝飾　中・御上陸地築港淺橋の奉迎門　下・大阪府廳前廣場の裝飾塔

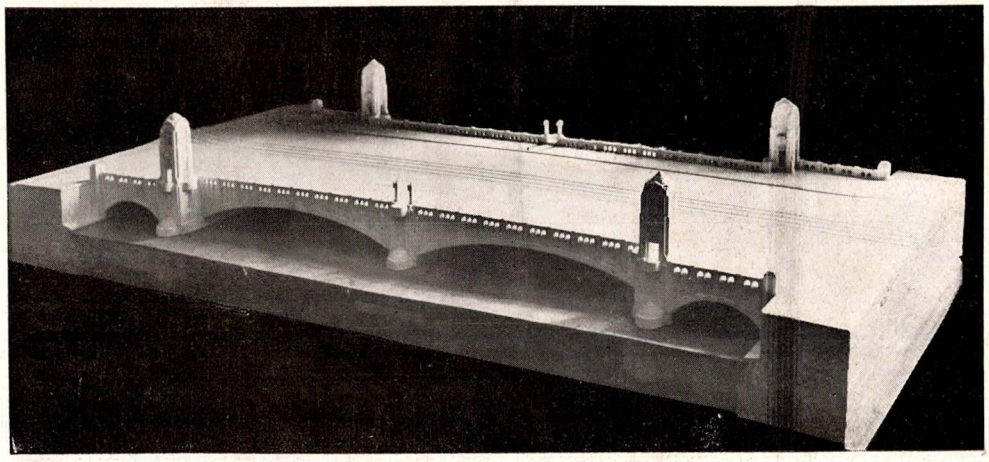




賜天覽於大阪市廳

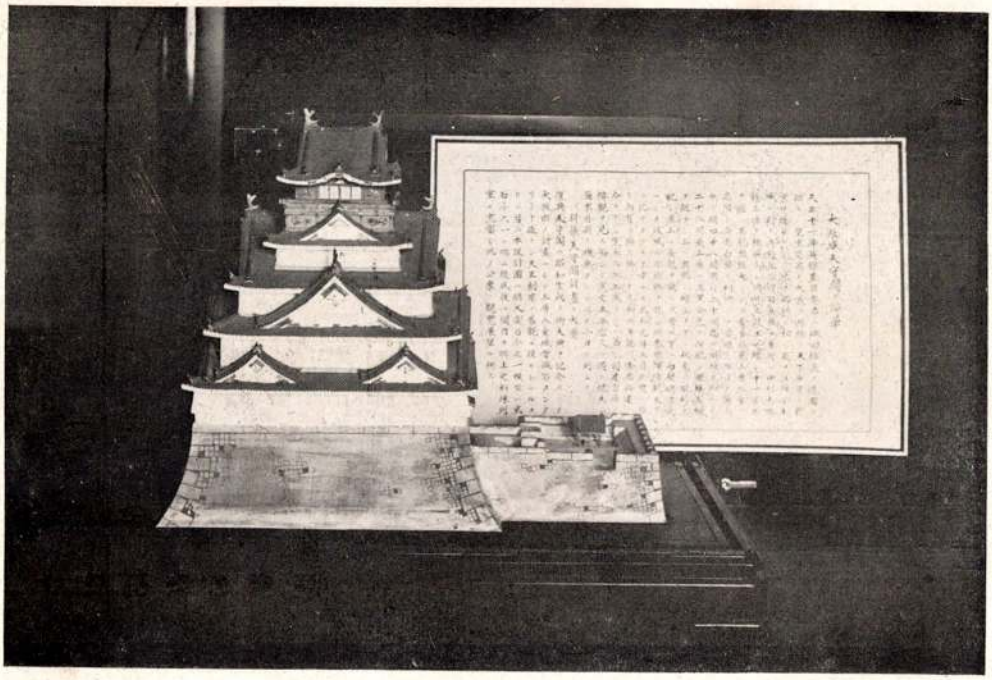
上・大阪驛附近都市計畫事業模型　　下・阪急ビル附近都市計畫事業配景圖

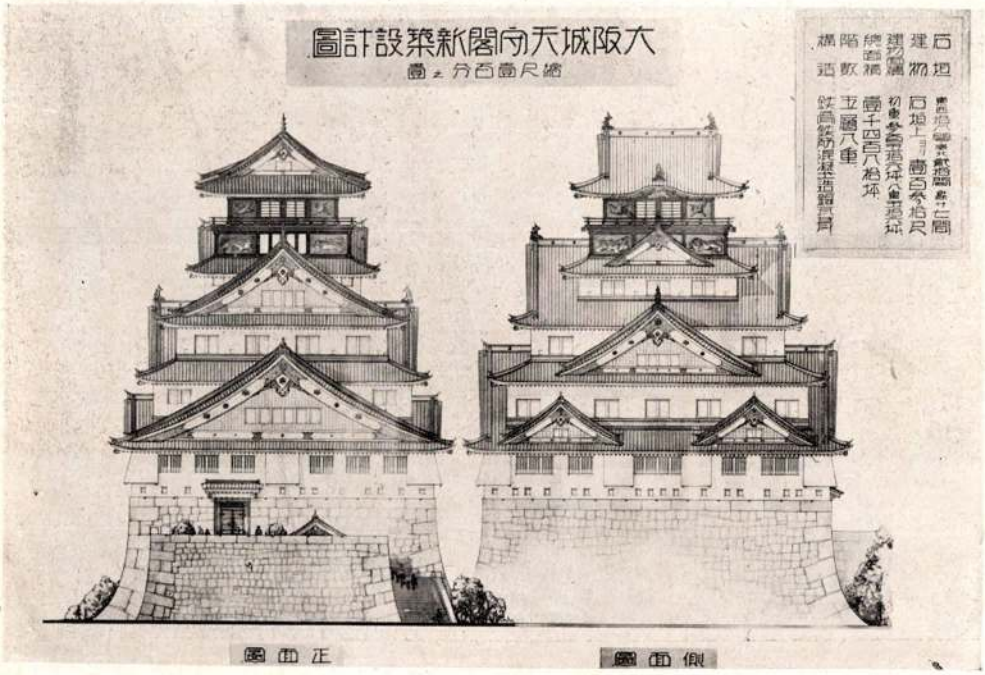




賜天覽於大阪市廳

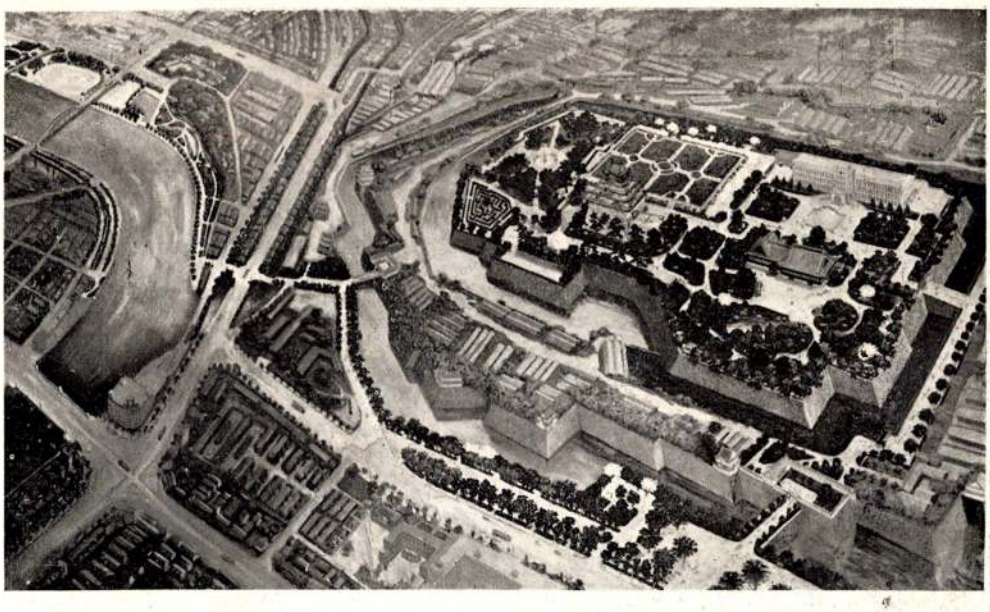
上・新築近き大阪市美術館模型　　下・近く堂々と新裝の容姿を現す大江橋の模型

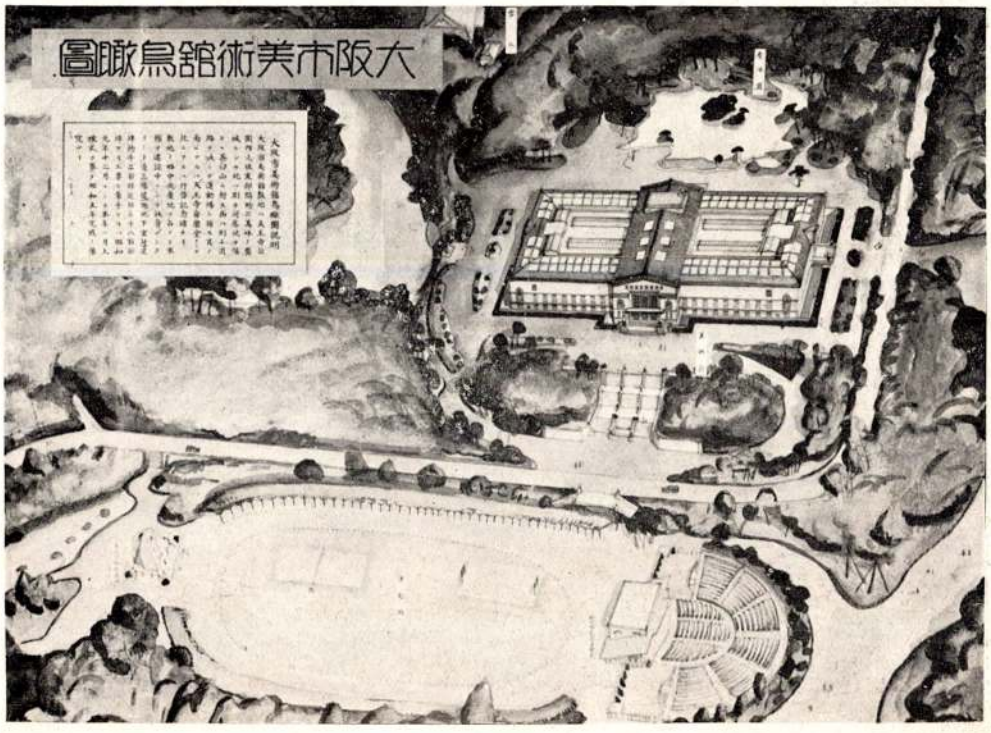




賜天覽於大阪市廳

上・大閣居城を今に返す再建の大阪城天主閣模型　　下・同上新築設計圖





賜天覽於大阪市廳

上・大阪市が御大禮記念として計畫された大阪城公園鳥瞰圖　　下・大阪市美術館鳥瞰圖

夏ノ蟲蚊ノ

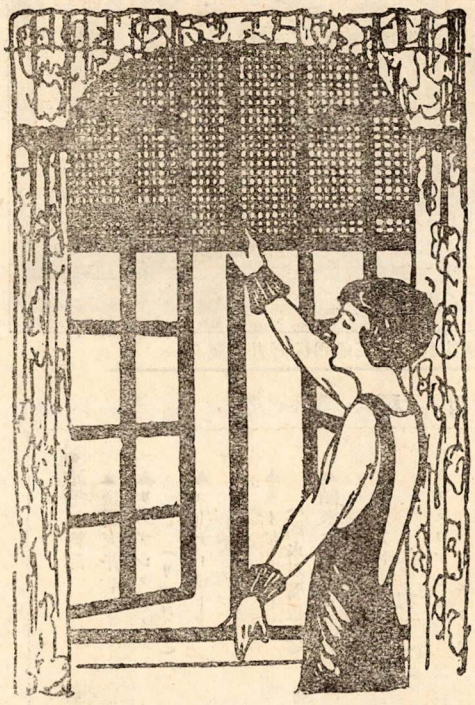
ロールスクリーン

Rolscreens

The Ideal Screen For Casements

特許第74197號

近來模造品多數あり本品御指定ありたし



（型錄贈呈）

日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目

電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町

電話日本橋　二二四番　三一六九番　三一六八番

晝は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便なロールスクリーンの御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實にスクリーンの問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此のスクリーンの用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我がロースクリーンの出現及び提供であります

◆耐震耐火—品質優良—優美高尚—價格至廉◆

金屬天井

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
▲金屬天井
▲リブプレックス（リブラス）
▲コーナービード
▲內外メタルラス
▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
▲船來ウオールボード各種
▲ルーフキング（便利瓦）
▲アスファルトフエルト
▲其他建築材料一般

◆木材部
▲米材各種
▲チーク材
▲ラワン材
▲床板各種

◆穀類部
▲內外小麥粉
▲內外麩
▲內外米

◆工業部
▲製粉工場
▲製米工場
▲金屬鈑工場

型錄進呈

田村商會

本店
神戶市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五）

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八一〇）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晚香坡市ダンレビー街
電話 八八一

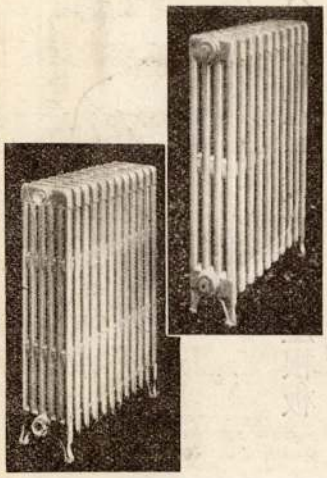
工場
神戶市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇）

AMERICAN RADIATOR COMPANY
NATIONAL RADIATOR COMPANY

アメリカン ラヂエーター會社製

ナシヨナル ラヂエーター會社製

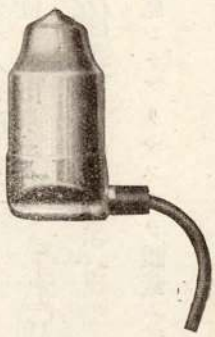
煖房用汽罐放熱器及附屬品一式



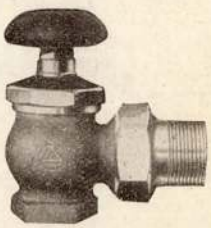
Ideal Classic Radiator



Ideal Red Jacket Boiler



Ideal Airid
Air Valve



No. 999 Arco
Packless Valve

日 本 代 理 店

大倉商事株式會社

東京銀座　大阪東區釣鐘町

創業　明治二十六年
製造最大能力　二千五百萬斤

營業品目

印銅、眞鍮、輕銀、輕合金アルモデユール板類、
輕銀各種器物、ストツプバルブ並ニ特許分銅屋根板

壁張
分銅屋根板
應用

特許

分銅屋根板

分銅屋根板は經濟的であります

現今一等瓦參拾圓モスルニ比スレバ約六割ノ貳拾圓内外デ立派ナモノガ葺上リマス尙坪當リ葺上拾四圓位ヨリ出來マス

分銅屋根板は體裁優美であります

普通銅板ニ特殊加工ヲ施シテアリマスカラ體裁ハ極メテ優美デアリマス

分銅屋根板は應用範圍が廣い

本葺瓦棟葺棧葺平葺四半張綾目張等ハ勿論壁張腰張等ニモ至極適當ナモノデアリマス

（型錄進呈）



日本伸銅株式會社

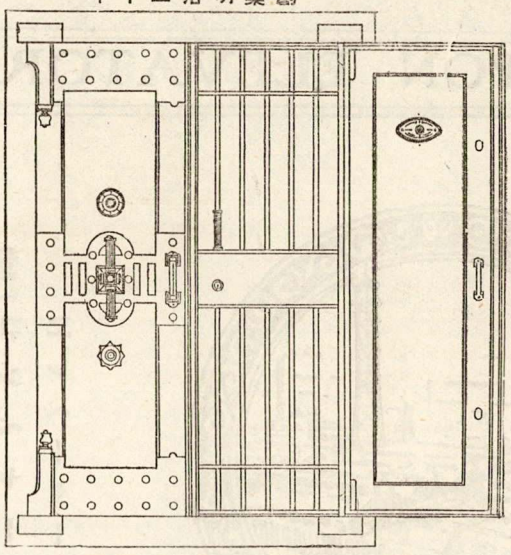
大阪市北區天神橋筋四丁目

堀川（35）自至 四四〇 三三一六番 番（夜間及休日專用）

創業明治二十年

新案特許 **火焰遮斷裝置防火扉**は

國立大阪工業試驗所に於ける耐熱試驗の結果
最高温度攝氏壹千貳百八拾度
連續加熱七時間十五分の新記錄を示せり



金庫室防火扉

金庫室は完全なる扉と
內部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絕對的
災害防止の效果を實現す

御用命を蒙り納入せる尊名

日本銀行名古屋支店
三井銀行
三十四銀行
山口銀行
野村銀行
伊藤銀行本店
名古屋銀行
明治銀行
大垣共立銀行
濃飛農工銀行
森原銀行
濱松銀行
中埜銀行（愛知縣）
大野銀行
灘商業銀行
武庫銀行
西海商業銀行

久美濱銀行
大垣貯蓄銀行
大阪貯蓄銀行
內國貯金銀行
朝日堂株式會社
野村證券株式會社
奈良信託株式會社
東邦瓦斯株式會社
三井信託株式會社
三井物産株式會社
大日本人造肥料株式會社
豐國火災保險株式會社
東洋海上火災保險株式會社
三菱電氣神戶製作所
松阪屋呉服店
金光教大阪教會所
岡谷合資東京金物部

岡谷本邸（名古屋）
萩町信用組合
株式會社鹽野義商店
八馬邸（芦屋）
竹內邸（芦屋）
安藤商店（名古屋）
池田商店（名古屋）
岩津邸（名古屋）
瀨邸（京都）
鄕邸（京都）
宅邸（三重縣）
西宮市廳舍
多聞合資會社（魚崎）
村邸（中）
呉銀行本店

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

大塚鐵工所金庫部

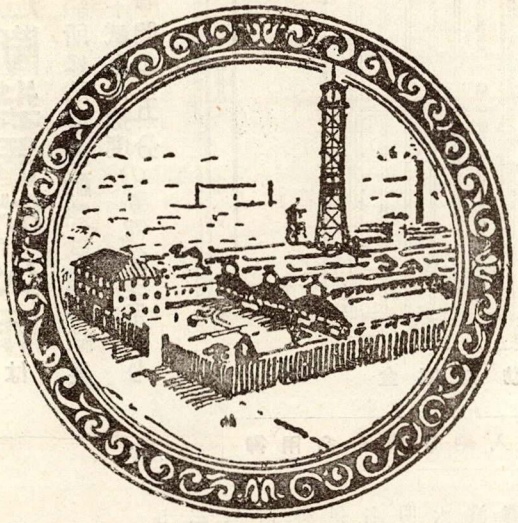
大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

所主 瀨村松之助

電話西五〇一七番

工場	九條南通一丁目	三軒家上之町	北境川町

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械	ホイスト
	井戸掘機
	エスカレーター
	ケーブルカー
	コンベヤー各種
	エレベーター各種

設計製作

日本エレベーター製造株式會社

本　社　大阪市東區中道川西町
電話東(94) 2367

工　場　兵庫縣尼崎市外神崎驛北側
電話土佐堀(44) 7328・7329

支　店　東京驛前丸ノ內ビルヂング四階
電話丸ノ內(23) 3073・3074

取締役社長　工學博士　片岡安

專務取締役　工學博士　堀覺太郎

專賣特許　東松式外參拾壹件

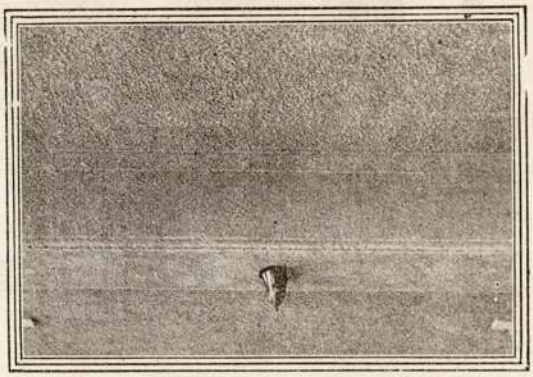
コンクリート天井

本壁天井

防響裝置

專賣特許

劇場・公會堂・講堂
コンクリート建造室内の
反響（聲の響き）防ぐ壁なり



松井式スポンジ壁、（コルクとゴム
を四分厚みに塗り上ぐ）毛布張
其他防響裝置施工工事一切

大阪市立靱尋常小學校　天井壁

濟計設の手着未

講堂	三ケ所	
劇場	二ケ所	
公會堂	一ケ所	

カタログ申越次第進呈

大阪市西區南堀江上通五丁目

松井組

電話櫻川一一七〇番

コンクリート地付

本壁地付

床板

冷藏防熱用

製産高（工場設備）東洋第一位!!

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二

大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九

東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番

万年スレート

石綿セメント製万年スレート板
万年壁
万年パイプ
製造販賣請負



大阪市西區新町南通三丁目二番地

万年スレート株式會社

電話新町四〇七〇番

工場　大阪市西成區千本通七電天下茶屋二四八〇
神戸市東尻池町運河堀止（電兵一一〇九番）
岡山市仁王町六〇番地（電話一〇三番）
福岡市渡邊通三丁目（電話三三一二番）
熊本市山崎町四八番地（電話二七〇六番）
鹿兒島市新屋敷町九一（電話七四二番）

出張所　朝鮮。京城府

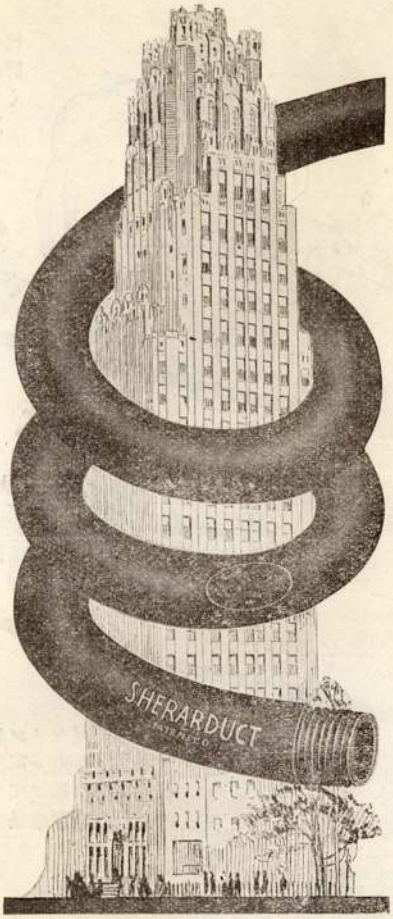
出張員

獨特の主張

不正工事に原因するスレート葺の汚名を雪ぐと同時に其の眞價を御認識願度きためにスレートの製造と葺上工事との不可分を主張致します
從て一般スレート販賣店の敵視をも顧ず直營工事部を設けて居ります

シエラーダクト

絶對防錆



優秀第一

型錄進呈

日本總代理店

ナンコク商事株式會社

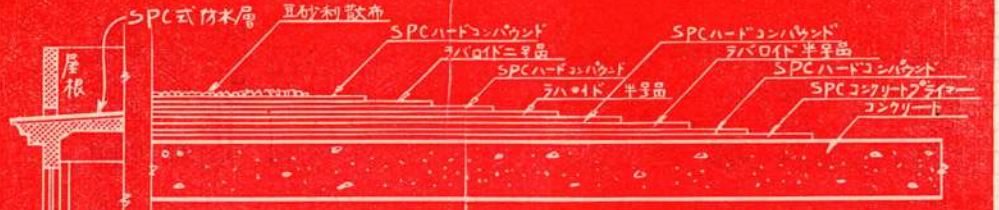
東京　大阪　紐育

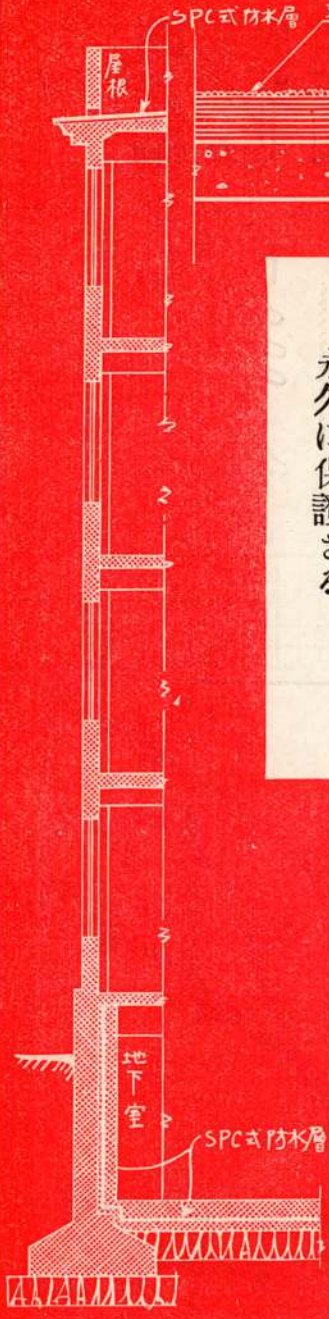
丸ノ内仲通十號館　堺筋・野村ビル　チヤーチ街

淺野波形板


母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材
淺野スレート株式會社
札幌 北三條東四ノ一 電話 五九八
名古屋 三町目治屋町鍛冶屋町 電話中 七九〇一
大阪 北區中之島五ノ八 電話土佐堀 二〇五六 八二〇七 長八
東京 京橋區三十間堀三 電話 一八六〇 一八六一 一八六二
門司 白木 電話 二九三一 長二
弘製トンメセ綿石の強靱
ゐ下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

淺野壁板





SPC式 ラバロイド防水層

防水は
建築の生命である
防水の生命は
ラバロイドに依て
永久に保證さる

大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）
門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 六九〇〇番 一五六〇番）

國産優秀品

特許 ヒトロタイル

カタログ進呈

溫泉、劇場
浴場、病院
便所、食堂

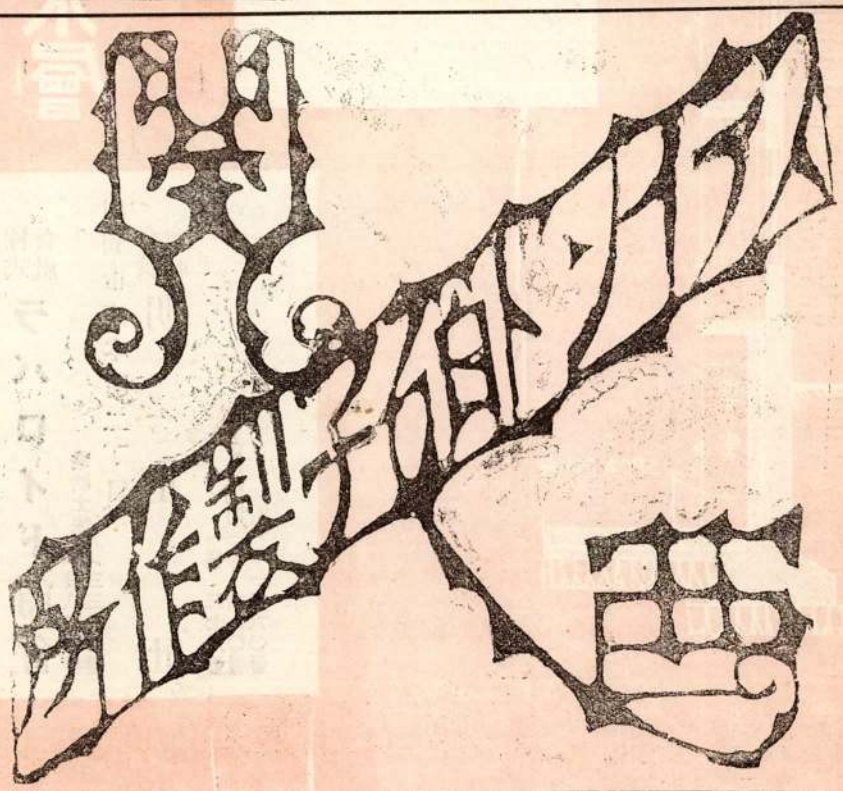
體裁優美
堅牢無比
浸透絶無

御報次第
設計裝置
見積參上

日本ビトロ工業營業所

營業所 大阪市北區梅ヶ枝町
電話 北二三三九番
振替 大阪八五九三二番

工場 大阪市東成區鯰江町四丁
電話 鯰江三十九番



大阪市港區市岡町五三二

關西ステンドグラス製作所

電話西二二三四番

光榮

聖上陛下

大阪市行幸に際し　畏くも拜謁賜菓の恩命を拜し御行在所に於て弊社製品の　天覽を賜ひ又聖旨により大阪工場へ土屋侍從御差遣の光榮を賜ふ、洵に感激恐懼の至りに堪へず、弊社は曩に皇太子殿下より侍從御差遣の恩命を拜し今又此光榮を荷ふ、爾今益々奮勵國産の振興に微力を致し誓て鴻恩の萬一に報ひ奉らん事を期す。謹で大方の各位に報告し積年の眷顧に對し感謝の意を表す。

日本ペイント株式會社

社長　小畑源之助

純國産

ニュース印（日本ドアーチエック製品）

扉閉鎖器（ドアーチエック）各種

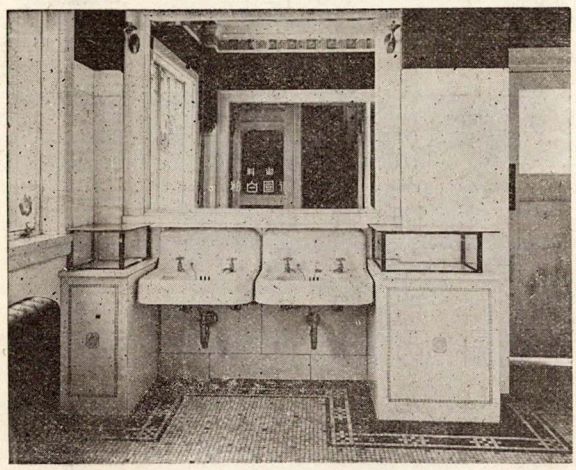
重なる納入先

農林省　大阪朝日新聞社
八幡製鐵所　大阪毎日新聞社
大阪鐵道局　大阪遞信局
呉海軍工廠　寶塚ホテル
株式會社大丸　大林組
丸龜市役所　清水組
大阪商船會社　大倉組
大阪鐵工所　大阪高等工業學校
明治海運　其他省略

發賣元

合資會社 高陽商店

大阪市西區立賣堀南通四丁目
電話新町四三九六番
振替大阪二一二五二番



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ

3尺×6尺

色合…白、黑、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地

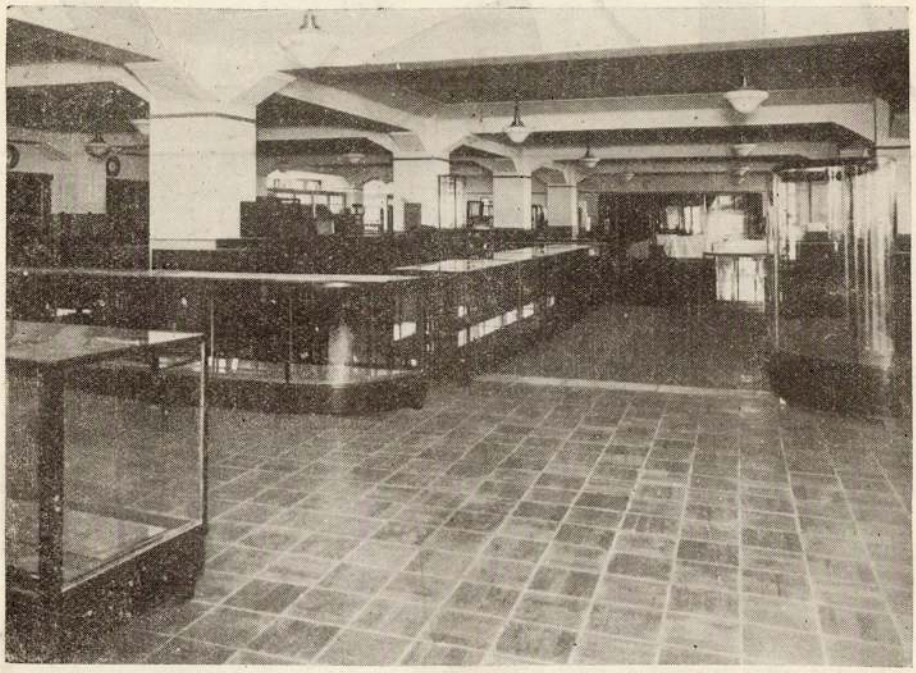
大阪ビトロライト工事合資會社

電話櫻川二二一四番

出張所　東京市日本橋區江戸橋二丁目二番地　電話日本橋(24)〇九六九番

◀寫眞は新案特許・專賣特許リード床御使用の◀

阪急マーケット



◎竹中工務店　施工

◎施工面積　一千百坪

理想的根太無床板

特許ピトリウム床
特許ピトチック內外壁
特許葵式フローリング
ブロック

專賣特許
練革床會

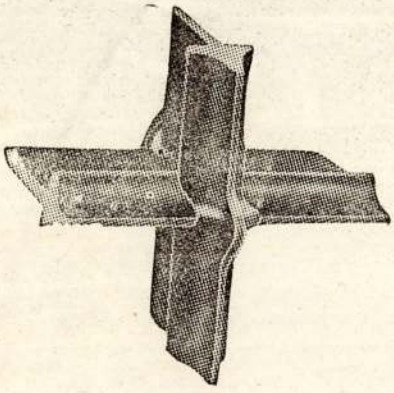
實製剝
楢床板商

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事
葵

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西(長)四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町二ノ一　電話京橋三九五・九三二

ルミナ



壊れない。スチール サッシ

變んな言葉のやうですが、實際は、
スチール・サッシでも、すぐ壊れて仕
舞ふのです。それは鋼質にもよりますが大体はジョイントからであります

ルミナ・スチール・サッシは堅・横共一本のバアー・セクシヨンが通貫して居りますので、壊そうとも壊れません。之れが特長の一ツ。

デトロイト・スチール・プロダクト會社
日本特派代表者
エッチ・イー・ルート事務所
横濱市中區山下町五十四番館

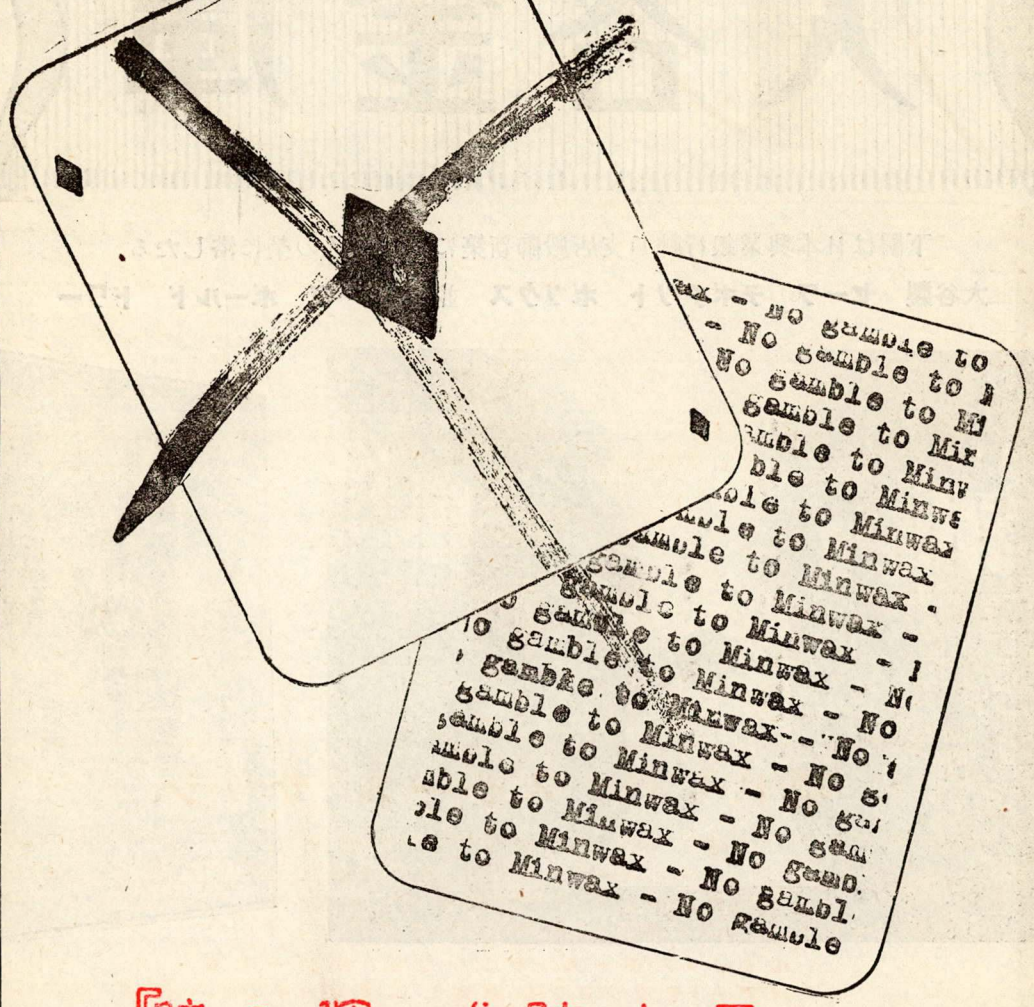
代理店

東京・大阪　島貿易株式會社
朝鮮京城　株式會社伊藤商行
南滿洲大連　合名會社原田組

スチール・サッシ

AD-48-L,B

MINWAX



『時の運』式防水工を止めよ

物理的構層によつて
責任施工する
『ミンワツクス』防水工に任せ

米國ミンワツクス會社
日本特派代表者
エツチ・イー・ルート事務所
横濱市山下町五十四番館

＝代理店＝

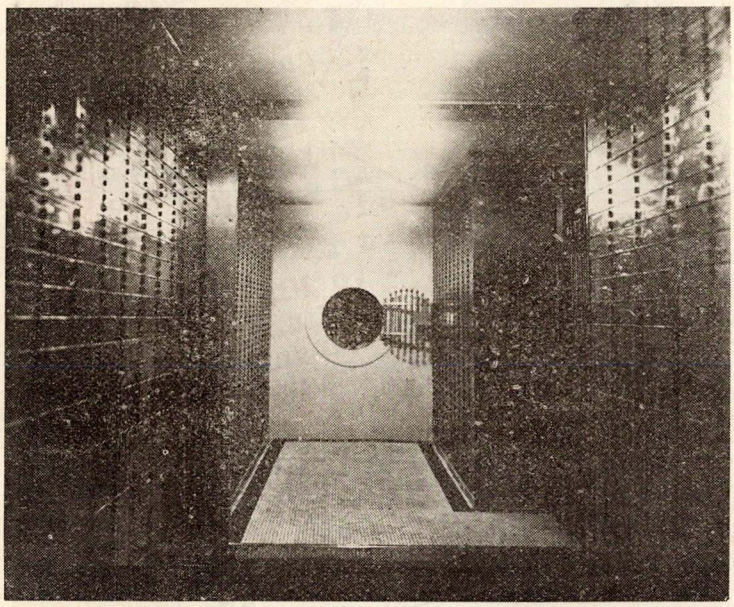
東京・大阪	島貿易株式會社
朝鮮京城	株式會社伊藤商行
南滿洲大連	合名會社原田組

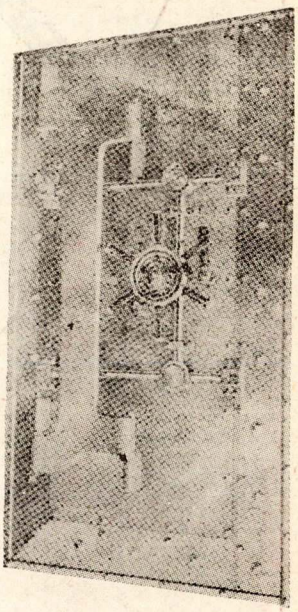
AD-47-M.B

大谷金庫

下圖は日本興業銀行神戸支店殿御新築に際し納入の榮に浴したる

大谷製　セーフ　デポヂツト　ボツクス　並に　**セーフ　ボールド　ドワー**





株式會社

大谷金庫店

大阪支店　大阪市東區堺筋平野町停留所前

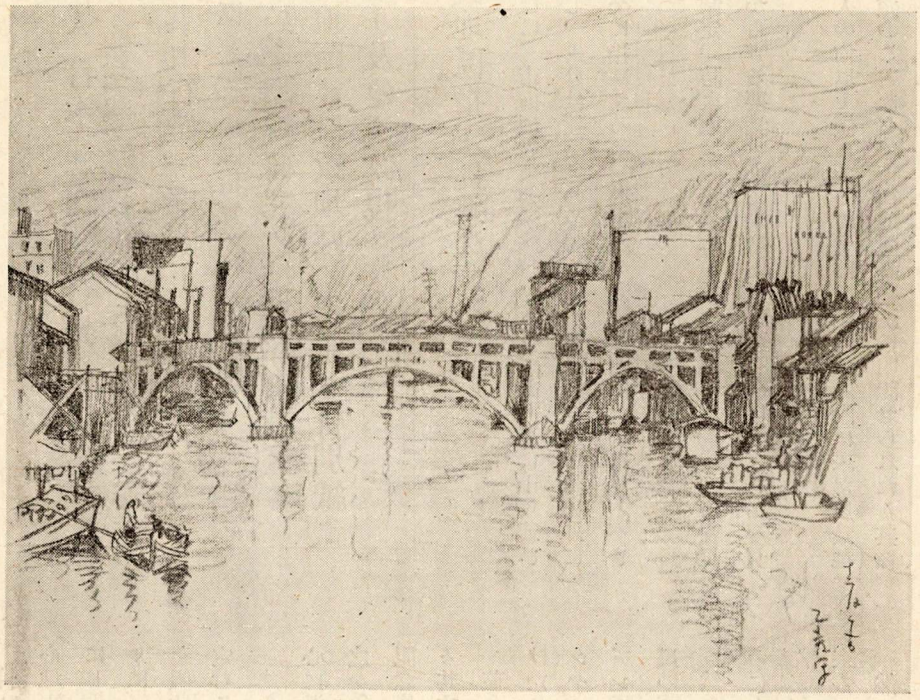
電話本局三九三四番

其ノ他

本支店　東京・京都・神戸

第十二輯　建築と社會　第七號

都市美觀號



大阪の新態・舊態・大手橋

都市の美觀問題

都市の美觀は、望ましきことであつて洋の東西を問はず、何れの時代に於ても各國共に其都市を美化するためには、鮮からぬ努力をしたのである。

新らしく都市を建設するには、是非とも都市の美觀を考への中心に置いてやらねばならぬが舊都市の自然の進展して行くものには、美觀どころか却つて醜惡化する虞がある。我國都市の殆んど凡てが、最近數十年間その惱みに陷つて來たのである。

都市計畫法制定の際にこの點が考へられてあつて、美觀地區の指定をなすことが出來るようになつて居るが、未だその實現がないことは甚だ遺憾である。

我國の六大都市を始め、それぞれの都市は都市計畫を定めてその實現が着々進行しつゝあるのはまことに結構であるが、その街路に沿ふ建設敷地の造成を等閑に附して居ることは、都市將來の美觀を害するものである。

都市計畫關係者は、勿論一般都市民は協心戮力して、都市美觀の大目的を達成し、都市民の生活向上は勿論、今一段と都市の經濟的活動の利便を增すべきである。

左の建議案は本會常設第一部法制委員會の成案にして昭和四年三月十一日附常務會宛報告のものである。

年　月　日

社團法人　日本建築協會會長理事
工學博士　片岡　安

大阪府知事力石雄一郎閣下

美觀地區並風致地區指定ノ件ニ付建議

當協會ニ於テ調査研究ノ結果都市計畫ニ關シ美觀地區並風致地區ノ指定ニ付別紙理由ニ據リ及建議候也

美觀地區指定促進の理由

都市計畫法並びに、市街地建築物法施行せられてより茲に十年或ひは街路系統を正し、或ひは建築物の改善を致し、又は進んで其郊外に於ける發達を健全に指導する等、其効果の着々として大いに見るべきものあり。

殊に其地域の制定、防火地域の指定等の如き、都市活動、都市保全の上に、缺ぐべからざる要素として著るしき實績を擧げつゝあるを見るなり。

然れども、吾人の尙以て慊らずとなすは、施行地區内に未だ風致地區、美觀地區指定のことなく、市街地建築物法に明記せられたる其條項も未だ活用せられず、徒らに空文に歸せんとしつゝある事是なり。

殊に美觀地區指定のことは、今時我大阪市にとりて、最も緊要且時宜に適切なるものあるを思ひ、敢へて之が指定の促進を建議せんとする次第なり。

抑々都市の發達して成熟の段階に達したる時には、所謂都市美の中心地として、都市の面目を代表すべき地區を生ずべく又有すべきものにして、恰も家にあつては客間の如く、人にあつては禮容の如く、たゞに市民の感情を柔げ、市民の誇りとなるのみならず、更に外來旅客を吸收し、市の體面を保つべき、市の繁盛を象徴すべき、美觀地區を定むるの要あり。

之を例へば歐羅巴中世紀の都市に就て見んに、各都市には多く其中心に近く、各都市を代表するの處として廣場なるものあり、各市民は之を飾るに或ひは大伽藍、市會議事堂等の建築を以てし或ひは噴泉、記念像等を設け之を飾りたり、殊に伊太利各商港都市にありては、各々其文化の精粹をこの中心地に集注して互に其豪華を競ひたり。

茲今都市の事情は大いに異れりと雖も、都市に一定の美觀の地を設けたるは易らず、其例枚擧に遑なき中にも、巴里のコンコード廣場及シヤンデリゼー街、伯林ブランデンブルゲン門よりウンテルデンリンデン街等は著名なるものにして、又テムズ河畔の如き其景觀は倫敦市民の誇りなると共に、其河畔の逍遙は又市民行樂の一つたり。

然るに我大阪市は徒らに唯喧囂の音、騒雜の響にわずらはさるゝのみにして、是ぞ大阪市の景觀と、人にも示し自らも樂しむべきもの殆んど無きなり、何等の相違ぞや、素より外面の美も、自ら内より溢れ來るべきものにして、外より之を强ふべきに非ず。

然れごも、大阪市が若し渺乎たる一都會にして、日本の邊鄙に僻在するものならば、ともかく、今や其人口二百十數萬、世界屈指の大都會として、世界の商工業界に飛躍せんとするに當つて、依然煤煙に惱

まされ、公園少きを嘲ち、且尚其面目を代表するに足るべき美觀の地區なくして、外來旅行者をして徒らに慊悪たらしめつゝあるを見るは、吾人の深く遺憾とする所なり。

速かに美觀地區を定めて、其體面を保つと共に、又外來旅行者にも好印象を與へしめんとするは、商業都市大阪として當に努むべき所なりと信ずるなり。

例へば梅田驛頭の如き、今や都市計畫に依る廣場の計畫成ると雖も譬へ廣場に如何に最善の施設をなし、改築後の梅田驛が其規模に於て東洋一を誇ることありとするも、若し之を圍繞する建築群の依然舊に依りて陋態を守り弊屋櫛比して、廣告塔の雜然として醜狀を曝すに至つては、吾人到底忍ぶ能はざる所なり、然かも之を現在のまゝ放置する時は、或ひは其杞憂に終らざらん事を惧る。

宜しく是に或種の制限を加へて名實共に大大阪市の女關として恥かしからざるものとし以て該廣場の眞の完成を期すべきなり。

又中の島沿岸の一部等に對しても若しこの種の指定を見んか、建築の美は、河水の美と相映じ公園橋梁と相俟つて世界一の都市美を現出せしめんこと敢て難きに非ざるを信ずるなり。

今や第一次都市計畫事業も着々と進行し既に第二次都市計畫の發表を見たり、然して其中に公園、公園道等の施設少なからざるを見て深く悦ぶものなり。

今若し更に進んで、この美觀地區を指定せられなば、更に一段の効果あるべきを思ふなり、其効果を一段增大して遺憾なからしむることを得べし。

前に述べし如く市街地建築物法第十五條には美觀地區に關し明確なる條文あり又同法施行規則中にも第百三十六條以下數條を列ねて、具體的の方法をも規定せり、事急を要す、願くは是等明文として空文に終らしむることなく、一日も速かに、美觀地區を指定して來るべき大阪市の面目を更新せられん事を希望す。

以　上

風致地區指定促進の理由

風致地區指定は都市計畫上、綠地其他空地保存上重要なる法律的制度なれども未だ我國に於て之が指定の實施を見る能はざるは遺憾の至りなり。

我大阪都市計畫區域内に於ては、他の都市に比し、自然の綠地、其他の自由空地に乏しく、近年都市の膨脹に伴ひ、甚だしく之が破壞されつゝあり。

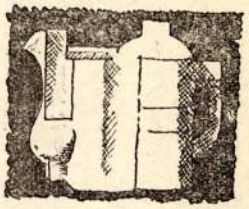
這般内閣の告示を以て認可されたる、大阪市第二次都市計畫の中公園計畫に於ける決定地區の大部分は風致に秀でたる地區又は綠地にして風致地區たるの素質を有するの地たり。

然るに現行都市計畫法に據れば單に之等の各公園候補地が公園計畫地たることを公示せられたるも、指示されたる各地區の風致を現狀の儘保存するには何等の制限なく、日々幾多の耕地が宅地に急變しつゝあるを以て、現況に於ては、到底各候補地の現狀を其儘安全に保存する能はず、公園遂行上にも支障を來す虞れあり。

茲に於て早急に風致地區指定法案の必要を感ずるものにして都市計畫法第十條及都市計畫施行令第十三條に依り、本法の制定を俟つて始めて風致地區並びに綠地が法律的に保存され、時代の齎らす破壞力に抗して自然の影勝を永遠に保護し存置し得るものならん。

之本法の立案を爰に提唱する所以なり。

以　上



都市の美觀

日本建築協會會長
工學博士 片岡安

都市の繁昌するこせざるこは、その都市の地理的關係もあり、また政治經濟國防等のあらゆる施設の完備するや否やにも因ることであつて、その原因及發展の順序は必ずしも一樣ではなく、甚だ複雜なる事情に支配するものであることは、古今東西の都市の變遷に見て明かである。或る都市は建設以來數十年を出ずしてその當初誰もが豫期せざりしような大發展を着々と實現した。又或るものはその建設以來その繁昌を期待すべく國力を盡して萬端の施設を怠らなかつたにも拘らず一向發展の實蹟を擧げ得なかつた。又或る都市は一時隆盛を極めんこして今は漸次衰退の情勢を辿つて居る。要するに世界各國の都市はそれぞれその發展と繁昌の經路を異にし、極めて複雜なる事情と、變轉極まりなき環境に支配されながら時の流れに從つて或る進展を續けて行くのである。時には急激に發展し、時には緩漫に進み、或は正流に進み、或は逆轉して退くといふ順序の一樣ならざるを常とする。而して最近三十年間の都市の變遷は過去のそれに比して著しくその變化の度を高めて來たことは世界を通じての近代都市の特徴とでも謂つてよからふと思はれる。その著しき人口の增加、驚くべき地域の擴大を初め、交通狀態の激變、經濟力の驚くべき增進等、過去數十年前には到底想像し得ざりし現象が、近代都市には各所に見らるゝようになつて來たのである。之を簡單に言へば都市變遷の速力が急激に增進して來たのである。交通や通信の機關が進步して著しくその速度を增したこ同樣に、都市の變遷が著しくその度を高めたこも見られるのである。

◇

都市の變遷が著しくその速力を增しつゝある此の現代に於て、都市の發展を唯自然の推移に任かせ置く時は、その結果は驚くべき不調和、恐るべき混亂、不愉快なる騷擾界が實現するは考ふるまでもない。此處に於て近代都市はその程度に大小こそあれ、一樣に都市のその激しき變遷に處して、その不調和こ混亂に陷ることを救濟せんが爲めに、都市計畫の立案をなし常にその改良を企てつゝある。若しその立案宜しきを得ず、その改良不十分なるときはその都市は忽ち混亂、雜沓を極むる不潔、不愉快なる劣等の都市となるの虞がある。都市計畫の緊急なる事業こして認められ、世界各國共にそれ〴〵その法を制定し、行政施設としてベストを盡し、市民又協力一致して、その事業の遂行を期せんとして居るのもその爲めである。

而して都市のこの著しき變遷に處して、適當なる計畫立案をなすには言ふまでもなく、交通の利便、住居の安寧、保健衛生の向上及經濟活動の利便增進の四大項目を織り込みたる恒久性を帶び、且つ彈力ある計畫でなくてはならぬ。而してそれを具體化したる都市の姿は建築物に表現さるゝのである。

都市の建築物は、箇々隨所に點在し得るものではない。街路公園その他に沿ひ建築線にその列を整へたる集團的のものであるを原則こする。時には廣場を前後に控へ獨立家屋こして其雄姿を聳立する公舘もあり、交通の混雜を緩和する爲めに建築線より數十步後退して建てらるゝ劇場、停車場その他民衆の會堂、等もある。けれども都市の建築は、建築線に沿ふて一列にその堅實なる所在を明確にすることに依つて、都市民の活動が完全に保證され、都市こしての使命が支持さるゝのである。之を詳しく言へば、街路の建築線に沿へるそれ〴〵の建築は、その位地を永久に確實に保持し、その位地に於て完全にその使用者を保護することを以てその使命とするのであ

る。經濟活動の基礎は、その執務の位地確保を第一の要素とするのである。若し執務の位地が不安定不確實であり、流浪の狀態にあるならば、その事務は決して信用を繼ぐことは出來ないのである。都市建築が、商業地區に於てその宏壯を競ひその堅牢を誇るのは唯一種の虛榮ではなくして、その建築に依りて事業の確實性を明かにしその活動を便利に且つ公正ならしめる爲めである。商業地區に於ける建築が漸次その階數を增し、その輪廓を大にし、その構造を益々堅固に、その內容の設備に至善を盡し、時には相當の裝飾さへも施こすに至れる最近の傾向は、都市の堅實なる發展上最も喜ぶべき現象である。而して斯かる建築物が建築線に沿ふて列を整へるときにそこに街路としての美觀が髣髴として眼前に現はるゝのである。唯二三の雄大宏壯なる建築物が、街路に沿ふて散々伍々點在したとてそこに何等美觀を現出するものではない。都市の美觀を構成する要素は個々の建築物であるけれどもその配置と集團の狀態即ちその環境の構成宜しきを得るにあらざれば、たとへその個々の建築物が、堅牢宏壯のものであつても美觀を呈するには不十分なる場合が多いのである。

◇

都市の進展に伴ひ常にその改善を企て、各方面の要件を充實するに努めねばならぬのであるが、少くとも都市の中心地區及幹線街路の沿線は、その建築物の改築及新築によりて、その美觀を發揮せしめるようにあらゆる機會を利用して、その實現を計ることは、都市の眞實の價値を向上する所以である。歐洲の或都市にては、法律により或は行政命令により、主要街路の建築物の設計に對して、美觀維持の爲め適當の取締をなして居るのであるが、我國にても建築物法は美觀地區を設定しその地區內に於ける建築物を美觀上から適宜取締り得るの權能を當局者に與へてある（**法第十五條　主務大臣ハ美觀地區ヲ指定シ其ノ地區內ニ於ケル建築物ノ構造設備又ハ敷地ニ關シ美觀上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得**）然るに帝都を始め各都市ともに、未だその指定をなすに至らぬのは果して如何なる理由であるか、折角建設中の我各大都市の爲めに寔に遺憾のことである。當局はもとより都市の有識者は、一刻も早く此の法の適用を促がしせめて美觀地區內なりとも適當なる建築物に改善さるゝよう努力せねばならぬのである。

都市の美觀を促進するに考慮すべき條項は可なり多岐に亘つて居る。殊に我國の都市は廣き意味に於て凡てその改造途中にあると言つても過言でない程、亂雜にして貧弱の狀態にある。詳しく言へば現代都市に改造されねばならぬ中古時代の舊態その儘のものが、その大部分を占めて居るのである。故に都市改良の凡ての事業は根本的であり又大手術的であり、しかも尤も容易であつて且つ最も有效である。この機會を逸せず、最も大膽に且つ賢明にその改造の大手術を手際よく斷行せねばならぬのである。若し倫敦の如く紐育の如く可なり古くから堅牢なる建造物によりて、構成されたる街路系統を有するとせば、たとへ一部の幹線街路開鑿を企つるとも、その實現は殆んど不可能である。英吉利にては舊都市の街路系統の改善には禁止的大工費を要するから、かゝる企は無意味にして且つ不可能であると言はれて居るのである。獨り英吉利のみならず、舊來の大都市は何れもその都心又は幹線街路の改造には殆んど手を觸れて居ないのである。唯佛蘭西の巴里は今より約六十年前に國力を賭してその街路系統の大改造を企て、その後三十年の日子と五億圓に近き巨費を投じて、主要街路と都心の改造を斷行したことは、都市計畫上の一大偉績と唱へらるゝところである。巴里の如き都市全體に亘りその街路網の大改造を企てたる都市は鮮しとしても、部分的に又その郊外に亘り適當なる改造と新設の計畫を樹立し、その實現を斷行したる都市は必ずしも少くはないのである。而してその改造計畫の具體化されたる都心又は幹線街路の美觀に關しては、それ〴〵十分の注意を拂ひ、公私共に協力して其都市の爲めに努力したる跡には大に敬意を表するに値するものがある。今日佛蘭西の巴里が美觀上世界最高の地位を占むる都市であると言はれて居るのも、蓋し偶

然の結果ではなく、その街路系統建築線の配置、建築物の構成及個々の建築物の構造、意匠共に相俟つて渾然一大美觀を出現するに至つたのである。

◇

我國の都市は殆んどその凡てが何れも改造途中にあつて、一日も早く將來の文化的現代都市を實現せねばならぬのであるから、巴里の如く或はより以上に美しき都市に改造さるゝことも必ずしも困難なる事柄ではないのである。唯その改造計畫の運用如何に依り、或は甚だ不調和にして、亂雜、不愉快且つ不便の都市と化し、都市美觀上甚しき低級のものとなるの虞は十分にある。此の意味に於て我國の都市は今や文化都市建設上の一大危機に瀕し、善惡二つの岐路に立つて、未だ十分の覺醒をなさず、茫然迷霧に漂ひつゝ進むのではないかと思はれる。都市美觀の如きは、市民生活の向上、その利便、その愉快、その安寧及幸福等に何等關係なきものゝ如く考へつゝあるを我國現時の常態とするけれども、それは實に驚くべき誤解であることを特に高唱せざるを得ない。斯かる誤解は我國朝野の通弊であつて、殊に正論家だとか、經濟通とかいふ先覺の士の間に多く見らるゝのであるが、都市の美觀は決して虛榮的の裝飾から成立つものでなく、むしろ建築物の最も適當なる配置とその構造及意匠から構成さるのであつて、そこに何等の虛飾がなく堅牢の實質と內容の完全が表現さるゝことがその要素なのである。而して問題は更に其表現の樣式と構造の實質とに關するのであるが、此處にはその專門的の攻究を避けるとして、先づ以て上述の如き誤解の一掃されんことを希望せざるを得ない。

◇

都市の美觀が市民生活の向上に直接關係なき事柄であると考ふる人々に對して、都市の美觀が如何にして達成さるゝかを簡單に說明すれば、その誤解は、直ちに氷解することゝ考へられる。そも〳〵都市美觀の要素は先づ第一に街路系統の適當なる配置を基礎とし、街路、廣場、公園、停車場及乘船場等の關係を最も適當ならしめるにある。各種の公館、集會場、娛樂場等の配置構造及設備その宜しきを得ることがその第二である。而して街路の建築線に沿ふて、その街路にふさわしき堅實なる建築物の順序正しく建て並ぶことが第三である。固よりその街路にふさわしき建築物とは、如何なるものであるかといふことは稍不明の問題であつて、積極的にそれを明瞭に言ひあらわすことは困難なれども、消極的には十分にその意味を說明し得るのである。若しそれが主要なる幹線、街路であるとすれば、經濟的に要望なる地區であるから、其建築物は相當の間口と面積を必要とし、其階數も六七階以上であり、構造は耐火耐震のものであつて、內容の設備は衞生、機械、電氣等の各方面に亘り完全なるものであることはもとより、建築の樣式も極めて眞面目で、其實質を最も適當に表現する現代式であつて欲しいのである。更に第二流の地區ならば階數も三四階で十分であらふし、而積も必ずしも第一流の地區程のものを必要としないであらふ。けれども構造と配備に於ては十分にその至美を盡すことが必要であり、經濟上有利でもある。一般に都市街路に並列すべき建築物は決して無駄な裝飾を必要としない。むしろ經濟的に實質本位にして堅實味を十分に發揮すればそれで足りるのであつて、それ等の建築物の集團配列が都市の美觀を形成するとを考へて少しも差支はない。帝都の或る商業地區に驚くべき巨費を投じた銀行が建てられ、特別に多くの費用を內外の施工にかけたものが出來たからとて、その附近の都市美觀が著しく向上したとは言へない。要するに街路の美觀は其街路にふさわしき建築物の充實によつて十分に達成さるゝのであるから、都市美觀の達成は同時に其都市の經濟的活動に一段の利便を增したといふことになるのである。都市の繁昌はつまりその美觀と一致するものと見られる。

◇

上述の如く都市の美觀は、その都市の經濟的進展と並行して達成せらるゝものであるから、その美觀の程度によりその都市の智力と經濟力、更に進んでその文化的價値が十分に推定し得らるゝのである。吾人は如何なる都市を訪問しても、その市內を一巡して以てそ

の都市の經濟的地位や一般文化の程度を窺ひ知ることが出來るのは主として其の美觀の觀察からであると考へらるゝのである。之を人間に譬ふれば其健康狀態完全にして修養十分なる人の形相が眞實の人間美を發揮するようなものである。この意味に於て都市の美觀は唯簡單に達成し得らるゝものではなく、都市のあらゆる計畫が完備するときに、そこに初めて美觀が出現するのである。我國の都市が到る處亂雜不秩序を極め、街路、公園、運河、廣場、停車場等の連絡も十分ならず且つそれに沿へる建築物も未だ順序よく築造されざる狀態では、都市の美觀を發揮するのは果して幾年の後なるや、其見込さへも付かぬ。まことに嘆はしいことである。都市計畫關係者はもとより一般都市民は、此の現狀に鑑み相協力して都市の圓滿なる發達を期圖すべく、眞面目の努力をなすにあらざれば、我國の都市は何時までも低級にして不愉快不安、不便且つ非衛生の狀態から脫することは出來ぬであらふ。而して都市の美觀は永久に發揮されぬことゝなるの虞がある。



斯くあるべき地區 (1)

法學士 岡本彰一

美觀地區。

それは當然施設せられるべき地區として早くから法令にさへ規定せられてゐながら、僅かに東京市に數箇所の風致地區の指定せられたのを見るだけで、進展し膨脹して暫くも止まる事を知らない商工業のために常に繁忙紛雜なる生活を送る事を餘儀なくせられ、その一面徒らに自己の實利にのみ走らうとする無反省な建物が無暗に增加し、從つて斯くの如き施設を要する事最も多き大阪市の如きに於ては、唯徒らに論議の聲のみ大きくしてしかも一もその實現の域に達して居ないのである。勿論色々な方面から色々な障碍があるには相違なからう。併しそれを排除して此の地區を指定しその設備に努力すべき緊急の必要は敢へて此處に言を費す迄もなく明白に存在してゐる。

だが、よしや美觀地區と言ふものが出來たとてそれが徒らに人工の末枝に走つた所謂巧みな建築物のみの集合である事は我々の望む所ではない。其處に建てられる建築物は勿論美しくなければならない。併し乍ら、都市とは建築物を以て埋められた場所である、と言ふやうな僻見は少くとも此の地區に就いては捨て去る必要がある。そして多分に自然を取り入れ、自然と人工とが渾然と融和してこそ本當の意味の美觀地區となり、都人は其處に快と美とを感じるのである。都會の生活は便利でなければならない、と同時に、快適でもあらねばならない。

『快適の爲に』

それは都市計畫が決して忘れてはならない重要な一の方面である。

美觀地區は如何なる方法の下に施設せられ如何なる形態を備へ得たならば眞にその價値を發揮し得るか。その一實例を獨逸に求め以て他山の石とする事は强ちに不必要な事でもあるまいと確信する。

◇

ライン峽谷屈指の都會ケルンからライン河を下る事十幾里、鐵路を利用するならば一時間と僅で列車はデユツセルドルフ市に着く。新廣場に位置した停車場に下り立つて見渡せば、寬濶な舖道に接して整備した商店の居並ぶ廣いそして賑はしい大路が其處から四方へ放射せられてゐる。實に此の市街こそは初めてこの土地を踏む者に清楚な寬裕なそして近代的な第一印象を與へては措かぬ所である。街頭には混亂の樣がない。其處に漲るのは安易と沈着と寬濶の氣である。それは、我々近代都會人には餘りにも親し? 過ぎるあの濃密な交通量と從つて起る交通受難の樣々の姿が此處には見られないか

らである。そして又、市街を貫く大道路の數が僅か乍らも普通の都會よりは多いからである。

此の清楚寛裕な都會に我々は都市の施設としての一つの注目すべきものを見せられる。それは、あの亞米利加が誇つてゐるやうな幾十階と言ふ馬鹿げた高さではないにもせよ、少くとも我々の持つそれに比べては遙かに設備の完全してゐるのを自慢し得る筈のオフィス、ビルディングではない。近代的な施設によつて物凄い旅客の吸引力を持つホテルでもない。さりとては又、進歩せる新說を採用して巧みに經營されてゐる商店でもない。停車場前から氣持の良い道路を眞直に下つて行けばラインの河岸に達する所に、人々は美しい一つの地區を見出すであらう。此のライン河岸の一地區に施された都市計畫的施設こそそれなのである。

◇

人々は水を、殊に流動する水である所の河を深く愛する。それはそれ自體が自然の一つの姿としての美しさを持つだけではなく、他の種々なる自然の姿に一層の美を附加し或は眞の價値を現はさせるからであらう。兎に角も人々は水を——河を愛する。殊にそれが獨逸人のライン河に對する場合に於ては殆ど信仰的でさへもある。加ふるに、あの古いそして幻想的なニーベルンゲンの物語と、リヒアールト・ヴァークナーがそれを執つて作つた彼の最大作『ニーベルンゲンの指環』四部——『ラインの黃金』と『ヴアルキューレ』と『ジークフリード』とそして『神々のたそがれ』の四つ——の樂曲は、常に獨逸人の心の中に脈々たる生命を以て躍動し、此のラインへの愛に更に力强い傳奇的背景を與へてゐる。

此の信仰的な一般愛の對象地をとつて一つの美觀地區とし、適當な施設の下に市民の休養とそして敎化の地としようとした、デユツセルドルフ市當局の考へは策として最も賢明なるものと評すべきではあるまいか。

◇

あの『大戰』が終つた時、歐洲各國の國民は齊しく疲勞し困憊してゐた。殊に獨逸に於てそれが甚しかつた事は勿論である。此の廣い意味での疲勞を恢復するには體力を改めて行かねばならない。國家的國民的事業としての公園設置が喧しく叫ばれ、此の要望の下に所謂運動公園が擡頭して來たのである。だが唯外的に體力を練るだけで國民の健全な發達が望み得られる筈はない。精神の健全な發達と關聯してこそ身體の發達も健全であると言ひ得られる。獨逸は此處に留意すべき事に漸く目覺めた。ジエイ・マーレイ・イーストン氏が昨年王立英國建築家協會誌に發表した保健休養施設地に關する報告が此の事實を物語つてゐる。斯くて、或はスタディアムを作り或はヂムネージアムを作り、或は又公設浴場を作つて休養と娛樂との途とすると共に、更に綜合的系統的な都市計畫的見地からその都市の或る部分を休養とそして敎化との中心とし、公園と相俟つて美術館や博物館などの施設を整備したのである。その注目すべき一例を今我々はデユツセルドルフ市に見るのである。

◇

先づデユツセルドルフ市はライン河に沿つて可成り幅廣くそして長く間隙なき公園地帶を企畫し、それだけでも十分に市民を誘引し得べき大規模の料亭を附設し、河岸近くにはずつと河沿ひの遊步道を作つて市民の爲に良き散策場を提供し、一方には又美術館や博物館を設けて市民の敎養を少しでも高からしめその情操を少しでも和らげやうとした。それは單なる公園でないと共に外觀と威容を整備しただけの建物の集合でもなく、更に一步を進めて市民の休養と娛樂と敎化とを計る最も理想的な美觀地區である。

人口四十萬を有する此の工業都市の中心に位する公園ホーフガルテンの、廣い、大きな樹林が長く延びて氣持の良い並木道となり坦々としてラインの岸に達する所に此の地區がある。斯くの如く是が市の中心部に位してゐる事は最も注目すべき事であつて、これによつて市民は最も都合よく是を利用し得べく、又、最も多數の人々が此の施設の恩惠に與り得るのである。よしや如何に優秀な施設であるにもせよ、それが市の中心さかけ離れてゐてはその當初の目的を達し得べからざる事勿論である。

休養と敎化との爲の推賞すべき此の施設が博覽會の利用と言ふ方法で完成せられた事は必ずしも珍奇なる事實でないにもせよ、少くとも此の場合に於ては一つの注目すべき事柄たるを失はない(未完)

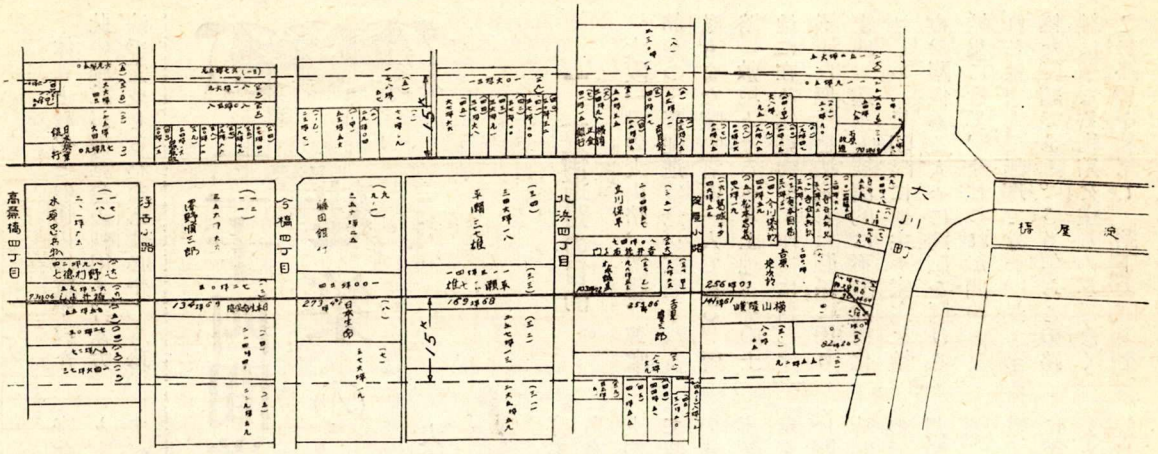
二十四間道路と建築の關係 (1)

大阪市土木部
岡崎早太郎

一 市街道路の目的

大阪一番の大街路、廣路、御堂筋線の工事促進の急が喧唱される私もまた喧唱者の一人である。街路の敷地となるべき土地とその土地に在る建築物や工作物に對し、嚴正な制限を法定した關係に因り土地も建物も經濟的に不融通物化せしめ、無期限に地主や家主を始め、關係ある人々に迷惑を懸ける結果に看て、今日これが問題となれるは決して無理でない、最も至極な歸結である。さり乍らこの路線は單なる街路を造るのみでなくこの路敷を利用し、路下に隧道を穿ちその隧道內に軌道を敷設し、高速度の電車を走らせ、依て地表上の危險を避けしむる計畫が伴ふて居る。しかして其の高速度電車の爲めの軌道敷設工事を前提する事業の年度割を定むるこゝ、事業費財源中の主なる受益者負擔金に關する規定案の審議に、年餘の時間を要し遂に今日まで遷延したので、何も故意や、怠慢や、不勉强から來た結果ではないそうな。蓋し念の上にも念を入れて、所謂愼重に審議を累ねて置けば、後日に至り間違を生じたり、變更を必要とする惧れが毛頭ないと言ふ利益があるこのことだから、土地の所有者や、關係人等の被むる些々たる迷惑位に頓着せず、大都市民の雅量を披きて、當局の苦衷を諒とすべきであらう。しかるに該事業案の既に調査、研究、審議の域を脫し、本年五月四日を以て都市計畫大阪地方委員會の手に移されてあれば、この稿が讀者各位の前に曝される頃には、早くも何所かの一點には、鍬や玄翁の音がカチカチと響きおることゝ思ふ。

かくて高速度電車の軌道工事が所謂高速度で著々進捗さへすればそれと雁行的に街路工事また高々速度で施行せらるべく、從て北の方大阪驛頭から、南の難波驛まで快適な街路——廣路の開通を見るに、今日までの如き長き時日は要しないであらう。否責任ありと言ふ技術家は大口を張りて、その速成を聲言しておるから眞逆間違はあるまい。かくて路下には軌道が敷かれ、快速力もて電車が走り、地表の路面は立派に鋪裝が施され公孫樹か何かの路傍樹が靑々と繁茂し、電信、電話、電力線等が、蛛網の如く品良く張りまわされ、自動車や、牛馬車や、人力車等が恰も兵隊さんの行列の如く併走することゝなる。こゝに於て街路及び鐵道の建設者たりし技術家らは街路及び鐵道は豫期の如く竣功したことを誇るであらうが、廣路の速成を絶叫した人々また、果して之れで滿足できるか如何か、多少の疑なきを得ない。何となれば都市の道路は、一點から他點への交通のみが唯一の目的でないからである。勿論交通機能の完備を期するは其の要件の一ではあるが、しかも單なる往來のみを目的とせず都市計畫の施設として、市街の構成上その骨格若くは脈管たるべく重荷を負ふて出現した以上は、人馬車輛の往來が可能となつた一事で以て、その目的の全部を達成したとは言はれない。假りに工作物としての道路工事の竣功と言ひ得るとしても、街路としての施設が滿足に出來したのではない。その沿道に在る宅地が、都市構成の要件たる建築敷地として、完全に利用できない狀態に放任せられあるからである。私は廣路——御堂筋線の工事促進論者と共に、彼が都市計畫施設の一としての速成を期待し、その點に向つて當局者は勿論、市民も、關係ある土地及び建



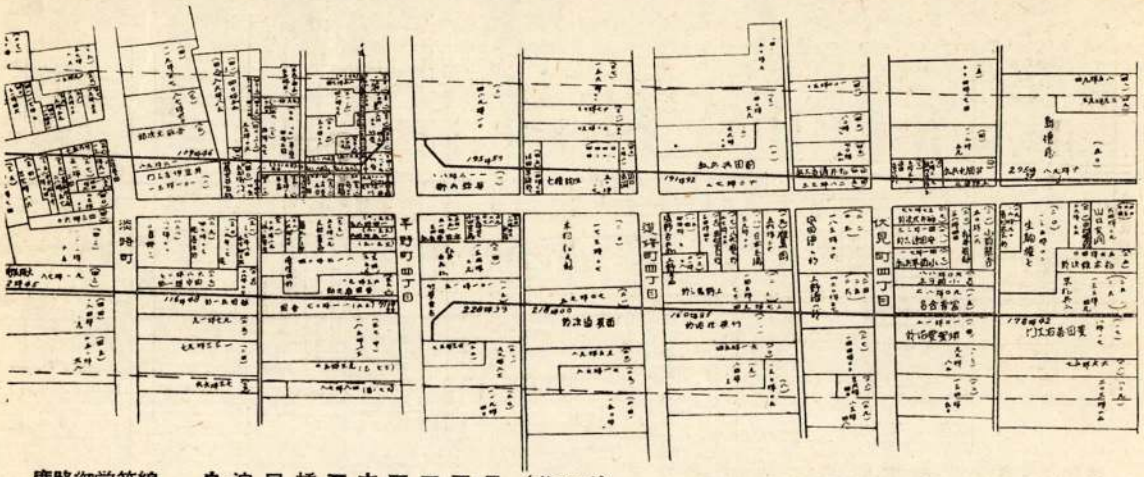
廣路御堂筋線　自淀屋橋至本町四丁目（其の一）

物の所有者も、さらに一般の努力を拂はれむことを望みて已まない者である。

二　新道路と新文明

西洋には新なる文明は、常に新なる道路の方向より來ると言ふ古諺があるそうだ。近來大阪市と言ふ文字の上に、さらに大の一字を冠して、大大阪を誇る我大阪市に新文明を輸入するに適する新道路ありや否や。蓋し問題の廣路――御堂筋線はその幅だけでも實に二十四間もある大道路で大阪では勿論、東京以外の都市では滅多に見ることの可能ない夫れであるから、これこそ眞に新しき道路でなくて、他に新しきを誇り得る道路はないのである。しかしてその新道路の景物として、新文明の産物たる高速力の電車を運轉すべく、路下に鐵道を建設する。新道路の景物として新式の地下鐵道を添加し、快速力もて電車を馳らしむるは、所謂新道路の齎らせる新文明として誇るに足る、眞個く相應しき配合である。しかも私は單に夫れだけでは滿足できないそれ以外さらに添ふるに建築文明の精華を以てしたい。

高速度車輛の爲にする地下鐵道附屬施設の一として、梅田、淀屋橋、本町四丁目、心齋橋及び難波等の樞要地點には、その乘客を集散すべく停車場を設くることになつて居る。この道路と鐵道とは果して豫期の如く、その機能を十分に發揮し得るであらう乎。蓋し道路と言ひ、鐵道と言ひ、共に交通を目的とする施設の一に他ならない。しかも交通機關は利用者あつてこそ、重寶にして有效な施設であるが、若し豫期に反して利用者なく、若くは假りに之れあるも著しく少數であつたとすれば、斯る施設ほど有害無益な夫れはないのである。識らずこの道路及び鐵道に多大な利用者があるか如何かを廣路が開かれ、鐵道が敷かれ、快速力もて自動車が馳り、電車が往來すれば、これを利用すべくお客の利到することは、恰も影の形に副ふに等しく、故らに喋々しなくとも明瞭すぎるほど明瞭な事態である。これほど明瞭な道理――定論に對し、極度の少數若は皆無を豫想する如きは、道理上あり得ない妄念で、眞に杞人の憂に過ぎない。むしろ眞面目に論議の價値ないと嘲笑する徒もあるであらうさり乍ら都市を縱貫又は橫斷する道路や、鐵道は、北と南、若は西と東の兩端に居る者のみの、最近捷路としての施設ではない。これが主たる利用者は道路若は鐵道の接近地に住居し、又は其接近地に川向ある者であらねばならない。すなはち都心部にありては、街路の兩側や、停車場の附近には夫に相當な建築物を設け、延てこゝを商工企業の中心地化せしめ、郊外地にありては之を擧げて住宅地化せしむべく各々適當な施設が要らう、もし之れなくむば其の道路も其の鐵道も何等の用をも爲さないからである。極言すれば道路沿地若は停車場附近地にある建築物の規模及び構造如何は、直ちに街路



廣路御堂筋線　自淀屋橋至本町四丁目（其の二）

及び鐵道の死活を制する鍵鑰たるを失はないのである。しかるに之を現在の實況から觀察するに、郊外地にありては當局者の指導と土地所有者の自覺に依り盛に土地區劃整理が行はれあるから、何等遺憾はないが、都心部には何等の施設がない。現にすでに街路工事の竣功を告げたる、梅田——大江橋間にも路幅相當な建物ごしては、堂島ビルデイング以外には何物もない。まさに出來あがらむとしつゝある、淀屋橋——本町間にも横濱正金銀行と株式會社日本興業銀行の兩支店あるの他に、街路に相應しき建築の興る樣子もない。これ畢竟廣路——御堂筋線の兩側には、路幅相當な建築物を設け得べき建築敷地がないからである。否たゞさへ在來の區劃が小に失し、現代式の建築に不適當なりし宅地に對し、建築に關しては一顧を加ふることなく勝手に路線を經始し、沿道の宅地と言ふ宅地を片端から分裂割取し、殘地を騙りて全然利用の途を杜塞し了り、さらに宅地の構成に關し何等の考慮をも拂はない、かくの如きは都市の改良でもなければ、無論建設でもない、純乎たる破壞である、實に既設市街に加へた一大脅威に他ならない。要するに都市計畫は單に幅廣き道路さへ造れば、他を顧みるを要せずと言ふ謬想の齎せる產物である。これに關し『住み心地のよい都市』と題する、大阪市長關一博士の名評がある。こゝに其の全文を拜借して讀者の記憶を新にし、併せて卑見を進むる資料とする。

◇…我國の都市計畫は、餘りに多く土木技師に任かせ過ぎはしなからうか。歐米諸國の都市計畫は、主として建築家の手で行はれてゐる。古いところでは、ロンドンの一六六六年の大火後の改造計畫を立てたサー・クリストファーレンは、セント・ポールの建築によつて不朽の盛名をうたはれた大建築家であつた。

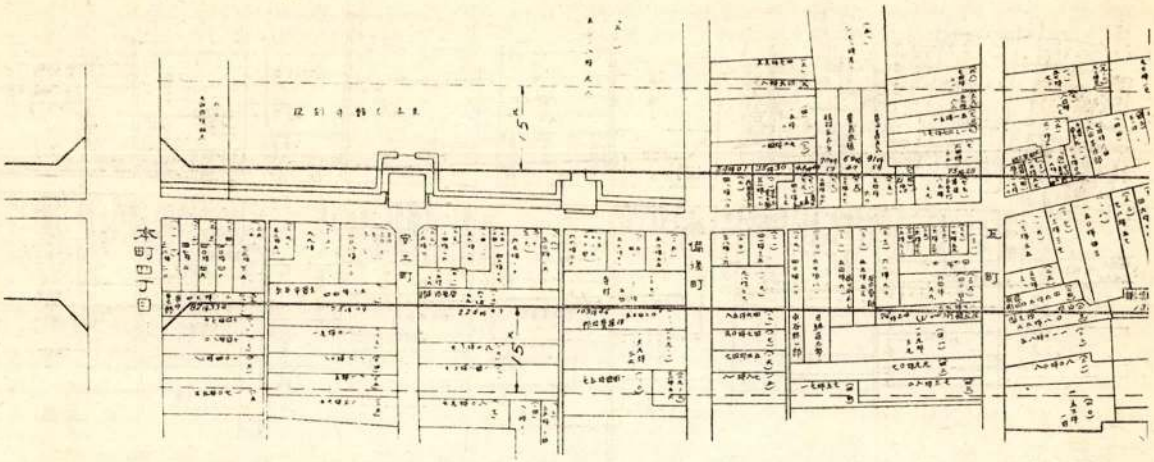
◇…十九世紀末から新たに勃興した都市計畫運動において、その先驅をなした有名な米國シカゴ市の計畫の立案者は、一八九三年シカゴ世界大博覽會に新機軸を出して世人を驚かした建築家ダニエル・アッチ・バーナムであつた。

◇…さらに現代の都市計畫に新時代を劃したオーストリアのカミロ・ジッテも建築家出身であり。戰後のドイツの大ケルン市の都市計畫を立案したエフ・シューマーハーもハンブルグ市の建築局長であつた。

◇…以上は著名は事實だけをあげたに過ぎないが、日本の都市計畫が今のところ土木專門家の獨占であるやうに見えるのにくらべて、多少異樣の感がないでもないが、私は土木技師と建築技師との地位について、いづれに軍扇をあげようといふ考へは持つてゐない。

◇…かつ我國の都市計畫の先輩であり、都市計畫法制定に功勞の多い片岡博士が、建築界の權威でその會長たる日本建築協會が、いつも都市計畫に多大の貢獻をなしつゝあることもよく知つてゐるが、公平に觀察して、現時我國の都市計畫には餘りに建築方面のことが閑却されてゐるやうに見える。

◇…また英國の田園都市協會のエドワード・ジ・カルピンは、都市計畫に



廣路御堂筋線　自淀屋橋至本町四丁目（其の三）

は社會學者が出場しなければならぬといつたさうだ。すなはち都市計畫の基調は人間的要素でなければならないといふ議論は、正しい說である。美術家のラスキンは『汝の家の外面は、汝の所有物でない』といつたのは都市計畫の要諦を道破したものともいへよう。

◇……いかに自動車が自由に疾驅し得る大道路が出來てもその兩側に奥行二間や三間の小つぽけな家が建ち並んでゐるのを見れば、都市計畫は浪費なりと叫ぶものが出てもやむを得ないことゝ思ふ。

道路網の完成だけが、都市計畫であるといふ考へ方は、パリを模範として東京市區改正以來わが國民の頭にしみ込まれた謬想である。

◇……私は都市計畫法案の起草委員會の席上に起こつた論爭を想起する。それは同法第一條に、都市計畫の目的として交通、衛生、保安、經濟のほかに『美觀』の二字を挿入するか否かについてであつた。そしてその『美觀』の二字を永久に抹殺されて、日本の都市計畫は、都市美とは全然關係のないものとなつてしまつたのである

◇……しかし都市美觀は、必ずしも巨萬の費用を要するものとのみ限らない。都市美の問題は詩人ヨネ・野口氏の言をかりていへば『富の程度が違ふといふ論者があらうが、私はさうはいはさない、富の問題でなく、努力の問題だ、國民の歩むべき一定不動の方針があるかないかの問題』である。都市計畫が道路の擴築新築と同意義であり、市の土木技師にのみ委ねられて、市民の建築は埒外に放棄されるならば、都市計畫は無用の浪費に終るであらう。

◇……道路網は骨であり、建築物は肉である。骨格がいかに丈夫でも、貧しい肉つきでは健全なる體格とはいへない。まして道路は交通の目的に供せられるのみでなく、われ〳〵の業務活動の場所であり、安息休養の家庭たるべき、建築物の通風採光の必要のために設けられるものであつて、建築物と道路とが相待つて都市が形造られるわけである。

◇……すなはちわれ〳〵は土木編重の都市計畫よりも、人間的要素を基調とした都市計畫に進まなければならぬ。すなはち『住み心地のよい都市』が都市計畫の目標である。

三　土地と建物の共同使用

さすがに學界の權威であり、大都市に市長たる器だけありて、その着眼に俗離れのした點がある。殊に自己の責任に屬する斯業執行機關の首腦者として、土木部長や計畫課長に所謂土木技師を役しつゝ、なほ現狀に慊焉たることを憚らず、公表するところに堅き信念の一端が發露しておる。これでは職にある人たちも安閑としてはられまい。閑話休題とし、私は及ばず乍ら微力を盡して市長の誠意に副ひたいと心懸ては居る。さは言へ私が先年來、口に筆に唱道し勸告を怠らない共同の出資に依り共同で土地を使用し、共同の建物を設け、しかして其の建物を共同で利用すべしと言ふ意見は、市長の意志に迎合し、敢て阿諛する考でした所以でなく、他に必要な因由があつた。すなはち當時明言した如く犧牲者救濟の必要これだ。無論土地の賣買讓渡等其所有者の好まない土地そのものゝ授受に代ふるに共同使用を以てし、しかし

て建築を改善し、その工費を輕減し、延て能率の增進、浪費の節約に資することも目的の一ではあつたが、主たる目的は土地收用の厄に罹り、多年の老舖も現實の營業を喪はむとする者をして、如何にかして其の利益を維持せしむるに重きをおいた。しかるに用地收用後新に、新道路の沿道地となれる宅地の區劃形狀を一見した今日では、都市の構成上むしろ後者に重きを置かなくてはならないことゝなつた。新道路沿ひの宅地の區劃形狀が、豫想以上に甚しく不規則不統一を極め、理想的の建築敷地はおろか、一時的間に合せの宅地とも成り得ないからである。さり乍ら實を言ふと私は未だ梅田——難波に亘る、この道路の全線の東西兩側に直面する宅地の數が幾區劃あるかを知らない。しかるに稍々明かになつた淀屋橋南詰——本町四丁目の實況を描寫した圖面を得たから、こゝに紹介して參考に供する。

この區間に於て道路に直面する宅地は東側三十四、西側七十併せて一百零四區劃で其の內譯は左の通りである。

自淀屋橋南詰至本町四丁目御堂筋線沿道宅地區劃調

	間口軒數	奥行傾考
一間未滿	——	一一
三間未滿	一三	一八
五間未滿	四〇	一二
十間未滿	一九	四〇
內六間未滿一四アリ		
十五間未滿	六	二〇
十五間以上	二六	三
計	一〇四	一〇四

この表で見ると關係ある宅地中間口の五間未滿のもの五十三筆、防火地區に於ける防火構造建築物の最低制限たる、奥行六間に足らないもの五十五筆を算してゐる。さらに之を逆に看て何等手數を懸けず、現形に於て直に如何なる建物の敷地にでも充當し得べきものは、本願寺津村別院の一敷地あるに過ぎない。その他の土地に至りては、間口が廣ければ奥行が短く奥行が十分なれば間口が足らないと言ふ有樣で、所謂帶に短く襷に長しでなく、帶にも襷にもならない不具畸形地である。彼のすでに耐火構造で建築されある、横濱正金銀行や、日本興業銀行やの大阪支店、日本生命保險株式會社の敷地ですら、建築敷地としては尙ほ狹隘に失し、未だ以て十分とは言はれないのである。

古語に萬言一日に如かずと言ふことがある、迂濶ながら敬服の他ない金言である。廣路——新御堂筋線に沿ふ宅地の狹隘と畸形を想像し、憂慮した者は必ずしも私一人ではあるまい。しかも共同建築の唱道や勸告に付ては敢て傾耳者がなかつた、或は傾耳者の少々はあつたかも知らないが、市民多數者の諒解を得る能はなかつた。或は多少の諒解者はあつたかも知らないが、進むで實行に入つた者は廣き大阪市に一人もない。いくら多數の傾耳者があり、諒解者があつても、實行しないに於ては傾耳せず、諒解せざるに擇ぶ所はない況や未だ完全に諒解しないに於ておやだ。要するに百人の諒解者を得むよりも、一人の實行家が欲しいのである。しかるに月日に關守なく何日の間にか春秋が推移し、常に遲々不振の標的に供せられあつた都市計畫事業も、牛步的ながら進捗の實を擧げて來た。所謂共同建築の對象に供した街路——御堂筋も用地の收用を了り、頑強を以て市民を驚かしめた本願寺さへも、さすがに時代の潮流に逆行できないで、その協議が日出度調ふたと言へば、殘る問題は土地の統合と、建築改善の一あるのみだ。而して新道路に沿ふ宅地の形狀は豫想や、想像でなく事實として吾々の目前に現示されて來たのだからたまらない。面のあたりこの實現を目擊されても、土地の統合利用の必要を痛感しないのであらうか。言ふまでもなく問題の場所は公定の防火地區である、防火地區に於ける防火的建築は永久の施設であらねばならない、この關係に於てさらに一段の考慮が要らう。

(未完)

新御堂筋は 現在のまゝ

大阪淀屋橋から本町筋までの行幸道路は市の高速鐵道工事に着手するまで現在のまゝにして鋪裝を施さず幅員廿四間のうち道路中央六間は自動車等の急速車專用とし兩側にある芝生とプラタナスの綠地帶と步道の間は三間宛の緩行車道路を備へ付ける。



都市計畫より觀たる都市の交通問題 (1)

大阪市土木部計畫課長
工學士 內山新之助

1

都市計畫に立場を置いて都市の交通問題を論ずるに當りその範圍は頗る廣く且つ複雜である。今日の大都市の出現を促がした一大原因は交通の發達にあるが、交通機關發達の道程が非常に急速であつた事は一面より反つて都市の地域的系統を混沌たらしめた結果にもなつたのである。都市の面積が比較的狹く經濟的活動の低き小都市か又は都市の發達型式と先見的施設が秩序よく整然として居る場合にはこの交通問題に關する論議は左程重大でない。然しかゝる理想的の都市施設を有する都市の無い事が今日交通問題の解決に幾多の惱を與へて、都市計畫の主要部分を占め然かも都市の行政的・經濟的に都市の生命を左右する程の重要性を有して居る譯である。都市の發達を一途に促がした交通機關も今日にては寧ろ都市の內部を整ふる役目を多分に演じて居る有樣である。

往古に於ける都市交通機關は繫駕、牛馬車等の特種的のものであつたが、これ等はある限定された用途に充てられたのと都市面積の比較的狹き事情は看過すべきでなく、一般用途の交通機關の發達は近代の事であつてこれを大體四つの時期に區分する事が出來る。即ち(一)約一〇〇年程前迄盛に利用されし乘合馬車時代、(二)一八五〇年代より一八八〇年頃までの間に紐育、伯林、東京其他の大都會に存した鐵道馬車時代、(三)一八八〇年頃より現今に到る電車時代、(四)一九〇〇年頃よりの自動車交通時代がこれである。この外蒸汽鐵道及船舶も都市交通の一主要部を擔つては居るがこは都市と都市との相對的交通機關としてより多く活動して居るのである。この諸時期を經過して發達した交通機關も都市に對して革命的施設と政策との樹立を强いたのは電車が一般的に普及されたのと自動車交通の躍進的の發達した事である。

都市に於ける各種の交通は非常に錯雜しては居るが、これを系統的に分類すれば、(一)都市區域內の交通、(二)都市中心地帶と近郊との連絡交通、(三)都市及都市間の遠距離交通との三つとする事が出來る。都市區域內の交通は言ふ迄も無く日常業務上の交通、勤務交通、購買上の交通及び遊覽交通等に分け得その利用する交通機關も路面電車、乘合自動車、自動車自轉車等である。近郊との連絡交通は大部分が通勤、通學交通でありその外に業務、遊覽上の交通を含んで居てこれは主に郊外連絡の電車、乘合自動車及蒸汽鐵道を利用する。都市間の交通は現代に於ては殆ど全部が蒸汽鐵道により、僅かの航空機が利用されて居るがこは都市の交通問題としてよりも寧ろ國家の交通問題として論及さるゝものである。

都市計畫上よりこれ等各種、各系統の交通に對しての攻究上の見地を言へばこれを一言にして極むれば、(一)質的裁定、(二)量的裁定、(三)反射的裁定の三つに分けて根本方策を樹立するのである。

質的裁定とは交通上利用さるゝ各種交通機關の性能を吟味して將來都市にいかほど迄發達し得るかの測定と之に對する方策である。これを敷衍すれば現時都市內の主要交通機關である路面電車は將來共に發達し得るや否や、乘合自動車の經濟的運轉哩と電車との競爭し得る限界の測定。高速鐵道(高架、地下)の性能と、この施設の完成の結果他の種の交通に及ぼす影響等の攻究と基本的調査を以て都市交通の根本政策を決定するのである。

量的裁定とは交通機關利用の數

字的分量、分布を判定して圓滑なる運輸を目的とせる施設の完備計畫を意味する。則ち都市人口の幾割が日々都市の交通機關を利用するや、各種の交通機關を利用する者の階級、朝夕の『ラッシュ・アワー』に於ける交通量とその輻輳位置、平日の交通狀態と時間的變動、都市內各地域に於ける人口分布と交通機關の配備等を審査して都市に於ける街路系統の樹立並に街路構造設計の萬全を計る事を意味する。

反射的裁定とは交通並に交通機關の都市の經濟的生活竝に社會的生活に及ぼす反能を究明して都市計畫の行政的方針を策立する事である。交通施設例へば高速鐵道施設が隣接地帶の商業及工業に及ぼす經濟的の反能、又は附近地帶の地價に及ぼす影響、都市各種用途地域の發達に對する關聯、交通輻輳の保安上の關係等を剪明して都市計畫遂行の行政的運用に資する事を意味するのである。

この各裁定は單獨的を以ては、都市交通問題を解決し得ざる事は云ふ迄も無く綜合的裁定によりてはじめて都市計畫上に於けるこの主要的問題の幾分に對して見解を得る事が出來るのである。勿論都市の交通そのものは動的であつて諸種の素因が常に都市交通施設に反映するものである故にその完全なる解決は得て望まるべきで無く從つて今日の都市問題の內に於て常に論議の中心となつて居るのである。

2

都市區域內の交通は道路交通が最も普遍的交通機關なるが故にその能力の發揮、經濟等は道路の幅員、延長、分布、路面構造の如何によりて異なる。則ち都市交通の根本は交通機關の配置、整備によりて解決の鍵は握られ交通機關の整備は街路及系統の如何によつて決定さるゝのである。されば一度街路系統の決定完成せんかその擴築、變更等は容易な業で無い、而かも都市交通は都市の社會的、經濟的狀態によりて頗る彈力性に富むものである故この街路系統計畫に對しては交通車の性能の攻究が殊に緊要の事項である。道路上に運轉さるゝ交通機關は現代都市に於ても多種多樣ではあるが一般公衆的のものは路面電車、乘合自動車であり個人的には自轉車、自動車である。これ等の交通上の恒久的生命の基本要項は(一)輻輳時に於ける大量輸送の能力を有する事(二)運轉上の經濟が他のものに優越なる事、(三)道路上に於ける輻輳竝に事故を偶發する機會の最小なる事、(四)氣候、天候等により運轉に影響を蒙らざる事、即ち常川的に信賴し得べき事等によるのである。この見地に於て路面電車及び乘合自動車を吟味せんに、路面電車の收容人員は一臺平均八〇人であるが乘合自動車は普通一二乃至一八人である。それで收容能力からすれば乘合自動車は電車の五分の一又は六分の一に過ぎぬされば朝夕の『ラッシュアワー』に際しては電車一臺に對して五、乃至六臺の乘合自動車を要する事になる。然し一時間の平均運轉速度は電車八哩、乘合自動車一三哩とするから結局同一路線上に於て電車一臺に對し乘合自動車約三乃至四臺を要する事になり結局路面電車は大量運輸に關しては乘合自動車に遙かに優れて居る。

運轉上の經濟に關しては倫敦に於ての調査によれば一坐席一哩の營業費は乘合自動車の一錢四厘、路面電車の約八厘にあたり則ち運轉營業費は路面電車の方がより經濟的である。然し乍ら乘合自動車は電車と異り軌道敷設及架線等の設備を要する事なきを以て創業にあたりて固定資本が少なくて濟む事である。一般に乘合自動車は路面電車の固定資本の消却と共にその利潤關係が接近し終には路面電車の方が經營によりては經濟的である。勿論この時期に關しては相當長年月を要する事は明らかである。

街路に對する輻輳に關しては路面電車の單位時間中に於ける道路の占有量が乘合自動車の約三倍である。これは各一輛に付ての比較であるが若し收容人員からこれを觀るときは乘合自動車は路面電車の約五分の一に過ぎざるが故に運輸人員一人に對しては乘合自動車が五〇パーセント多く道路を占有する事になり、この占有量の大きは道路輻輳の一大原因を爲すものである。事故發生の對外的には速力の大なる乘合自動車の多きは言ふを俟たぬ。

天候、氣候其他の影響によりて

常用的信賴をいづれが多く有するかに就ては、一概にこれを論ずる事は出來ないが同一狀態の天候、氣候による運轉上の影響は大差ないと認められる。只路面電車にありては一路線上の停電、又は一車の事故は後續の車輛に影響して路線上の全部の運轉が不可能となる場合を惹起する事あるもこれに反し乘合自動車にありては一車の事故は何等他に影響を及ぼさない。尙且つ隨時に增發し得る性能と速度の大なる事は乘用者に對して時間的觀念上の信用を維持する事が大である。

由是觀之は路面電車竝に乘合自動車はその根本の性能に於て競爭的立場を執るべきものに非らずして各自の分野が自ら定まつてその範圍に於て將來共に發展し得る事は明らかである。之を要するに乘合自動車は、(一)都市域のある一部的交通機關として、(二)都市の路面電車の補助交通機關として、(三)都市街路が路面電車を敷設し得ざる程狹き場合の交通機關として利用さるゝ範野を有するものである。今歐米に於ける數都市の乘客數と乘車種類をあぐれば次の通りである。

市名	高速		路面		乘合		合計	
	乘車人員	百分率	乘車人員	百分率	乘車人員	百分率	乘車人員	百分率
紐育	一、四五一、〇〇〇千人	五九	九八一、〇〇〇千人	三九	五一、〇〇〇千人	二	二、四八〇、〇〇〇千人	一〇〇
倫敦	五五一、〇〇〇	二五	六八一、〇〇〇	三三	九三一、〇〇〇	四三	二、一七一、〇〇〇	一〇〇
巴里	五九三、〇〇〇	四六	三三一、〇〇〇	二五	二四六、〇〇〇	二一	一、一四七、〇〇〇	一〇〇
伯林	六七八、四〇〇	三七	九〇一、三〇〇	五〇	二三一、三〇〇	一三	一、八〇一、〇〇〇	一〇〇
漢堡	九五一、〇〇〇	二七	二四五、〇〇〇	七〇	二一、五〇〇	三	三五一、五〇〇	一〇〇

則ち都市中樞部の街路が電車敷設に適せず乘合自動車を以て代用せる觀ある倫敦を除いては路面電車利用が乘合自動車のそれよりも遙かに大である、勿論これ等は路線の運轉哩數の關係も亦見逃がす事の出來ぬ要素を含んで居る。

都市に於ける主要交通機關を中小都市に在りては路面電車竝に乘合自動車を以て足れりとするも大都市に在りては尙高速交通機關の敷設を要す。即大都市は概ね其面積の廣大と共に人口密度の大なるを常とする。これは都市の經濟的活動が都市の中樞部に於て爲され勢遠く距るゝ事の不便なるが故である。現代都市民の觀念は都市より離るゝ距離に對しては無關心であるが、都市への到達時間に關しては頗る敏感である。大都市の保安、保健上の缺陷、經濟的活動の能率減退に對する方策は即ち都市人口の分散と適當なる住居地の供給である。高速交通機關はこの使命を果たす爲めの唯一の施設である。この高速交通機關は地下、高架鐵道の謂であるが、これは大量輸送の特點と速度に於て他のものゝ追隨を許さゞるのみならず、路幅輳の主原因も亦對外的事故の偶發する機會も尠ない。されば前表に示すが如くこの利用數竝に割合は頗る大である。現今大都市に於ける交通問題の根本的解決はこの施設によらざれば完全なる解決は不可能である。これ等交通機關の職分及び整備方法に誤り無きを期す事が緊要である。總括してこの職分をあぐれば、(一)高速鐵道は都市內の一般交通よりは寧ろ都市人口の分散、密度の低下、生活費の低減と且つ都市の用途地域の機能を充分に發揮すべき事、(二)路面電車は都市域內の一般普遍的交通と比較的短距離の交通に整備さるべき事、(三)乘合自動車は都市一般交通の補助機關たるべき事、これである。

都市計畫上より都市に於ける路面電車、高速鐵道の配置はいかにすべきやと言ふにこは都市面積、人口、生活、樣式、地形によりて一律に決し得ざるも路面電車は相當密に高速鐵道は何れの地點より半哩位にて到達し得るの要がある大體に於ては都市面積一平方哩に付高速鐵道二哩、路面電車五哩位が必要とされる。今數都市に於けるこれ等の割合をあぐれば次の如くである。

市名	人口百萬に對し軌道(哩) 高速	人口百萬に對し軌道(哩) 路面	面積一平方哩に付軌道(哩) 高速	面積一平方哩に付軌道(哩) 路面
倫敦	四四	六四	一・七	二・五
巴里	三九	九四	三・七	八・七
伯林	三三	一〇六	二・七	八・八
紐育	七〇	二一〇	一・三	三・九
市俄古	六四	三七二	〇・八	四・八
大阪	一九	三五	〇・六	一・二

我國大都市の交通施設の外國諸都市に比して非常に少きは右の表の示す如くにして今日朝夕非常なる交通混雜を呈せるは故なきに非ずして將來益々交通機關の普及發

達を圖らねばならぬ事を示すものである。

3

都市の一般公衆的交通機關の外に特種交通運輸機關として自家用自動車、商業用自動車、自轉車等は街路使用者として重きをなして居る。歐米大都市の交通政策はこれ等自動車交通を主眼とした對策であるがこの傾向は又最近我國大都市にも及ぼして居るのである。今此等の我國二大都市に於ける增加の趨勢を見るに、大阪市にては大正十一年の八八三輛が昭和三年三月末に於て三、二二四輛となり六ケ年に約三六五パーセントの增加を示し、東京市にては大正十一年の四、一八五輛が二〇、八〇〇輛の約五倍に增加した事である。かく自動車の增加のみならず我國都市の經濟的關係は商業の特種狀態によりて自轉車、自動自轉車の增加が殊に著しきものがある。さり乍がらこの自動車の累進的增加は一方には牛馬車等の增加を牽制して居るとは言へ國家的財政と都市街路の構造竝に生活程度の歐米諸都市より劣る事大なるを以てその躍進的增加の永續に關しては疑はしい。殊に大阪市街路の內今日實際これ等の自動車の運轉し得る相當の幅員と路面條件を具備するは道路總面積約二百八十五萬坪の內約百萬坪に過ぎぬ。これ等は幅員三間以上のものも含むのである故にこの街路上に運轉し得る自動車は最大限度四萬輛を算定する事が出來る。されば大阪市に於ける實際登錄數は六萬輛を超過する事は現今の街路系統を以てしては永久期待し得ぬのである。然るに主要幹線道路の日々目擊するが如き輻輳は何を意味するのである乎。慨括的に都市街路輻輳の原因は次の四つの項目にあげる事が出來る

一、道路系統の不整備なる事
二、道路交通車輛の增加
三、高速、緩速車輛の混合交通
四、高層建築の林立

道路系統の不備は取りも直さず都市施設の根本に於て缺陷のある事に起因するのであつて今日の都市計畫はこれに善處すべく所謂放射路線、環狀路線系統等を樹てるのを常として居る。交通車輛の增加は經濟的都市發展によりてこの趨勢は寧ろ喜ぶべき現象としなければならぬ。この增加を阻止するが如きは都市政策上執らざる處であつて、この爲めの整備であるが、街路上に於ける高速車則ち自動車自動自轉車と牛馬車、手挽車等との混合交通は街路の交通能力を頗る減殺するものである。牛馬車一輛の交通は自動車の三、四輛の交通に匹敵するもので、各車輛の速度を制限し路面占有量を增加するものである。高層建築の林立はこれに勤務する包容人口の大を示して居り、朝夕『ラッシュアワー』に於ける歩道上の混雜を惹きおこす事は明らかである。然し乍ら幸にも我國にては既に市街地建築物法の施行を見て、紐育、市俄古等に見る如きこれ等に起因する不祥事は經驗せずに濟む事である。

以上の內にて我國都市街路の輻輳の主因となるは都市街路系統の不備と、高速、緩速車輛の混合交通であり、附帶的には一般公衆交通機關の整備の不充分な事である事は明らかである。これに對する方策としては大略左の事項が必要とさるゝ。

一、都市地域制の確立と竝に其嚴なる施行
二、高速鐵道の整備
三、街路網の適切なる計畫と施行
四、路面電車の配備
五、郊外交通機關の統一
六、輻輳緩和方法として特種街路に於ける高速度、緩速度車輛の分離交通、幅員狹き街路の單一方向交通の指定交通整理施設の普及と其實行
七、街路交通の訓練

以上各方法の統制を以てすれば今日の都市の街路はその機能を尙充分に發揮し得べく、都市計畫當事者はこの方針により邁進敢行努力を續けて居るのである。

（一九二九、五、一七）

市街の美觀を保護

現行建築例は高層建築制限のため建築物の高さは一定の制限を加へて危險を豫防すると共に街路の美觀を保護してゐるが此の反對に建物の低さには何等の制限をしてゐない、代表的建築物も低さを制限された曉には建築群の明星となつて一段の美を增すものと想像されてゐる。



都市連絡と都市計畫

京都市土木局
土木課長 溝口親種

軌道に鐵道に又は道路に都市間の連絡施設は漸次改善の域に進みつゝあるも、交通運輸の數量激加のため其の狀態は日を逐ふて窮迫に瀕せんとせり。都市計畫上、市の內外の交通は路面高架地下の各電車線路、鐵道線路、或は自動車道路等の諸般の設備に對してそれ〴〵計畫し且實行せられ居るも、之等の諸施設も其の完成と同時に之れが不足を感ずるの有樣にして現狀に鑑み更に一步進みたる考慮を計畫中に加味するの必要はなからふか。

社會の進運につれ都市間の交通を迅速に且つ便利ならしむることは甚だ急務にして、飛行機を利用することは迅速の點に於ては之れに如くものなからんも、多量の輸送は到底望み得べくもあらず、汽車電車によるよりも迅速に容易にして、比較的に多量輸送を爲し得るものは、現今に於ては自動車を首位とせざるべからず。茲に於て自動車をし-其の能率を充分に發揮せしめんとせば、勢ひ自動車專用道路の問題となる。

◇

全國大都市縱貫自動車專用道路と、之れに關聯せる樞要地點間の橫斷專用道路とを施設し、尙ほ樞要大都市間は線路を複々線に相當する幅員となし、自動車進路を普通用と急行用とに區別し、自動車の能率を充分に發揮せしめたならば、獨り交通運輸上の利便のみならず物價の低下を來たし、產業上經濟上、社會上、稗益すること必ずや大ならん。勿論樞要都市附近は其の必要の程度に應じ高架若しくは地下道路となし、他の交通機關を阻碍せざる如く計畫し、自他共に其の機能を損せざる樣施設せざるべからず。

之れが經營方法は、各都市共其の市內乘入れを許し、主要なる倉庫、店舖『ホテル』等の附近より貨客の直接集散乘降をなし、其の儘專用道路により直に輸送し得るの方法を講ぜざるべからず。而して國家、公共團體、又は民間會社の經營たるとを問はず、使用料金制と運賃制とを併用し經營するを利益なりと思考す。

◇

都市連絡自動車專用道路は歐洲では、伊太利に於て之れを計畫し其の一部は既に之れが使用を開始し、優良なる成績を擧げおれり。本邦にても近き將來に於て必ずや之れが實現を見るならん。若しそれ燃料缺乏の危惧に迫る如き場合ありとせんか、其の際之を軌道に變更することは左程の難事にはあらざらん。目下計畫せられおる大都市連絡の長距離軌道は、之を自動車專用道路に變更せば經營上或は有利なるにあらざるか。

◇

兎も角に、都市連絡自動車專用道路につき、爲政者、實業家は國家將來のため之れが具體化を圖らざるべからず。自動車專用道路と之れに關聯する乘降集散場の如き設備に就き、豫め大都市の都市計畫中に之を講究しをくの必要はなからふか、敢て識者の考慮を促す。

街路の美化

大阪『堺筋會』の街路美化運動で難波橋南詰から日本橋北詰に至る市電沿線にはすでに輝かしい街路燈建設をはじめとして着々諸種の計畫を實現しつゝあるに對しかねて日本橋南詰以南惠美須町に至る沿道住民間にも『日本橋會』を組織して『堺筋會』同樣の街路を美化する計畫がすゝめられてゐたがいよ〳〵日本橋筋一、二丁目から街路設置工事に着手することに決定した、追つて同三、四、五丁目の各町も着手のはずで全部實現の上は難波橋から惠美須町まで晝とみまがふ明るい街が打續くことになるわけである。



交通の立體化

—歩行者の保護—

大阪朝日新聞社調査部長
藤田進一郎

1

都市建築の大勢は、やはりアメリカ式の摩天閣を理想として進んでゆきさうである。成べく大空へ大空へと延びようとするらしい。限りある地域に、限りなき住民を收容しようとするのが、いづくもおなじ希望だから、これもやむを得ないことなのであらう。水の卑きに就くがごとく、都人は高きに就いて止まるところを知らない。平面に働らく抵抗力に壓せられて立體的に無限におしだされるのである。

アメリカ人は、摩天閣のことを『空中の長劍』("The Sword of City.") と名づけてゐる。けだし最早寸分の餘地もなしと認められるところに、ずん〳〵と、新らしい發展の道をきり開いてゆくからである。かくてそれは、平面的な都市を、非常な勢ひで立體化し、今なほ盛んに立體化しつゝあり、わが國の都市までも風靡せんとしてゐる。しかし、この『空中の長劍』は、兩刃の長劍である。一方の刃で自ら成長し發展する道をきり開くと同時に、他方の刃で、それが必然に齎らし來る人口の異常なる集中によつて、自らの運動を妨害し、活動を掣肘し、往々致命的の重傷さへも、自らに負はせてゐるのである。立體化した世界の大都市にして、コンゼツションの緩和にてこずらぬはなく、何が最も重大な中心問題かといへば、殆んど例外なしに交通問題である。

それもそのはずで、都市は、その『空中の長劍』を縱橫に揮つて、盛んに空中に家庭をつくり、事務所をたて、倉庫を設け、商店を開き、都市の上に都市また都市を重ねつゝあるにかゝはらず、交通はなほ昔のまゝの平面的である。五階、七階、十階といふやうな高層建築物が林立して、人口を收容するレヴエルが、五つにも、七つにも、十にも增加したのに、人間の交通するレヴエルは、依然としてたゞ一つなのである。人間の交通するレヴエルをも、人間の生活するレヴエル同樣に改造し、都市の立體化に應じて、交通の立體化をも圖るのが合理的である。

2

都市計畫專門家の說によるに、ある都市の人口が、七十萬に達すると、高速度交通機關を必要とするにいたるのであるが、この高速度交通機關は、すべて路面を走らずいつも高架式または地下式たるべきであるから、こゝに交通の立體化が初まるわけである。

世界の大都市の現狀からみると交通の中心は、地下の高速度電車に移つてしまつたやうである。摩天閣において、世界第一の稱あり四十階、五十階の高塔のやうな建築物をもつて滿されてゐるニューヨーク市等が、特にさうである。ラッシュ・アワーには、一分間ごとに發車される十輛連結の急行電車が、一時間四十マイルの速力で疾走してゐる。市內交通の要衝に當るタイムス・スクエアーの地下停車場には、一時間に百三十列車が發着し、平均三百人の乘客を呑吐する。

しかも、まだこればかりでは不十分だといふので、交通の緩和と安全とのために、地下步道や、marginal highway や bridge cut-offs などが提案されてゐる。

ロスアンゼルス市では、四十のトンネルが穿たれ、さらに增設の計畫中であり、パリは四百萬圓を投じて、地下步道を設けようとしてゐる。

3

交通の立體化は、何よりもまづ步行者の安全を保護するために必要である。現代大都市の交通狀態は、わが國においても、すでに、

たゞ一つの平面路をもつてしては歩行者の安全を保障することのできない程度にまで達してゐる。その主要街路を一瞥してもわかるやうに、その歩く人間を本位にしてゐない。電車や、自動車を利用するものばかりに、都合よくできてゐるのである。歩道の設けられてゐる場所でも、電車や自動車用の車道が、中央の大部分をわがもの顔に占領して、歩道は申譯的に、極めて狭苦しい上に、電柱や、燈柱や、街路樹が林立し、それに頭をぶツつけることなしに、氣をゆるして、のんきらしく一歩でもあるくことは困難である。おまけに大阪の堺筋などを通つてみると、歩道上到るところに、塵埃箱きおいたり、自轉車をならべたり、甚だしきに至つては、商品の空箱その他の物置にまでも流用され、あらゆる種類の障害物で殆んど一杯に滿されてゐる有様である。

この歩道を一歩ふみだして、街路の横斷でも企てやうとすると、自轉車、自動車、電車、荷馬車がしツきりなしに通り、これらの發する不快なけたゝましい各種の警笛におひたてられ、命からゞ〳〵遁げまわるやうにして辛うじて目的を達することができるのである。

かうして、街路上で最も虐げられるのは、憐むべき歩行者である自動車に乘つたものが、傍ら人なきがごとく、中央の車道を、制限速力の超過をも構はず、風を切つて疾驅するそばで、歩行者のみは戰々競々、小さくなりながら、わづかに與へられた歩道の上を見すぼらしく遠慮がちに歩いたり、必ずしも安全でない安全地帶をよすがに、命がけで横斷させてもらふのである。産業文明の世の中では機械が人間を壓倒するといふが、現代大都市の交通狀態は、文字通りにさうである。

大都市の街路において、歩行者たるの困難と、危險と、悲慘とから察すると、人間はもう歩くことを廢めたもの、外出には必ず何か乘物に乘るものと假定して作られてゐるやうである。人間が歩くのを廢めることは少くともダーウィンの進化論にも見當らない。

4

最近にもこんな話しを聞いた。大阪市堺筋の南久太郎町にある安全地帶を、そのまゝ存置して、そこを横斷しようとする子供の安全を圖らうとしたところ、近ごろ自動車が連りにそれに乘りあげるので、これでは安全地帶どころか、却つて交通妨害帶だといふわけから、大阪府の保安課が市に對してその撤廢方を交涉しようとしてゐるといふのである。安全地帶が交通の妨害とは、妙な論理もあつたものではないか。人の子が街路を歩くのにはどんなに困つても、自動車さへ無事に通ればいゝといふわけらしい。

いつであつたか、また、惠美須町の安全地帶に自動車が乘りあげて、そこで電車を待ち合せてゐる人々を傷けたことがあつた。ごんなに安全な安全地帶があつても、こんな亂暴な自動車にかゝつては、みなこの通りだから、もし、それすらなかつたならば、それこそ歩行者のとりつく島もないことになる。

元來安全地帶が、自動車の妨害になればなるほど、歩行者にとつて命の親ともなり、安全地帶としての効果が、いよ〳〵發揮されるわけではないのか。車輛の不完全か、操車の不注意か、どちらかに申分のある自動車が、たまたまそれに乘りあげたからとて、罪を安全地帶に歸するのは、子供が柱に頭をぶツつけながら、柱が惡いとて無心の柱をたゝくやうな愚劣さはさておき、まるで歩行者の存在を認めない言分である。街路の交通設備のみならず、官憲の交通取締方針までが、かうして差別的で不公平で、歩行者にとつてのみ不利益にできてゐる。

5

せつかくいろ〳〵の交通機關が發明され、文明の利器として利用されつゝあるのだから、それをなるべく民衆化し、最大限に活用して、生活の內容を豐富にし、仕事の能率を高めるのは、結構なことである。

あへてラスキンのやうに、汽車はナンセンスだからとて、箱馬車で國內を旅行せよといふのでもなく、またオーストリアの故ヨセフ老帝のやうに、君主の威儀を正すためには、必ず四頭立の馬車を驅るべく、決して自動車を用ひてはならないといふのではない。しか

し、いかに電車線路が四通八達し自動車の數が激増したからとて、忽ち市中のすべての人間が、電車や自動車ばかりを利用するものと早合點をしてはならない。

電車や自動車を利用するものがどんなに增加したやうにみえても歩行者の數に比較すると、まだ〳〵高の知れたものである。自動車が一般によく行きわたり、自動車國民とまでいはるゝアメリカの大都市でさへも、日常實際にこれを利用しつゝあるものは、九牛の一毛にすぎない。ピツツバーク市の主要街路の交叉點において調査したところによると、乘合自動車の乘客一、自家用自動車で通過するもの八、市街電車乘客二十七、歩行者六十四といつた割合である即ち歩行者の六割四分に對して、自動車を利用するものは、ほんの一割にも足りないのである。

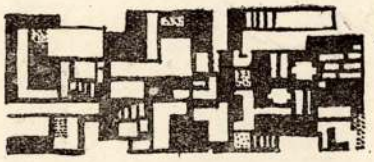
しかも主として街路を危險にし交通事故を惹きおこすものは、實はこの多數の歩行者にあらずして少數の自動車乘客だといふから矛盾してゐる。

6

僅かに九人のために、六十四人までが、街路上で、いつも命がけの危險に曝露されなければならない。このやうな交通上の機械横暴少數專制は、どうして健全な都市生活といへよう。

少くとも文明の利器の利用者と歩行者とを、對等に取扱ひ、公平に享樂せしめなければならぬ。これ、我國の諸都市において、交通の立體化が、都市計畫上の一重大問題となりつゝある由縁である。

大都市の交通問題といへば、電車か乘合自動車かに限られ、人間の歩行が全然閑却されてゐたのは、機械の利用に眩惑された不思議の變態現象である。(完)



我國に於ける都市計畫の現勢 (1)

都市計畫大阪地方委員會
加藤善吉

一 はしがき

大正八年都市計畫法の制定せられて茲に十年爾來本法の適用を受けた都市は既に九十二に達し各都市共に勇々しくその活現に絶大の努力を拂ひつゝあることは何人も等しく認めるところである。殊に東京を始め大阪の如きはその計畫に其の事業に實に目ざましきものがある。斯の如き狀勢にあるので既に今日に於ては都市計畫に對する人々の觀念は普遍的となつた。であるから日を追ふて決定せられる都市計畫及都市計畫事業の大勢を記述するも無益ではあるまい。

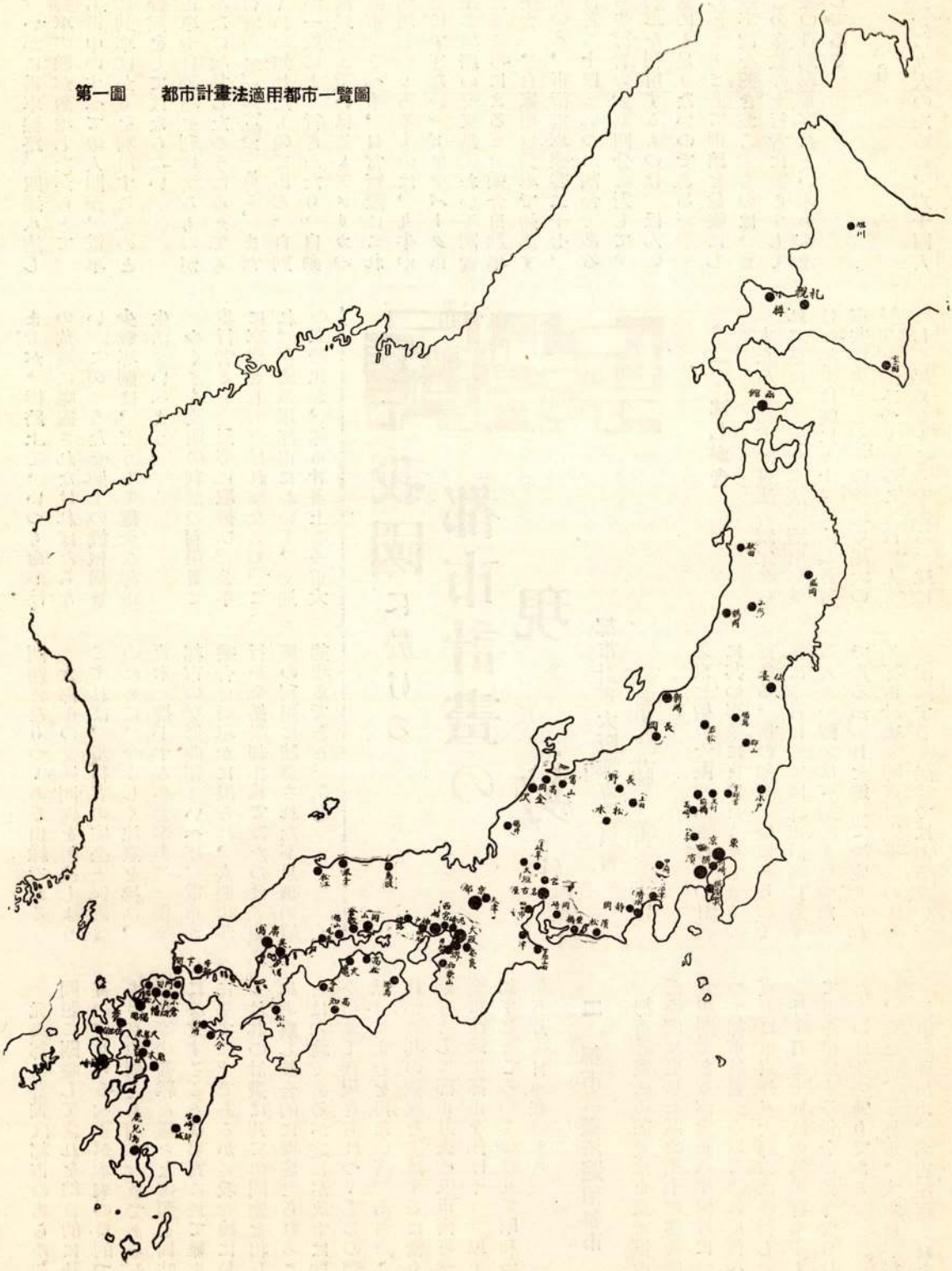
元來都市計畫は都市のあらゆる問題に關聯して之れを綜合的に計畫決定せらるべきが本來の目的であり又原則とも謂ふべきであるがこれ等の複雜な種々な問題を同時に決定することは事實に於て難事に屬する。であるから我が國に於ては其の計畫は凡ての問題を相互に考察し綜合的に顧慮せられることは勿論であるが之れが決定は順を追ふて實現せられつゝあるの現狀は又止むを得ない所である。これから其の概況を記述するに當り順序として都市計畫法及市街地建築物法適用都市を掲げやう。以下記するところのものは凡て昭和四年五月末日現在である。

二 都市計畫法適用都市

都市計畫法の前身は東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則であるが大正八年四月に至つて都市計畫法を以て之れに代へ直ちに東京外五大都市に施行したる外今日まで同法の適用都市として市を指定する勅令の發布せられたものは次の通りである。

一、東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市、名古屋市（以上

第一圖　都市計畫法適用都市一覽圖



都市計畫法第二十九條の規定に依るもの)

一、札幌市、小樽市、函館市、堺市、尼ヶ崎市、長崎市、新潟市、豊橋市、靜岡市、濱松市、岐阜市、仙臺市、金澤市、岡山市、廣島市、吳市、下關市、福岡市、門司市、小倉市、若松市(福岡縣)、大牟田市、八幡市、熊本市、鹿兒島市(以上大正十二年七月一日施行)

一、富山市(大正十三年六月一日施行)

一、佐世保市、長岡市、津市、岡崎市、一宮市、清水市、大垣市、長野市、松本市、高岡市、和歌山市、高松市、丸龜市、高知市、大分市(以上大正十四年四月一日施行)

一、西宮市、戸畑市(以上大正十五年四月一日施行)

一、旭川市、八王子市、姫路市、明石市、高崎市、宇都宮市、足利市、宇治山田市、四日市市、沼津市、甲府市、上田市、郡山市、福島市、秋田市、福井市、尾道市、德島市、今治市、久留米市、別府市、宮崎市(以上昭和二年四月一日施行)

一、岸和田市、横須賀市、川崎市、前橋市、水戸市、奈良市、大津市、盛岡市、松江市、松山市、(以上昭和三年一月一日施行但し川崎市は昭和三年四月一日施行)

一、室蘭市、若松市(福島)、山形市、鶴岡市、鳥取市、米子市、倉敷市、福山市、宇部市、佐賀市、都城市(以上昭和三年九月十日施行)

三 市街地建築物法適用都市

都市計畫法と市街地建築物法とは姉妹の關係を持ち兩々相俟つて初めて其の實績を擧げ得るのであるから都市計畫法適用都市は同時に又市街地建築物法適用都市でなければならぬ。然しながら都市計畫法は市に限定せられるが市街地建築物法の適用せられる區域は市其他の市街地であつて必ずしも市に限つたものではない。であるから現在市街地建築物法の適用せられる區域は都市計畫法の適用ある都市ばかりでなく近時都市化の特に著しい土浦町及近年火災のために市の中心部を燒失した沼津市及宮城縣氣仙沼町に及むで居る。現在に於ける本法適用の都市を揭ければ次の通りである。其の中、東京、京都、大阪、橫濱、神戸及名古屋の六大都市と堺市、尼ヶ崎及西宮市に對しては市街地建築物法の全部が適用されてあるが其の他の都市及町は同法施行令第三十一條に基きて指定されてゐるので建築物に對して構造の制限其他の種々の制限が除かれ所謂緩和規定が適用されるのである。

一、東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市、名古屋市(以上大正九年十二月一日施行)

一、堺市、尼ヶ崎市、西宮市(以上大正十五年十一月一日施行)

一、札幌市、函館市、小樽市、長崎市、佐世保市、新潟市、長岡市、津市、豊橋市、岡崎市、一宮市、靜岡市、濱松市、清水市、岐阜市、大垣市、長野市、松本市、仙臺市、金澤市、富山市、高岡市、岡山市、廣島市、吳市、下關市、和歌山市、高松市、丸龜市、高知市、福岡市、門司市、小倉市、若松市(福岡)、大牟田市、八幡市、大分市、熊本市、鹿兒島市、茨城縣土浦町(以上大正十五年十月一日施行)

一、戸畑市(昭和二年三月一日施行)

一、沼津市(昭和二年二月一日施行)

一、松江市(昭和三年二月一日施行)

一、旭川市、八王子市、岸和田市、橫須賀市、姫路市、明石市、前橋市、高崎市、水戸市、宇都宮市、足利市、奈良市、宇治山田市、四日市市、甲府市、大津市、上田市、福島市、郡山市、盛岡市、秋田市、福井市、尾道市、德島市、松山市、今治市、久留米市、別府市、宮崎市(以上昭和三年四月一日施行)

一、室蘭市、若松市(福島)、山形市、鶴岡市、鳥取市、米子市、倉敷市、福山市、宇部市、佐賀市、都城市(以上昭和三年十一月一日施行)

一、宮城縣氣仙沼町(昭和四年四月二十日施行)

他に右都市中市外隣接町村に適用せられたるもの多けれども之れを略す。

四 都市計畫區域

都市計畫法の適用都市として指定された市は先づ第一に其の都市の諸相を相互に考察して都市計畫區域なるものが決定されるのが例である。都市計畫區域に就ては種

々の議論があるが要するに都市計畫の目的たる區域であつて現に市街地をなせる土地及將來市街地として開發せられることを豫想し得る土地を包容するものである。其他にも今日問題になりつゝある綠地即ち不建築地なるもの又はこれに類するものも含まるべきは明かである。而してその區域の大小に就ては其の善惡種々の議論があるが從來決定せられた例を見るに都市を中心として其の附近町村を包容した尨大な區域を以て定められ其の多きは現市域の九倍餘に達する面積を包容せられてあるものもあり、又名古屋市の如き殆ど現市域と一致しておるものもある。都市計畫の諸施設は原則として此の區域内に行はれるが此の區域なるものは必ずしも都市計畫の施設を限定する區域ではなく或るものは其の性質に依つてはこの區域外に於ても執行せられることもあり得るのである。

都市計畫區域の決定に當つては關係市町村及都市計畫委員會の意見を聽いた上で内務大臣之れを決定し内閣の認可を受けるものである。次に既に區域の決定を見たる都市と其の年次を揭げやう。

都市名	決定年月日
札幌	昭和二、一、三
小樽	大正一五、七、六
函館	同一五、七、六
東京	同一一、四、二四
京都	同一一、八、二
大阪	同一一、四、二四
堺	同一四、二、一二
横濱	同一一、四、二四
神戸	同一一、四、二四
尼崎	同一四、二、四
長崎	同一五、一、一三
佐世保	同一五、六、一四
新潟	同一四、三、二〇
長岡	同一五、一〇、二〇
津	昭和二、三、八
名古屋	大正一一、七、五
豊橋	同一四、一、八
岡崎	同一五、四、一九
一宮	同一五、三、二
靜岡	同一四、九、一五
濱松	同一四、八、二二
清水	同一五、一、二七
沼津	昭和二、八、一三
岐阜	大正一三、一二、四
大垣	同一五、五、二一
長野	昭和二、一、二〇
松本	同二、一、二〇
仙臺	大正一四、三、一一
金澤	同一四、五、二九
富山	同一五、四、一二（昭和二、三、五變更）
高岡	同一五、四、一二
岡山	同一三、一二、六
廣島	同一四、一、一六
吳	同一四、三、三
下關	同一四、二、二
和歌山	昭和二、二、二四
高松	大正一五、五、一九
丸龜	同一五、五、一九
高知	同一五、二、八
鹿兒島	同一四、一〇、六
熊本	同一四、一一、三〇
旭川	昭和三、五、四
松江	同三、一〇、四
尾道	同四、三、一一
宇部	同四、四、一五
倉敷	同四、五、三一
福岡	大正一四、四、二二
門司	同一五、七、二六
小倉	同一五、七、二六
若松	同一五、七、二六
西宮	昭和二、一二、九
宇都宮	同三、九、一一
八王子	同四、三、一二
德島	同三、一〇、二
甲府	同四、四、二
大牟田	同一四、四、二二
八幡	同一五、七、二六
戸畑	同一五、一一、二四
久留米	昭和三、四、一二
今治	同四、二、五
四日市	同三、一〇、五
高崎	同四、三、一六
姬路	同四、五、三一

以上の如く都市計畫區域の決定を見たる都市は今日まで六十二を算し之等の都市は時こそ異なれ既に都市計畫の施設に精進しつゝあるのでこれから項を分ちてその概況を記せんとするのであるが茲に都市計畫と都市計畫事業との區別を明かにして置かう。

都市計畫の施設中には都市計畫として決定し得るに止まるもの即ち市街地建築物法に依る地域、地區の指定の如き或は都市計畫法に依る風致地區、風紀地區の如きものと、事業の執行に關する計畫、所謂都市計畫事業なるもの即ち街路、公園、河川運河、下水道の如きそれである。然しながらこれ等のものと雖も單に都市計畫として決定せられることもあるがこれは事業となる前提と見るべきであらう。

これより之等の計畫施設の決定したる各都市の概要を記するに當つて先づ都市計畫の部より始めやう。

五 都市計畫街路

都市構築の根幹をなす主なものは矢張り街路である。街路は骨で建築物は肉だと謂はれて居るが事實だ。であるから街路網の計畫に當つては各種の問題を考慮し就中交通上の問題、建築物に對する考察に關して最も重要視するの必要がある。かくして適當な計畫を樹てこれを執行するは都市の健全な發達を圖る所以である。然しながら街路網を事業として之れを實施するに當つては巨額の費用を要する。從つて計畫された街路全部を同時に施行するは財政上到底困難であるから先づ綜合的に街路網を都市計畫として決定し置き財政の許す範圍に於て漸次事業として施行すべきが得策である。中には他の施設に伴ひ自然的に完成せられるものも出來る。であるから街路網も差當り都市計畫として決定しやうとするに至つたのである。之れが都市計畫として決定した都市は左の通りである。

都市名	認可年月日
大阪	大正九、一、二二
神戸	昭和三、五、三一
濱松	昭和二、三、二五
京都	大正一五、八、六
新潟	昭和二、二、一
金澤	昭和二、六、二二
鹿兒島	同二、一一、七
靜岡	同二、一二、一三
富山	同三、三、二七
名古屋	大正一三、六、九 同一五、一、二七追加
堺	同一五、三、二五
岐阜	同一五、五、一
岡山	昭和二、二、一二
下關	同二、四、二
仙臺	同二、八、二七 同三、一一、三〇變更
豐橋	同三、一、三〇
熊本	同三、二、一六
長崎	同三、五、一九 同四、一六追加
大牟田	昭和三、六、八
廣島	同三、八、一
佐世保	同四、四、一五
清水	同二、一二、六
高松	同三、九、二七
丸龜	同三、九、二七

六 地域(住居、商業工業地域)

地域制は街路計畫と相並んで都市計畫中最も重要な役目を演ずるものであつて諸般の施設計畫も之れに因つて定まるのである。今日米國に於ける都市計畫に於てこの地域制に各都市共に全力を傾注し來つたこの事實を見ても如何に重要であるかを窺知し得る。

即ち地域制は都市を有意義に區別し而して各種の機關を完全に運用せしめるところの重要な施設であつて都市の健全な發達の一つの要件は其の土地の用途に對して各々利便な位置に配置することにある。若しかくせざるときは都市は錯綜と混亂只に無秩序に亂雜な發達をするばかりでなく遂には都市生活の危期に瀕するの狀態に陷らしむる。であるから之等の缺陷を未然に防ぎ或は既に釀された亂雜にして無秩序な狀態を矯正するために土地用途別に都市を劃然と區別し相似、相類するものが同一の場所に發達する樣企圖せねばならぬ。即ち都市をして住居、商業、工業其他都市の狀態に應じてより多くより少く之れを分類して限られた面積に於て最大な能率を發揮せしめ之れに加へるに建築物の高さ及面積の制限をして都市を衛生保安、經濟、交通上遺憾なからしめるのが地域制の本義である。

要するに地域制は夫々適材を適所に配置して各種の機能を最も有効に發揮せしめると同時に各種地域に於ける機關をして相互に妨げないよう企圖するのがその精神である。而して又地域制は更に進むで都市の中心地、或は市內交通の要衝に重要な公共的建築物を適當に配置し、市民の利便と藝術感の滿足向上を計る爲に公館地區、美觀地區の設定等が歐米の都市に於ては盛に行はれて居る。地域制の詳論に就ては大正十四年三月より同年十二月に亘つて東京の建築世界誌上に每號發表した拙稿を參照せられんことを望む。

我が國に於てもこの地域制に最も重きを置き而も市街地建築物法の冒頭に規定してある。即同法第一條には同法適用區域內に住居地域、商業地域又は工業地域を指定し得ることを規定し又勅令に依つて住居地域には住居の安寧を害する虞ある用途に供する建築物を禁じ、商業地域には商業の利便を害する虞ある用途に供する建築物を禁じ又衛生上有害保安上危險の虞ある用途の建築物は工業地域內でなければ之れを建築することが出來ない。然るに地域指定に際し前

記の三地域の何れにも屬せない部分を保留することがある、この地域を未指定地と稱しこの部分に於ける制限は工業地域内に非れば建築することが出來ないもの〻外は如何なる建築物をも建築することが出來る。我邦地域制の概要は右の通りであるが現在に於てこの地域を指定せられた都市の告示とその施行年月日は次の通りであるが尙他の都市も漸次その指定を見んとするの機運にある。

都市名	告示年月日	施行年月日
東京	大正一四、一、一六 同一五、八、一七 昭和四、九、二四	同二、一五 同八、一七 同九、一四 同五、一五
京都	大正一三、三、三一	同四、一
大阪	大正一四、四、六	同五、一
神戸	大正一三、一〇、一三	同一、一
横濱	大正一四、八、二一 昭和四、四、二五	同九、一 同五、一五
名古屋	大正一三、一〇、二七	同二、一五
新潟	昭和二、四、六	同四、一五
金澤	昭和二、六、二七	同七、一五
廣島	昭和二、六、二九	同七、一五
岐阜	昭和二、一〇、一八	同二、一五
堺	昭和二、一一、一	同二、一五
下關	昭和三、三、二七	同四、一五
吳	昭和三、六、一九	同七、一五
長岡	昭和三、六、二五	同七、一〇
大牟田	昭和三、五、二	同一〇、一五
熊本	昭和四、一、九	同一、一六
長崎	昭和四、四、一六	同五、一五

前記の如く地域は住居、商業、工業地域の三種と外に未指定地と稱せらるゝものがあるが尙更に有害危險の程度の甚しいものは工業地域内に特別地區を設けてこの地區でなければ建築することの出來ないものを規定してある。この特別地區の指定のない場合は工業地域は事實上無制限地域であるが特別地區の指定を見たる上は同じ工業地域内でも從來の工業地域より特別地區でなければ建築し得ないものは除外されて特別地區のみが無制限地域となるのである。而してこの工業地域内特別地區にもこれを甲種乙種と區別して指定し得るこの場合は甲種は保安上著しく危險の虞あるものを又乙種にあつては衞生上特に有害のものはこの地區に非れば建築することが出來ない規定になつて居る。然るにこの特別地區の指定せられた都市は現在では東京のみであるが大阪に於ても最近指定せられる機運に達し尙外一二の都市にもその指定を見るやに聞き及んで居る。

一、特別地區指定、東京、指定年月日地域と同じ。(未完)



都市に於ける公園新設と受益者負擔 (1)

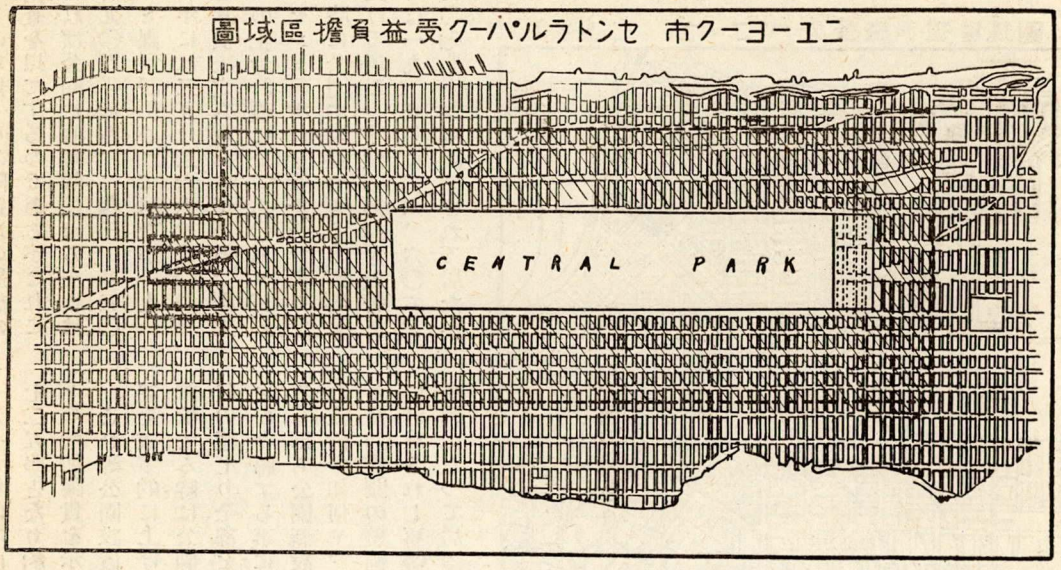
大阪市技師 溝江五月

1 緒說

都市の萬般に亘る公共施設はその施設の大小に拘はらず塵埃燒却場、墓地、火葬場等の特種のものを除きては一般に隣接地帶の土地の騰貴を促がすものであつてこれが都市としての自然の趨勢であり且つ都市の富力である。されど都市の公共施設に伴ひその隣接地帶の土地が異狀に騰貴し特別の者のみが利益を享くる場合に受益者負擔制度を採用して公共施設の財源に充つる事は近代都市の政策的一般傾向である。我國にても都市計畫事業による街路の新設擴築、路面改良、運河、下水等の施設に對してこの受益者負擔制度の實施を見て居るがこの制度はその性質として上述の事業以外範圍を一層多くすべきものたるべきや論を俟たぬ。この制度を採用しつゝある事業として米國にては街路の新設又は擴築、鋪裝、再鋪裝、勾配修正公園の新設、下水、堤防、護岸等を數へ又都市によりては街路の撒水、撒油、除雪、道路掃除等に迄及び、獨逸にても略ぼ之等と同じ項目をあげて居る。

この受益者負擔制度の法律的條例は十九世紀末より散見し得るもその實施は近年のことである。これは公共施設による土地の異狀騰貴の數字的精密なる比較調査が近年に到りて確立された事によるのである。我國にてもこの論理的立場

第一圖



よりして受益者負擔制度を施行し得る事業種別の增加の意嚮が各都市とも益々旺になりつゝある事は又然るべきことである。

2 公園の新設と受益關係

都市に於ける公園の新設又は改良は保健、衛生及都市の品位上の立場から觀ればその受益は都市民全般である事は明らかである。然し乍ら公園にもその種類、型態、位置面積等によりて市民全班の利益よりも寧ろ特別の個人又は私人が受益さるゝ場合の大なる事實が多い。バセツト氏の說によれば五〇英町(エーカー)以上の面積を有する公園にあらざれば都市民全般の利益は特別に揭ぐる事難く、それ以下の面積の場合には公園設置の地方的受益を算定し得るに止まるとするとある。公園設置による地方的受益とは新設公園附近地の異狀なる騰貴の謂であつてその例として紐育セントラル、パークはその面積八四三英町を有するが一八三八年にクロートン、レザーヴアーに購入せし時は一英町の價格二、三一六弗でその一八年後の一八五六年に公園設置に際しての購入價格は六、八三八弗となり二九五パーセントの騰貴を示したのが、一八六三年に最後の公園地帶として購入せるものは一八、一四九弗で二十五ケ年間に七八三パーセントの騰貴を來たした。全公園地帶の購入價格は七、三八九、七二九弗であるが之を現今の評價に於ては二二五、〇〇〇、〇〇〇弗と見做され約三〇倍の値上りを示して居る。これ等は公園それ自體の騰貴率を示したものであるがその附近地の土地價格に就て看る時はそれは公園地帶の値上り率の二倍半を示して居る。一八五六年に於けるマンハツタン四十街北方全部の土地は、その時代あまり繁榮しては居なかつたが、二五、六七一、四九〇弗と評價されて居た。今より約十年前同一個所の評價をした時には土地丈けにて一、九四一、七八七、五五〇弗となり更に、建築物等土地改良を含む場合には二、八八八、二〇六、二〇四弗となる。則ちセントラル、パークを周む土地にては七十五倍の昇騰を示して居る。これを要するに公園地帶にては一八五六年以來約三十倍の値上りを示して居るのに公園隣接地帶にては七十五倍の價格騰貴を看るの始末である。然かるに同市の他の部分は約二倍の値上りを看るに過ぎずしてその差は公園の設置による影響的利益であるとされて居る。

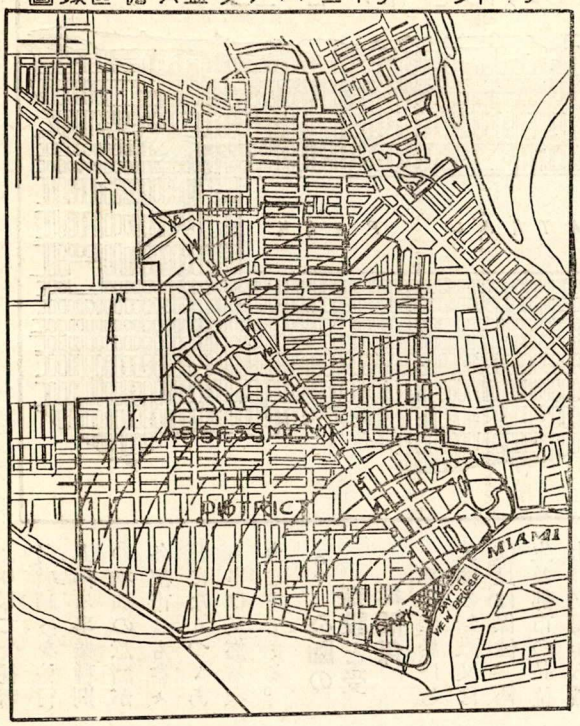
ニユージヤーシー州のエセツクス、カウンテイーにて公園設置の結果を公園委員によりて精密に調査せるに、四個所の公園、イーストサイド。ウエストサイド。ウイコヒツク。ブランチブルツクが百萬弗より五百萬弗に騰貴したことを知つた。然し乍ら公園自體の騰貴は何等課稅對象として價値のあ

るもので無くその附近地の狀態の精査を以てするのであるがこれによれば公園に直接隣接せる土地は一九〇五年に四、一四三、八五〇弗と課稅評價されて居たが一九一六年には二九、二六六、〇〇〇弗と評價決定されたのである。則ちこの土地評價に於て六〇六・三パーセントの增加を看たのである。同時に公園に直接せざるも影響を受けて居ると看做し得べき地帶については一九〇五年に三六、六〇六、九〇七弗と課稅評價されて居たが一九一六年には一一一、五三一、七二五弗となり約二〇四パーセントの增加騰貴を示して居る。

これ等公園設置による特種の受益を數字的に上げて居るが嚴密に解析する時は公園附近の土地の異狀の値上り全部を新設公園の影響にのみ歸する事に就ては疑問がある。即ち公園新設と共にその公園の設備の如何や、その附近に於ける交通機關の整備が公園新設と共に考慮されし事等も土地騰貴の一素因になつて居るのではあるまいが、又都市の膨脹に伴ふ經濟的價値の優越なる偶因や、都市施設の短時日の間に急速に發展せる米國の如き特種的狀況にも亦因るのではあるまいが。されども述上の受益の大部分はこれ等公園設置の影響による事明かである。

第二圖

デイトン　ヴィユパーク受益負擔區域圖



3, 受益者負擔賦課方法と賦課の範圍

公園設置に際してその隣接地帶に受益者負擔制度を始めて採用せるは一八五六年紐育のセントラルパークの土地收得に際しその費用の三二パーセントを公園附近地帶に賦課せるにある。又ブルークリンのプロスペクト・パークにては三八・五パーセントを同樣賦課せることであつた。カンサス市はその政策において稍趣を異にし全市を八區(最初は六區)に區分してその分轄地域內に於ける公園の全費用を各區域に負擔せしむる方法を採用した。勿論同一區轄內にても公園隣接地帶とそれより遠ざかる距離に從つてその負擔率を異にして居る。デンバー市も亦カンサス市同樣に都市域を四つの公園區に分轄し各區內の公園及遊步道建設費の全額を負擔せしめ賦課率は收得すべき公園及遊步道よりの距離に從ひ異にするものであつて同市技師メリーウエザー氏によりて作製せられたものである。則ち第一地區にては間口二五呎、奥行一二五呎の一劃地に對して公園隣接附近及其の距離の遠ざかるに從ひて二弗九八仙より一弗一六仙迄の間を、第二地區にては一劃地五弗九仙より二弗二六仙迄の間を、第三地區にては三三弗より五〇仙迄の間を、第四地區は都市のシビックセンター地帶にてこの地區にては約三百萬弗をこの目的に費消して居るので一劃地當り最高一千弗より最低三弗迄の間を賦課したのである。

セントポール市では公園新設の目的の爲に二〇四英町の土地を購入するに際し其費用四七九、〇〇〇弗をその公園地區の九平方哩の土地に割當て公園よりの遠近により間口に對して一弗四五仙より二四仙迄の間を賦課する事を承認した。以上の外最近科學的賦課方法として實施せるものにオハイオ州デイトン市のデイトン・ヴイユパークがある。この公園はマイアミ

河に沿ふ約二ブロックばかりの公園であるがこの土地收得費に對する受益者負擔賦課方法として公園を中心とする一五個の等距離の圓圈地帶に分ち各地帶によりてその負擔率を異にするのである。第一地帶にては一標準劃地に對し一〇〇弗、第二地帶にては二七弗六〇仙とし最後の第十五地帶にては一弗一四・六仙としたのである。この比率に準じて公園收得費一一萬弗の內五萬五千弗を賦課したので

地帶	受益者數	一受益者負擔率(弗)	地帶別負擔額	一受益者更正負擔率	地帶別更正負擔全額
一	七八・〇	一〇〇・〇〇	七、八〇〇	一三二・七一	一〇、三五二・一五
二	二六三・〇	二七・六〇〇	七、二六〇	三六・六二	九・五九四・三五
三	一八二・五五	一三・六〇〇	三、八四〇	一八・〇五	五、一九九・三〇
四	三九・〇	九・三五〇	二、九八〇	一二・三九	三、九五二・〇〇
五	三三三・五五	八・〇六〇	二、六三〇	一〇・七〇	三、四六二・五五
六	四四・五五	六・九〇	二、九二五	九・一五	三、八八三・一五
七	四五・五五	五・七六〇	二、六二五	七・六四	三、四八一・三〇
八	五〇九・〇	五・二〇〇	二、六四〇	六・八九	三、五〇〇・一〇
九	五八・〇	四・七〇〇	二、四四〇	六・二四	三、二三〇・五〇
一〇	五〇〇・〇	四・〇〇〇	二、三八〇	五・三五	三、一七七・〇〇
一一	六一七・〇	三・五六〇	二、〇五〇	四・四六	二、七五四・〇〇
一二	三五八・五五	二・八九〇	一、〇三八	三・八三	一、三七二・八〇
一三	二四六・五五	二・三一〇	五六八	三・〇六	七五四・三〇
一四	二六八・〇	一・七三五	二三三	二・三〇	一九四・四〇
一五	七三・五五	一・一四六	八四弗	一・五三	一二一・七〇弗
計			四一、三二二		五五、〇〇〇・〇〇

ある。今是等各地帶の比率及負擔額を示せば次の如くである。

これ等を煎じ詰むれば公園新設による受益者負擔方法としては

一、都市を數個の公園地區に分轄し各地區內の公園に對する費用をその地區內の受益の大小により負擔率を定め賦課する方法

二、公園地區を豫め定めずして新設公園による受益地域を公園を中心とする等距離の數個の圓圈地帶若しくは邊形地帶に分轄しその受益の大小により各地帶毎に負擔率を定めて賦課する方法

の二つに分類する事が出來るが各地帶內の道路面積はこれを控除して一は道路に面する間口により、一は劃地面積の大小に按分して負擔額を算定するのを普通として居るのである。(未完)



都市計畫受益者負擔に關する若干の考察 (1)

大阪市主事 法學士 玉井猛

一 序說

形式上の意義に於てゞなく實質上の意義に於ける受益者負擔の制度は大正八年に都市計畫法及道路法に依り名實共に受益者負擔が確立された以前に於ても既に存在して居た。例へば市制第百二十二條第一項及町村制第百二條第一項に定めて居る數人を利する市町村營造物の費用負擔、市制第百二十二條第二項及町村制第百二條第二項に定めて居る市町村の一部を利する營造物の費用負擔、市制第百二十四條町村制第百四條及府縣制第百十一條に定めて居る不均一賦課の如きは法律は之を租稅として取扱つては居るけれども實質上は明に受益者負擔たるものである。とは云へ結局法制上で實質上も形式上も受益者負擔制度の誕生を見たのは前記大正八年の二法律を以て嚆矢とする。

從つて都市計畫に於て受益者負擔制度が生れて以來僅に十年の歲月を經て居るに過ぎない爲に、比

較的新智識を傾倒した筈の都市計畫法、同施行令其の他之に基く內務省令に於ても多くの疑問が展開され、而も之に對する解答區々に亘つて未だ解決を見ないものが甚だ多いのである。我國に於ける今後の都市計畫發展の趨勢に鑑み、特に此の發達の初期にある受益者負擔に付て深く研究討査し、之が是正に努力することは刻下の急務であると考へる。淺學菲才をも顧みず此處に都市計畫受益者負擔に關し若干の考察を披瀝して大方の叱正を乞ふ所以は專ら右述ぶる如き微意に外ならない。

尙附加して置き度いのは廣く一般的に都市計畫に於ける受益者負擔と云ふときには都市計畫法施行令第九條第一號乃至第二號に定めて居る所謂自治負擔をも含むのであるが本篇云ふ所の意義に於ける受益者負擔は一般私人を負擔義務者とし、行政法上特別負擔若は分擔金と呼ばれるものである。そして之は施行令第九條第三號乃至第四號の規定する所である。

二　受益者負擔の賦課徵收權者

受益者負擔の賦課徵收權者が何人であるかの問題の如きは抽象的には甚だ明確であり、且つ先づ決定さるべきであつて疑問の餘地を存すべきでないに拘らず尙議論の歸一せない問題であつて甚だ遺憾とするところである。

イ　公共團體說

本問題に關しては二說があつて其の第一說は事業執行者たる行政廳の統轄する公共團體を以て賦課徵收權者と有とする說であつて、其の第二說は事業執行者たる行政廳であるとする說である。筆者は表現の便宜上前者を公共團體說と呼び、後者を行政廳說と稱することにする。

公共團體說は受益者負擔を以て第一次事業費負擔者が其の負擔を他に轉嫁する爲の第二次的負擔たる性質を有するものであるとの出發點から第一次的に都市計畫事業費を負擔する者が受益者負擔の賦課徵收權者なりとの立脚地に立つものである。斯くて本說を主張するものは自說の正當を辯護すべく次の如くに現行法規の解釋を構成する。即ち都市計畫法第六條第一項は『都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政廳ニ非サル者之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス』と定めて居るから假に公共團體ヲ統轄する行政廳たる市長が事業執行者たる場合には其の公共團體が第一次的に費用を負擔するものである。而も受益者負擔は此の第一次的に費用を負擔する者の負擔を轉嫁するが爲の第二次的負擔たる性質を有するものであるから第一次的費用負擔者たる公共團體が受益者負擔の賦課徵收權者でなければならぬ。又斯く解することは都市計畫法施行令第十條の規定に基いて發せられて居る各種內務省令第一條に『市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ……ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ』と規定せる精神に合致するものである。尙そればかりでなく若し賦課徵收權者が行政廳であるとするならばその徵收した負擔金收入が第一次的費用負擔者（本例に於ては公共團體）に歸屬する法上の根據を缺ぐものである。

以上が公共團體說の主張の要旨であるが、此の主張の誤つて居ることに付ては記述の便宜上(ロ)に於て附帶して檢討して見ることにする。從つて此處では單に公共團體說の說く所が餘りに抽象論であつて現行法令を無視せること、及其の主張の正當を裏書すべく引用せる所が法律勅令に對して優越性の劣つて居る單なる內務省令の一條項に過ぎないことの二點を揭げて置くに止める。

ロ

受益者負擔の賦課徵收權者は行政廳であるとする說を以て正論と考へる。公共團體說は受益者負擔が第一次的費用負擔者の負擔を轉嫁する制度であるとの根本的觀念を中心として立論するものであるが、それは餘りにも現實を無視せる抽象論である。換言すれば今假りに受益者負擔を以て右の如く解するを正當なりとするも、それは單に受益者負擔の徵收政策の理論に關するものであつて、具體的に我國の制度が現實に此の方策を採用して居るか否かは自ら別箇の問

題である。從つて此の根本命題の下に一の抽象的結論を抽出して其の結論の正當を裏書すべく一內務省令の條項を引用するが如きは採るべき態度でない。宜敷く我國の現行制度が如何なる方針に出て居るものであるかを都市計畫法及同施行令の條項に基いて闡明しなければならぬ。若し法律勅令の解釋よりして省令に法令違反の條項があるならば先づ省令の誤謬を正さなければならない。公共團體說が此の根本點に於て重大な錯誤を敢てして居ることは次に述べるところによつて明であらう。而して同時に此の說明は行政廳說の構成を示すことになるのである。

都市計畫法第二十四條第一項は『本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金其ノ他ノ費用ハ行政廳國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得』と明定して滯納處分權者を公共團體として居らないのは最も行政廳說の止當を主張するに有力な理由である。同趣旨の規定は又同條第二項にも之を求め得るのであつて即ち『前項ノ規定ニ依ル先取特權ノ順位竝其ノ追徵還付及時効ニ付テハ行政廳ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル』と規定して居るのは其の根本に於て第一項と同樣に徵收權者を行政廳と認めて居るものである。若し公共團體が徵收權者であるとするならば『行政廳ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル』など、規定する必要は毛頭存せないのである。行政廳が賦課徵收權者であつてこそ此の規定が意味を持つて來るのである。

尙受益者負擔金の賦課徵收に對する行政救濟の途を拓いて居る都市計畫法第二十五條第一項は『本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得』と規定し行政廳の爲したる處分と謂ひ決して公共團體の爲したる處分と謂つて居らない。又同第二十六條には『本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得』と規定して行政廳の爲した違法な處分……今の場合に於ては負擔金の違法な賦課處分……に對して行政救濟の道を講じて居る如き亦法律が賦課徵收權者を行政廳として公共團體にあらずと認めて居るものと主張するに有力な根據を與へて居るものである。之等の規定あるに拘らず若し賦課徵收權者を飽く迄も公共團體であると謂ふならば訴願、訴訟の行政救濟制度は受益者負擔制度に對して開かれて居らないと謂ふ結論に到達するのであつて不合理も甚だしいと謂はねばならない。

要之都市計畫法及同施行令は事業執行者を以て負擔金の賦課徵收權者であると認めたのであつて公共團體說の主張は現行法上何等の根據を存せない空論と謂ふべきである。その受益者負擔の負擔金額及負擔方法を定める各種內務省令第一條の規定の如きは法律勅令に優る効力を有せないものであるから此の規定を云爲して公共團體說に導く如きは何等の權威も存せない。斯る省令は寧ろ法律勅令に違反する規定であつて前記各種內務省令第一條『市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ……ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ』とあるのは宜しく『市長ハ都市計畫事業トシテ執行スヘキ……ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ』と改正さるべきものである。違法の省令を根據として法律勅令を解釋せんとする如きは思はざるの甚だしいものである。又行政廳が賦課徵收權者である場合には其の徵收金の收入歸屬に法上の根據がないと謂つて公共團體說を辯護する者もあるが之も當らない。成る程道路法第四十三條河川法第四十二條には何れも收入の歸屬に關する規定はある。然し乍ら此の種の規定なくとも其の收入が國庫に歸屬すべきものでないことは前に引用した都市計畫法第二十四條第二項の精神からしても當然公共團體に歸屬するものであり、更に受益者から負擔金を徵收して之を事業費又は公債償還財源に充當する仕組の下に公共團體が立換支辨した事業費に對し辨償交付されるのは何等謂ふを俟たない所である。尤も斯る規定の存する事は其の存否に付頭を惱す者にとつて一の慰とはならう。然しそれ以上の何物でもないので

あつて之なくとも既に歸屬の明なる以上單に此の規定なきの故を以て、一方に於て前記の如き行政廳を以て徴收權者と認めた顯著な法令の根據あるに拘らず公共團體を賦課徴收權者であると斷ずる如きは本末顚倒の甚だしいものであると謂はねばならぬ。

ハ 特許執行者は如何

更に都市計畫法第五條第二項に依る行政廳に非ざる者が特許に依り都市計畫事業の執行者となつた場合に受益者負擔を賦課徴收し得るか否かの問題がある。費用負擔に關する同法第六條第一項後段に於て同じく行政廳に非ざる者が事業執行者たる場合に其の費用負擔に關して述べて居るが本問題は『行政廳ニ非サル者』の中に公共團體を含むや否、及私人が特許執行者となつた場合に受益者負擔を賦課徴收し得るや否の二點に分つて解決するを以て便宜とする。

受益者負擔に關する限に於ては公共團體が特許執行者たり得るか否か即ち行政廳に非ざる者の中に公共團體を含むか否かの問題は何等價値のない問題である。何故なれば公共團體が受益者負擔の賦課徴收權者たり得ないことに付ては既に(イ)と(ロ)とに於て縷々述べた如くであるからである。從つて公共團體が特許執行者となつても受益者負擔を徴收し得る途は都市計畫法上拓れて居ないのである。

次に私人が特許に依つて都市計畫事業の執行者となつた場合はどうかと謂ふに、受益者負擔は其の性質上公課の一種であるから其の賦課徴收權者が行政廳であるか公共團體であるかの點に付て異論はあつても既に公課である以上私人は之を賦課徴收し得る權限の存せないことは明である。故に私人たる特許執行者は賦課徴收權者となり得ないと謂はねばならぬ。然るのみならず假に一歩を讓つて私人も亦之を徴收し得るものであるとしても、私人に對しては何等法上の强制徴收權が認められて居らない。例へば都市計畫法第二十四條第一項には行政廳以外に對して受益者負擔に關する强制徴收權を認めて居らない。從つて私人の賦課徴收權は實行不能の運命に置かれて居るのである。以上述べる所に依つて特許執行者は如何なる場合に於ても受益者負擔の賦課徴收權者たり得ないのである。(未完)



思ひつくこと

(1)

大阪府建築技師
工學士 林 豪藏

◇

春の日の或る午後、私は獨り飄然と和歌山迄行きました。驛を降りては見たけれど、素より何處ぞといふ目的もなし、唯漫然と、町の中央に聳える城の天守閣にでも昇れたら昇つて見樣かしらなどと考へて、歩いて縣廳の前に出で、それから城跡の中に入つて行きました。折からの日和りで、暖かさは暖かく、櫻は咲いて居るし、城内は中々の人出でした。各々崖際や、芝原などに毛氈を敷いて酒宴半ばと見ゆるのもあれば、木の根に腰を打掛けて持參の瓢を傾けながら花とともに樂しんでゐる人達なども見えて、何も持たずにブラリと出掛けた私でさへも、何となく頗笑ましくなる樣な氣がいたしました。そして、市の中央に、かくも樹木の鬱蒼と茂つた公園を有ち、行樂の場所を有する町の人達は實に幸福であると、そゞろ羨ましくも思ひました。

天守閣は公園の中央にありますが、隨分高くて、一氣に昇らうとすると息がはづむ位でした。昇つて上階に至ると、和かな風が、ソヨ〳〵と面を拂つて、汗ばんだ膚にその涼しさが何とも言へず快かつた。見れば和歌山の市街は展開せられて、眼の下に在ります。殷賑な市街の家々の白壁が、眞白に美しく、折から西に傾きかけた夕陽に照り映えた色も美事です。綠の沃野は、廣々と擴がつて菜の花が所々を黄に彩り、周圍の山々は或ひは伏せるが如く或ひは起てるが如く、その間を紀の川は、蜒蜒流れ來り浩蕩海に注ぎ、河口近く

河幅の擴がつた所には近海漁船が澤山群つて、檣の林立してゐるのが、手にとる樣に見えます。煙波漂渺たる海の彼方には、淡路の島影が杳として、ほのかに浮んで居ります。私はこの絶好の風光に接して、心境が頓みに擴がつた樣な氣がしました。月明の夜、この高樓に吾れ登り、この盛んなる市街を月光の下に眺めながら、盃を擧げて、古人の詩を唱したならば、我が心ゆくこと如何許りと思へばそゞろ昔の事共も偲ばれて、是を領有した昔の城主の身の上なつてしまひ度くも思はれました。

◇

小野均といふ人の城下町發生に關する著書がありますが、是を見ますと、この近世初頭、即ち織豐時代より德川初期にかけての城下町勃興の情勢が、興味深く讀まれますが、和歌山市の町割や町名などを調べて見ると、やはりこの城下町としての特色をよく示してゐるので面白く感じました。

一體中世の城砦といふものは、早い話しが、楠正成の千早城にしろ、赤松範村の白旗城にしろ、何れも小規模なもので、自然の天險を利して造られ、城下の住民なぞといふことは念頭に無かつた。其れが天正の頃から以後、各地の築城方法の上に、又その城下町との關係の上に著しい變化が表はれて來たのであります。即ち濠を深くし、石垣を高くし、又櫓 天守閣を築き等して城の面目を一新すると、ともに、城の位置も亦、從來の軍事的要害たるの山頂を捨てて平野に下り、川に沿ひ往還に沿ふた交通要衝の地に居を定め、領國內統治の中心地たらんとするに至り、同時に又近代都市の地理的要素を著しく具へる樣になつて來たのであります。

そして諸大名はその築城に際し城下も亦同時に繁盛なる城下町たらしめんとして 茲に所謂新地を取立て町割を行ひ、各地からの人口集中を計つた。國內の住民も將來の繁榮を期待して新城下に集り來り、城主はこの新移住者に對して或ひは課稅を免除するとか、他地方 は許されぬ特殊の商賣を許るすとか、その他樣々な特典を與へて『町中繁昌致候樣』に之を保護したのであります。

◇

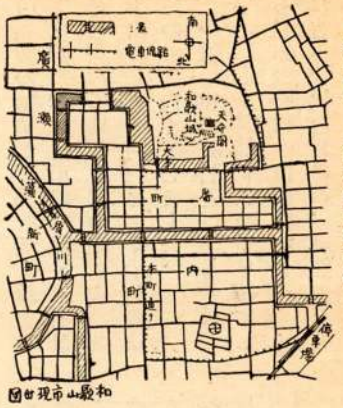
城下町の町割といふものは殆ど皆碁盤目式である、勿論、一二の例外はありますけれども、大體に於て皆碁盤目であります。例へば豐臣秀吉の時、出來たこの大阪市などを見ても、明瞭であります。東京の江戶城下なども全體としては、甚だ、纏りの付かない町並をしてゐますが、德川氏が初め新町を取立てた所即ち、京橋日本橋邊りの下町は震災前でも道はやはり縱橫に通つて居りました。

又 城下町の中には、防備の目的からして、見透を利かなくするために街路を所々で、わざ〳〵鍵の手に曲折せしめた樣な例もあります。或る夏、信州へ見學旅行をして、別所の榮樂寺八角四重塔などゝいふ妙なものを見たりした事がありましたが、歸りに上田市へ出て、彼處にも國分寺の中に特建になつてゐる三重塔があります。何れも室町時代のものですが、共れを見に參りました、その時氣が付いて見ると上田の町がわざ〳〵一直線に行かずにヂクザクになつてゐるので不思議に思つて、指導教官の說明を聞いたことがありました。伊勢の松坂などでは是が甚だしく『伊勢の松坂毎着て見ても褄の取樣で襠惡し』といふ俗謠もあつたとの事であります。

そして是等の町に、町人を住はせた譯でありますが、本町とか連雀町、元町、呉服町等といふ樣な商人の町は、多く城下を通ずる往還の表通りとか、追手筋の近くとかの町でも目貫の好い位置を占め大工町と外紺屋町、細工町等の職人町は、その裏通の町になつて居ます。『町屋ノ內デモ、往還ニ商人ヲ裏屋ニ職人ヲ置ハ是當然ノ理也』と考へた爲めであつたらうと思はれます。尤も職人町の中でも城との關係の深い鐵砲町などは城に接近してゐることもあり、又同じ商人町の中でも魚屋町などは、やはり中心を外づれた、裏町か隅の方にあるのが普通であります。是は魚の荷扱ひの關係などもありませうが、やはり魚を扱ふ惡臭などが商業の利便を害するの惧れあるのもとされた爲めであると考へられ今日、やかましく言はれる地域制の概念など、早くも已に茲に萌ざして居るのを知る譯であります。

更に侍屋敷がありますが、是は大部分は外郭の內、乃至は城の直ぐの近くに在つて、一般町家とは嚴重に區別されてゐた。そして小身者の家などは町の各處に散在し

第一圖　和歌山市現在圖



是は勿論城下の體裁を整へしめる爲めに命じた處置でありませうが、その高さを二階と定めた所などは近頃大阪で問題になりかけた建築物高さの最低制限の思想の、恐らく嚆矢であるかも知れません。

現在和歌山市の地圖を擴げて見ますと、城跡を中心に、南の方にも大分擴がつて居ますが、是は後からの發展に依るもので、天守閣上の案内記にも初め追手が東を向いて居たが德川賴宣入封してから追手を北に改め、藻屑川の對岸へ更に新らたに新町を取立てたとある通り、町家は主に城の北側及東側に經營された。町家は大手一ノ橋より一つ東の筋なる本町通りが今も然うですが、商業街路の中心たつたのでせう。そして大和及大阪方面からの往還は、町の北の端から町に入り、本町筋を南行今の京橋一つ北の辻で折れて西行したもので、即ち是れが、町の根幹道路であります。その裏町に當る所には、疊屋町、釘貫町、大工町、匠町、桶屋町、舟大工町等の名が今日でも殘つて居り、何づれも、町の成立當時には、それ〴〵の職人達が、各々群居して居たことを示して居ります。更にこの往還が町に入る附近即ち北の町はづれ近くには、博勞町、旅籠町等の名も見えます。

又城に直ぐ接して、その北及東にかけて、濠にかこまれた一廓があり、城の外郭を形造つて、町家とは別になつて居りますが、是はその町名が番町と呼ぶのでも察せられる通り、昔は、全くの侍屋敷で、三浦長門守、水野對馬守とか安藤帶刀等といふ樣な重臣等の邸宅があつたもので、今日も殘る女學校の門や、厚い練塀などに昔の儚を偲ばせて居ます。

尙武家侍の居つた所としては、町の名に著しいのは見えませんが鷹匠町などがあり、城の西側にある、今、仲間町などゝある部分には同心屋敷があつたことのことで、其の他城の西南の部分一帶にかけては、家老達の下屋敷だの寺院だのが、廣く散つて居たのでした。

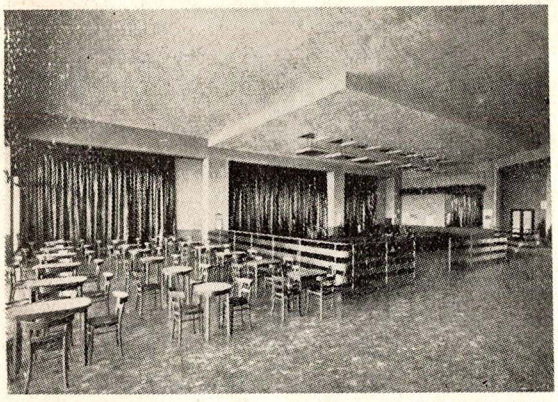
更に南北田邊町などゝ云ふ町名も、この附近に見えますが、是も恐らく初めは田邊近邊の町民が移住し來つて作つた町であらうかと推察されるのであります。

一體、城下町は城から見て、何れか一方の側にのみ出來るのが普通であります。是れは、城が、假令、自然の要害たる山を降つて平原に進出したと言つても矢張り軍事的城砦である以上は、矢張り、一方には山であるとか、大河であるとか、乃至は斷崖などの、自然的防禦物を賴りにし、之を背面に控へて城を築くからで、殘つた他の一方が城下町となる譯なのであります。

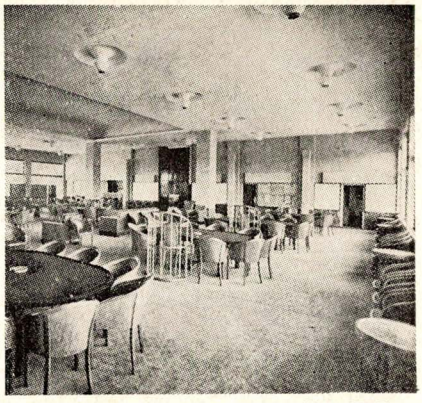
和歌山でも然うですし、大阪などに於ても城は町の東の端れに在ります。所が、東京の江戸の町を見ますと、德川氏が取り立てた京橋日本橋邊の町の他に江戸城を中心に各方面に町家が入り亂れ、錯雜して居ります。是れは主に地勢にも依ることで、西北方から數多の高臺風の丘陵が延び、其れが幾多の枝脈に分れ、その谷間谷間に發生した部落が、次第に發展して町並を作り、其れが後に互ひに點綴されて出來上つたものと考へられるのであつて、恰かも今日、大都市の周圍にある郊外町村が初めは獨立して、各その附近の中心地として生活して居り乍らも、遂には大都市の中に包含されてしまふのと稍その規を同じうしてゐる所がある樣にも思はれます。（未完）



1



2



3

佛蘭西 Saint-Jean-de-luz のガジノ（娛樂場） 1 外觀 2 集會場 3 競技室 建築家 MALLET-STEVENS.

切取線

登録商標



LION BRAND

資本金 五百万円
年産 百五十万樽

ヨーキヨーセメント
ヨーキヨー高級セメント
（特許七八四五）

二日で普通セメント四週の強度

耐壓力
一日 三〇〇
二日 四〇〇
七日 六〇〇
二八日 七〇〇

瓩平方粍

高輪伊皿子路面工事は冬期
三日で八噸ローラーに堪えて
完全なりき

「早期高強度」時代の要求
脫枠迅速工事期間の短縮は
弊社高級セメントに
依りて得らる

終局強度も大にして
使用法は普通セメントに同じ

本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩市等に御使用の榮を得たり

大阪窯業セメント株式會社

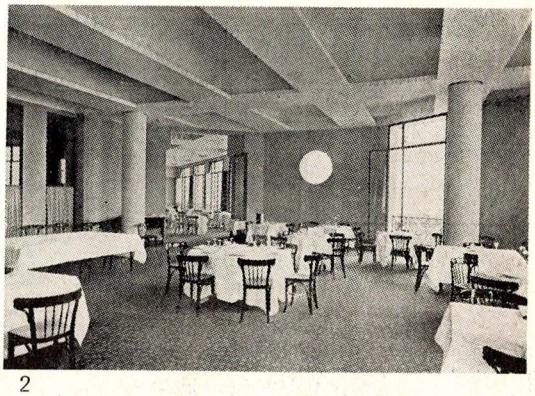
大阪市北區濱通二丁目二番地　電話北一一〇至一一三

工場　大阪市港區南恩加島町
電話櫻川 一一七七 二六〇九 二八四三

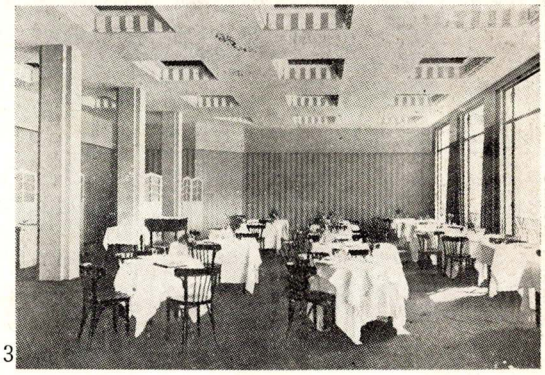
東京出張所　東京市神田區表猿樂町
京都出張所　京都市二條驛前
名古屋出張所　名古屋市中區老松町七丁目



1



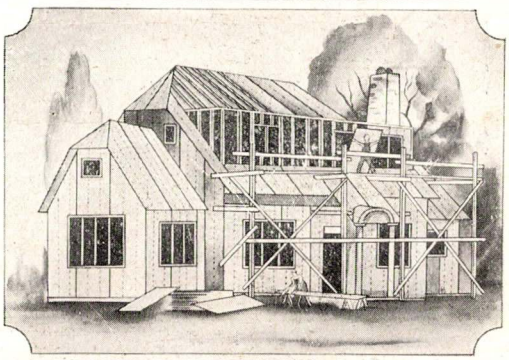
2

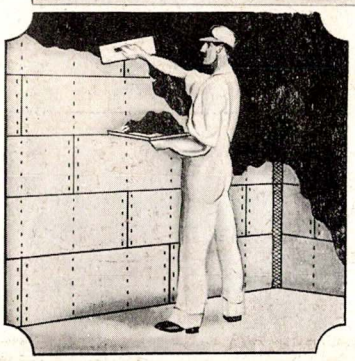


3

巴里のGrand-Hotel
1 外觀　2·3 食堂內部
建築家 M. RAOUL JOURDE.

切取線



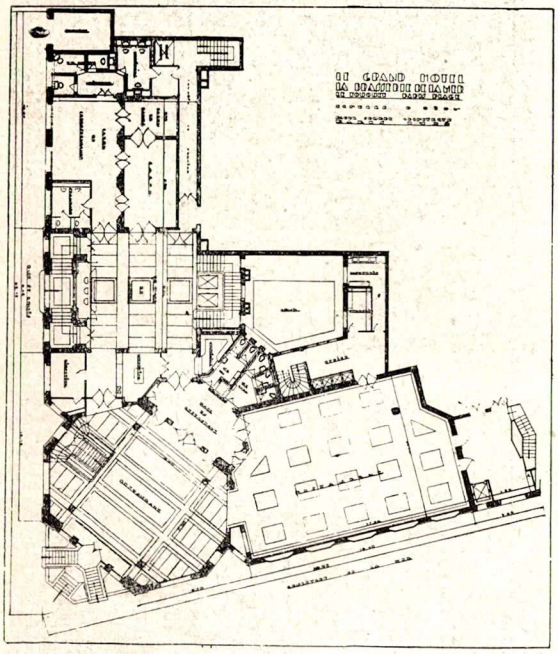


ファイバーコート
絶對防水
耐熱耐酸 石綿溶劑

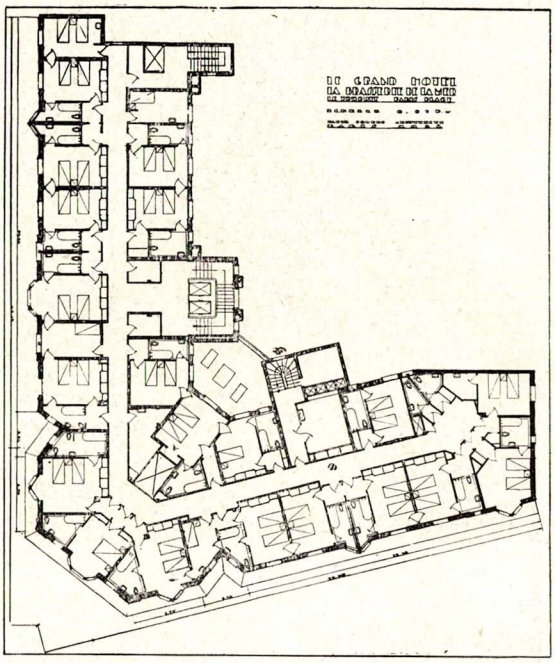
本品は火に焼けず萬代不變質の石綿纖維を主要材料とし之に各種の防水原料を加へて製品と致しました最も進歩せる防水、耐熱、耐寒、電氣絶緣等の特質を具備せる糊狀溶劑であります。使用簡易加熱の必要なく素人にて施工し得且つ價格の低廉等眞に理想的製品たる事を確信を以て御推奨致します。過去四ヶ年鐵道省、海軍工廠、砲兵工廠、汽車會社、其他の御採用を蒙り其効果を證明されました。本品塗布後、膨脹、龜裂、剝脫等の憂なく非常の高熱に耐へ得る事は其防水力の强大と兼備せる特徴であります。

ファイバーコート

大阪市西區京町堀(京町ビル)
關西發賣元
關城化學工業株式會社
電話土佐堀五五二二、六四九九



1



2

巴里の Grand-Hotel

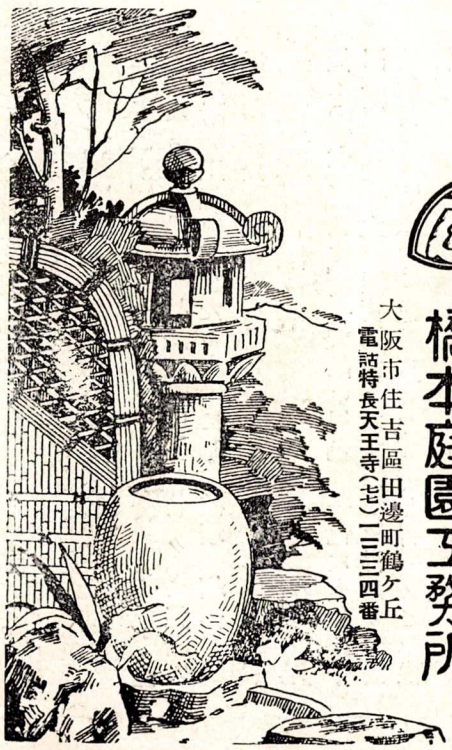
1 地階平面圖　2 二階平面圖　建築家 M. RAOUL JOURDE.

切取線

庭園設計と施工

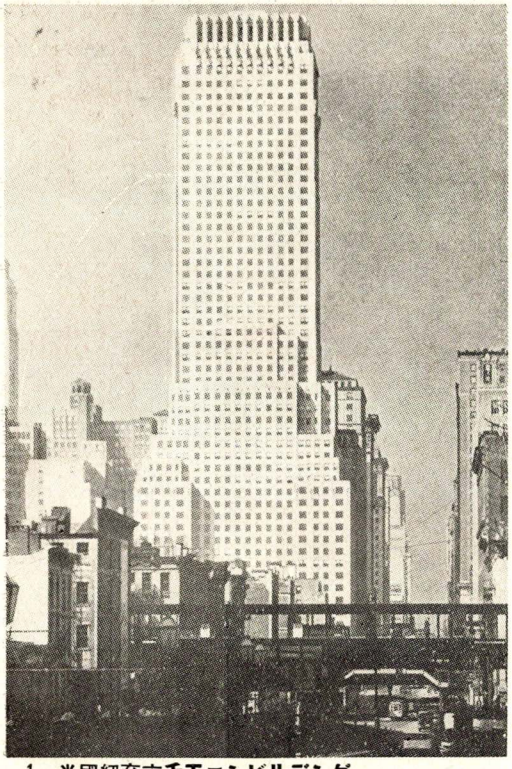
造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案內進呈

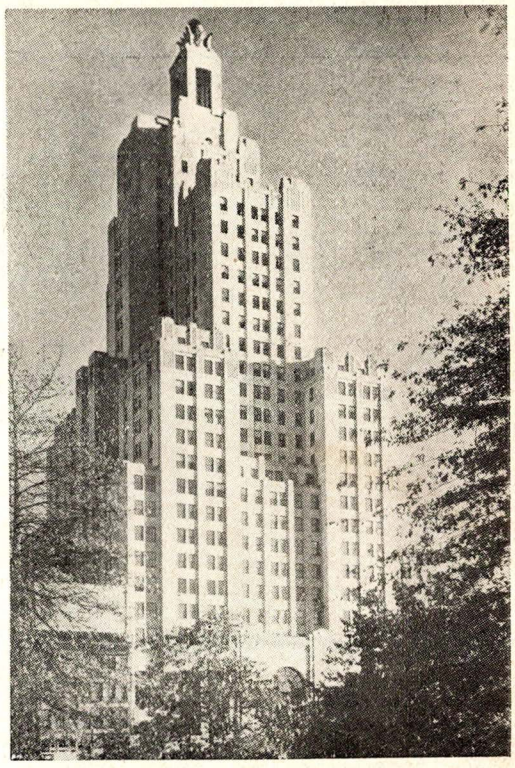


橋本庭園工務所

大阪市住吉區田邊町鶴ケ丘
電話特長天王寺(七)一三三四番



1　米國紐育市チエニンビルデング
建築家 SLOAN & ROBERTSON



2　米國プロビテンス市インダストリアル
トラスト會社 建築家 WALKER & GILLETTE

切取線

セメフアルト

◎「セメフアルト」工場の完成

「セメフアルト」は「セメント」製品又は「セメント」アスベスト」混合製品並に燒成「ブロック」に絶對の防水耐酸工程を施したるものにして破壞、剝落、風化を防ぎたるものなり

◎靑色淡黃色褐色「セメフアルト」の發見

從來の「セメフアルト」製品は黑色の一色なりしが今回研究の結果之を淡黃褐色となすことを得たり今後は如何なる防水耐酸色料も之を製造し得ることを豫告す

營業品目

『セメフアルト』瓦
『セメフアルト』スロック
『セメフアルト』スレート
『セメフアルト』タイル

工材社

長尾薰
阪口芳三郎

大阪市西區京町堀一丁目四十番地
電話土佐堀五八〇九番

12-7



沖繩の民家

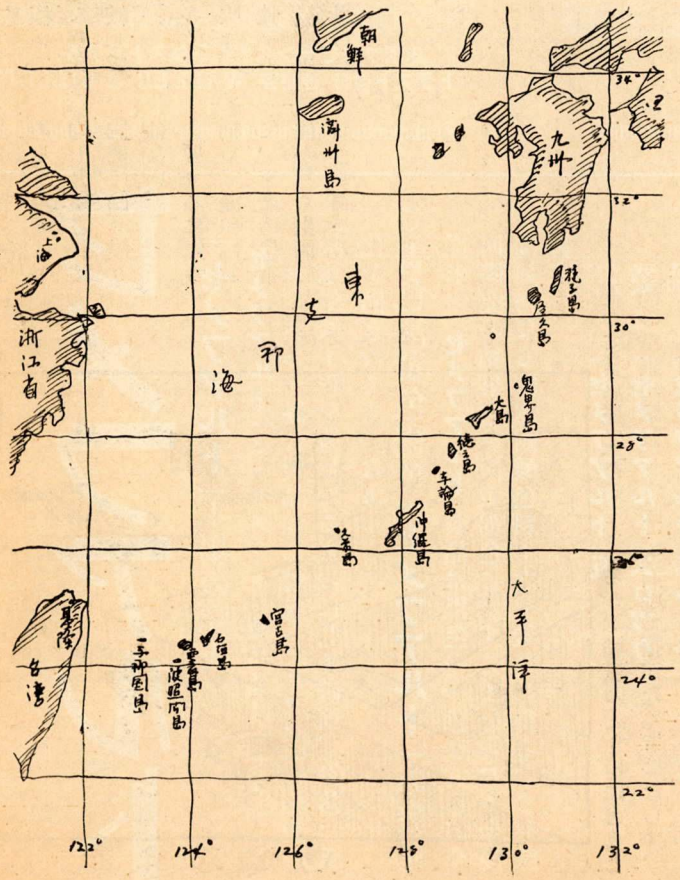
京都帝國大學教授
工學博士 武田五一

由來島國と云ふものは、古き習慣風俗等を傳へて居るものであり其島特有の情緒を有するものである。ことに南國の島々は、天然の豐富なる生産物と其溫和なる氣候の爲めに、一種の樂土をなして居る。昔しより沖繩は、有限間の國と云ひ、琉球と云ひ、亦ワダツミの國、常夏の國とも云ふて、詩歌などに唱はれて居る。浦島傳說の龍宮と云ふも、或は此島のことを云ふのではないかと云ふ說もあり、小說としては馬琴の椿說弓張月に精細に記述せられ、源平時代の爲朝と深い因緣を有つて居るようである。我邦の東北端に義經が深き關係を有するが如きものである。

沖繩島は、鹿兒島より海上三百八十四哩の沖繩群島中の最大なるものである。南北の長さ約三十里東西廣き所より六里狹き所より一里に過ぎず。海岸線も單純にして周圍僅かに百餘里、最北端を邊戸崎と云ひ、最南端を喜屋武岬と云ふ、東の突端を勝連岬と云ひ、西端を殘波岬と云ふて居る。

地形に由り全島を三部に分つ。最北を國頭と云ひ、中部を中頭、最南を島尻と云ふ。地質も大體三部に分れて、國頭は主として古世紀の地質にして森林多く、中頭は隆起珊瑚礁、島尻は隆起珊瑚礁と第三紀層と第四紀層とよりなつて居る。此の爲に沖繩島に於ては、珊瑚礁及其溶解沈澱して出來る石灰岩を極めて豐富に產し建築石材として盛に之れが切り出されて居る。沖繩にて無數に築造されて居る立派な噴墓及各民家の周圍に必然的に築かれたる防風石墻は悉く此種の石灰石を用ひて居る　其內に糸滿石と稱するものは、伊太利產のトラバーチン Travertin と同質なるものにして、羅馬市附近のチボリより切り出さるゝものより一層良質のものである。此種の石の他に珊瑚砂岩の粟石と稱する岩石が、沖繩島及其附近離島の地質の主要なる骨格となつて居るのである。

第一圖　沖繩島の附近地圖



沖繩の氣候は、其の位置が回歸線を去る僅かに三十四分である關係と、周圍を海水で圍まれて居ることゝ黒潮の暖流が常に其岸を洗つて居る關係上溫度の變化鮮くして、常に春秋の如き氣候である。平均溫度華氏七十二度（攝氏二十二度）最高華氏八十二度、最低華氏四十八度、氷點以下に降ることは絶對になく、氷も雪も島民は見ることがない。

其上夏は常に海風吹いて極めて涼しい。夏などは日本内地の華氏百度以上に達するものと比較して遙かに低溫度である。

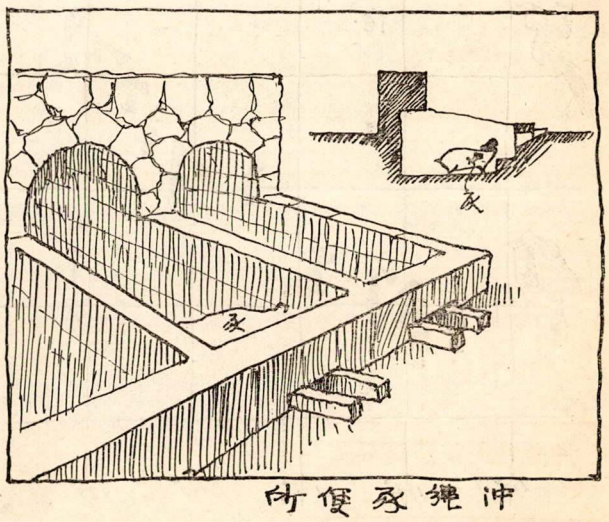
風は北東に向ふて吹く風多く、平常秒速一米乃至五米の風吹き、最も強きときは四十七米に達することがある。内地に於ける最強風は一秒速三十米に比較して恐ろしきまで強き風である。濕度は平均七九%之れは内地と餘り變りはない。

要するに氣候極めて溫和にして、天産物豐富住み易く生活し易き樂園である



第一圖の甲　沖繩島地圖

第二圖　沖繩家便所



從つて其島民は天然の恩惠に馴れて家屋の構築には餘り工夫を凝らさない。普通のときなれば屋外に寢て屋外で働いて少しも差支へない。或は寧ろ狹苦しい室内に居るより溫和の外氣の下に露出した生活の方が遙かに衛生的である筈であるが、颱風のときにはどうしても石壁で拒がなくてはならず、飯匙倩の襲撃にはどうしても床の上に寢なくてはならない。夏時不意に起る驟雨には何等かの屋根の下に之れを避けなくてはならない斷の如くして、島人は止むを得ずして必要だけの家屋を作る事になつた。斯くして作られた家屋の内には、立派なものも勿論ある。尚侯爵家の本邸、別邸の如き優秀なるものも、琉球神社の拜殿となつて居る。舊王宮の如きものもあ

るが、一般には極めて幼稚なものである。斯して出來た住宅は、大體次の三種とすることが出來る。

一、農家
二、中流民の住宅
三、高級住宅

農家は一體に單簡なるプランであつて、多くは一室若くは二室である。二室のときは一室を板敷きとし他の室を土間とし、土間の一隅に竈を据へて居る。板敷の部分には、ムシロを敷き其上で起臥して居る。特別に便所らしきものを置かざる場合と、豕便所と稱するものを作る場合とある。豕便所は第二圖の如き構造であつて、地面に深さ四尺ばかりの穴を掘り、其周圍を圖の如く石にて築き便をするに從ふて、其穴の內に流入する如くし、其穴中に飼育せる豕をして之れを食はせしむる方法であつて、至極面白い構造ではあるが餘り氣持ちのよいものではない。炊事用の調味料等は總て、陶製の壺に貯藏して土間の一隅に置いてある、之等の食料品、調味料等の貯藏用壺は、沖繩人には日常の生活に欠くべからざるものであつて其需要が極めて多く其形にも亦大

第三圖　壺屋町



第四圖　名護の農家



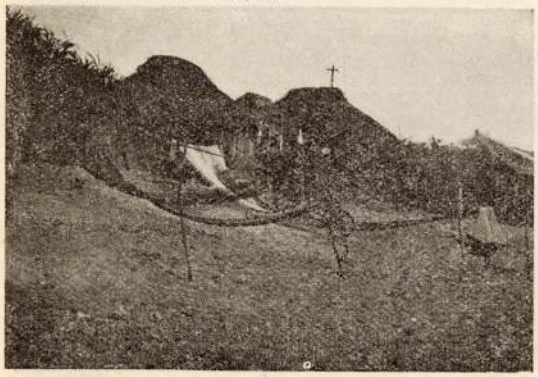
第五圖　名護の農家



第六圖　名護の農家



第七圖　名護の農家



眞寫築建家民の繩沖
（その一）

小種々あり、極めて民俗史的に見て面白いものである。此壺ばかり製作して居る人の集團が、市外に一區劃をなして、之れを壺屋町と云ふて居る。沖繩觀光客の壺屋町見物は、亦興味深いものである。

家屋の構造は、天然石の束石の上に木柱を建てる、木材は主として福木と稱する沖繩特異のものを使用するが、近來では内地材又は米材さへも使ふものがあると云ふ事である。家白蟻の發育の盛な地であるから、福木以外の木では永く保存はむつかしいと云ふことである。

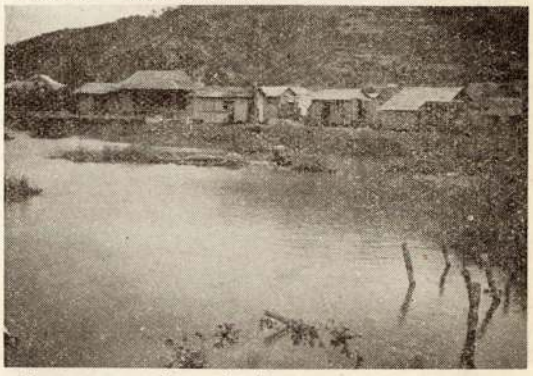
天井は一般の農家にはない。板敷き其他の木の仕口は極めて粗雑なものである。壁は總て木板を以てして居る。土壁と云ふのは、殆んどない。隙洩る風なぎゝ云ふことは暖かい氣候の國では問題ではないらしい。

農家で、穀物は大切なる商品であり、其保存には大に注意しなくてはならない。白蟻の害、黴の害野獸の害等なか〳〵此寶物を狙ふ敵は多い。之れに對しては、高倉と云ふものを工夫して居る。之れ

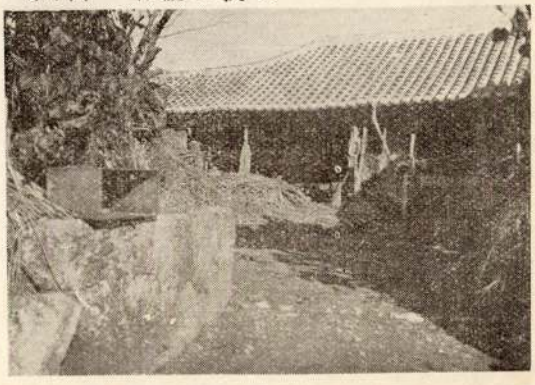
第八圖　那覇上泉町の農家



第九圖　大島の農家部落



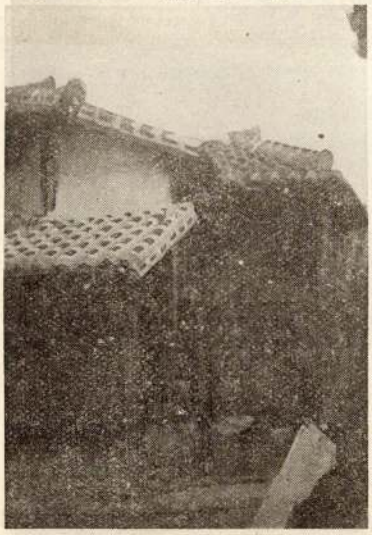
第十圖　名護の農家



第十一圖　嘉手那の農家



第十二圖　名護・農家の非戸



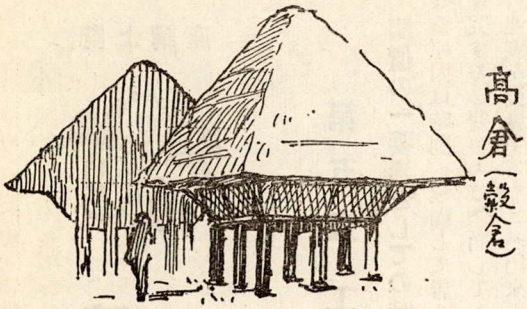
沖繩の民家建築寫眞

（その二）

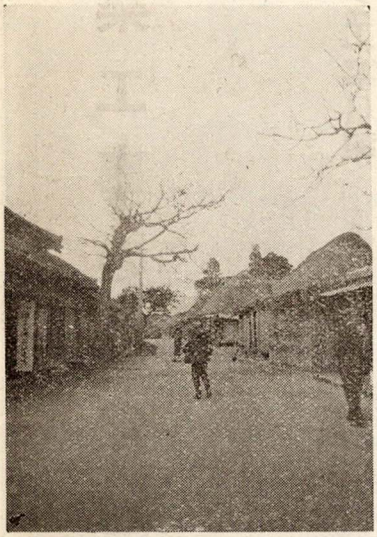
沖繩の民家建築寫眞
（その三）

は地上五尺ほどの所に大きな福木の柱の上に床を作り、其上に上部に開いて四角な高さ三尺ばかりの室を作り其れに藁屋根を葺いたものである。（未完）

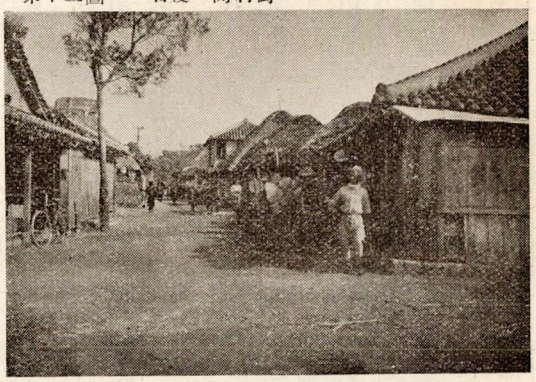
第十五圖　高　倉



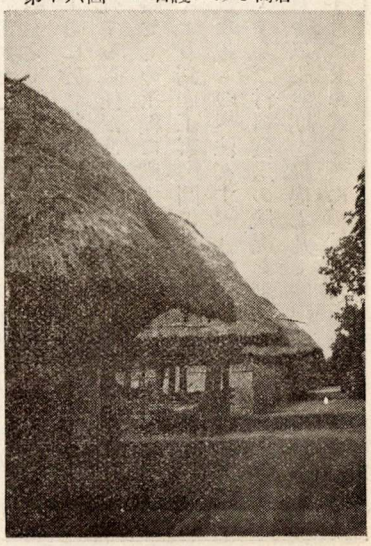
第十四圖　名護の商店街



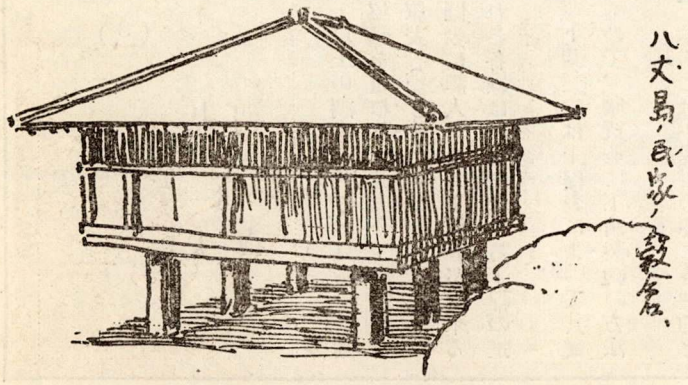
第十三圖　名護の商店街



第十六圖　名護にある高倉



第十七圖　八丈島に此圖の如き穀倉がある沖繩の穀倉を近代化したものである



誌上講座

建築工事の勘定と事務 (3)

由良基夫
中島智喜

第五章 工程表と工事日報

原價の一要素としての時間 建築工事費の高くなる一つの主要なる原因は時間に起因して居る。時間が工事費に及ぼす影響は詳細に探究する必要がある。而してこの研究に依り初めて工事に有効なる進行速度を發見することが出來るのである。仕事の進行が早きに過ぎると殘業を必要とするから之は一般に歡迎すべきものでない。又材料の納期を遲延なく早めようとすると高くなる。之と反對に仕事を緩漫にすると監督費及び雜費が嵩む。加之職工は仕事に氣乘りがせず其結果能率はぐん〳〵下る。工事の一部分の完成則を延期すると工事全體が後れて來るものである。從つて工程の延引を回復せねば惰氣充滿し原價の漸騰を來すことになる。

工程表の作成 工事請負契約の成立と共に先づ第一に着手すべき仕事は工程表の作成である。工程表は各仕事を最も有効且經濟的に進行せしむる爲に正確に施工の順序を定めたものである。此の表を作成するには先づ材料供給者及び下請人に就て納期又は完成期限を協議し確實にして置くべきである。材料及び下請契約は多少高價でも引渡時期確實なる信用のあるものが終局に於て利益であることは屢々經驗する所である。故に斯る場合には材料商人及び下請人の過去の勤務振りを考慮に入れねばならぬ。契約の眼目は納期の正確にあり遲延による違約金の徵取にあるのではない。扨て以上の調査を終ると見積係は購買豫定表を決定し購買係に提出して協議を重ねる。此場合工事擔任者も參加する。斯くの如くして工程計算表 Campaign of Procedure が作成せられる。この工程計算表を圖表に記入すると工程表が出來るのである 工程表の日附の下に表はれる各線は其日に於ける工程の進行すべき箇所を示めすものである。

購買及下請契約 材料の購買及び下請契約は工程表によつて其受渡又は完成の期限を決定せらるべきもので、購買並に下請契約の方法に就ては後に詳述することゝする。

材料の入場及下請工事の促進 本店には工程表の外に各契約を凡てカードに記入して促進函 Tickler File に入れることゝする。每日契約促進係は促進函を見て注文品納入の狀況、工事進行の狀態を調査する。促進係は各工場に於て契約通りに注文品が順調に製造せられつゝありや否やを調査する責任がある。故に必要に應じ自ら又は代人を工場に派遣して視察せしめ工程に應ずる樣適當の忠告を與へることが必要である。又時により到底工事の間に合はぬと思はれる場合は原契約を取消し他の確實なるものへ注文すべきで促進係には其れだけの權能を附與することゝする。材料發送の狀況を調査するのも促進係の責任に屬し周到の注意を以て納期を督促し凡て期限前又は期限迄に工事擔任者の手に引渡す樣にせねばならぬ。材料入場後は工事主任は圖

面仕様書及び工程表に從ひ最少の經費を以て之が取扱をなすべき責任がある。

促進函 促進函の簡單なものは普通カード函で之に縦四吋横六吋のカードを使用する。索引板は(1)から(31)迄のものを二組用ひ二ケ月間の範圍に亘つて使用し得るものとする。扨て注文を發すると同時にその詳細をカードに記入し之を第一行動を起すべき日の數字の個所へ挿入する。第一行動とは注文品の性質によつて異るけれども、通常現場敷地内への入場が現場下拵作業の着手、或は出來れば工作圖着手の事を指すのである。扨て毎朝其日に當る日附のカードを摘出し之により注文先へ電話を掛けたり手紙を書いたりする。其他工事日報及びカードの特別記事等によつて夫々適當な處理をする。斯くてカードは更に先日付の箇所へ挿入せられ注文が全部決濟せられる迄反覆之を行ふ。

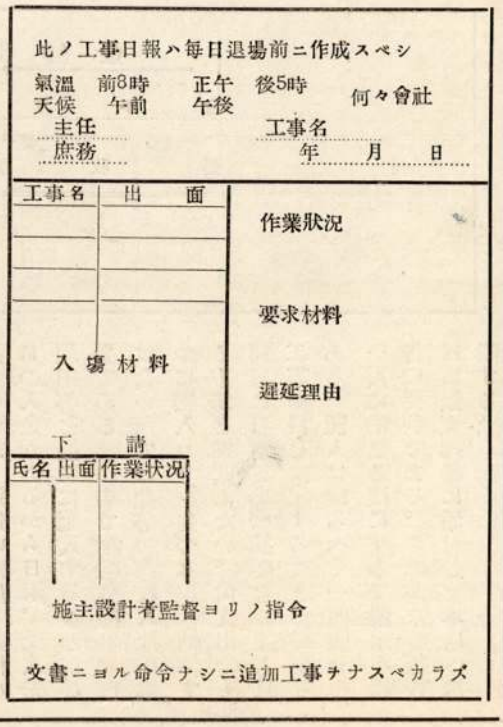
カードが全く用務を完了したときは函より取り外し別に整理する。毎日索引のカードを前方から摘出して後方へ入れるので後から注文のカードは自働的に前の方へ現はれることゝなる。

工事日報 第六圖は工事日報を示したもので之は毎日仕事の終了後に作成せられ工事主任及び出面係が之に署名する。日報は直接支配人又は工事長の机上に送られ其所で各工事の材料供給及び下請工事の狀態が工程表に伴へるや否やを調べられる。日報中の工事狀況の欄は工程表と並行して行かねばならぬ。之と反對の場合は充分其原因を確め工程に追付く樣何等かの適當なる方法を講ぜねばならない。日報を勵行すれば知らぬ間に工程が後れて居ると云ふ如き不始末なし順調に工事が進捗するのである。

工事寫眞 大工事になると設計者又は技師は工程の寫眞を要求するのが普通である。寫眞の大さは縦十吋横八吋位である。之は可成興味あり且參考となるものであるが撮影費が相當かゝる。小工事では斯る高價な寫眞を撮ることは不可能であるから一般に小形の寫眞機を用ひて居る。寫眞の大さは縦五吋半横三吋四分の一位のもので其價は知れてゐる。

寫眞は工事が遠隔の地で行はれる場合殊に其必要を感じる。即ち毎週同一ケ所から撮つた寫眞一組を原價週報と共に本店に送附すると本店では現場を訪問せずとも居ながらにして工程に伴ひ工事を進捗せしめる樣指圖することが出來る。

第六圖 工事日報



第六章 現場に於ける記帳事務

建築工事の總括的計算は本店で行はれるものであるが、一般に相當大なる工事になると現場に於て既に述べた出面計算及び原價計算を行ふのみならず其他の記帳事務をも取扱ふことが必要なものである。尤も小工事では事務費節約の爲め記帳事務を省略するものである。

記帳事務には普通材料の振替、運送の證明、空袋の返還等の附隨的事務を伴ふものである。又現場で材料の注文、下請の取極をする場合は別に之等の契約に對する臺帳を設ける必要がある。之は次章に述べ

る本店の帳簿を準用すればよい。

帳簿　出面計算及び原價計算の所で說明した帳簿の外に現場に使用する帳簿は大體次の如きものがある。

送り狀綴込簿
金錢出納記錄
變更工事記錄
材料入場記錄
機械賃借料記入簿
材料振替記錄

之等の帳簿は特に調製するの要なく最寄の文具店にて既製品を求むればよい。場合によつては一册で二種の帳簿又は其以上を兼用して差支ない。

送り狀綴込簿　送り狀綴込簿はスクラップブック又は綴込式のもので頁數及び索引付のものがよい。綴込簿には檢收濟の送り狀を貼り付ける。凡て貼り込む送り狀は本店へ送付する送り狀正本と記載事項を同じくせねばならぬ。送り狀は綴り込みと同時に材料納入者の名稱を索引欄に記入する。綴込簿は材料代金支拂の承認をするのに證憑となるもので如何なる請求書もこの帳簿と照合をせずに支拂を承認することは出來ないのである。勿論請求書は豫め注文書、積出案內、運送票、檢收帳其他の必要書類も一通り照合せねばならぬのは言ふ迄もない。若し請求書に誤謬があつたときは請求書提出者に返還して請求書の書換又は訂正を求むべきである。

尙送り狀正本は檢收後直ちに工事主任が承認を與へ工事項目番號を記入の上本店へ送付する。實費精算式施工契約ではこの送り狀は三通を必要とする。この場合の機械器具其他に關する項目分類の大體を示すと次の通りである。

一、機械及び大型器具の新規購入は『工事用機械』
二、小器具類の購入及び修理は材料と同一の取扱ひとす。
三、機械及び大型器具の修理は『機械修理費』
四、一式請負部分の購入材料は『請負工事』
五、實費精算の範圍內にある購入材は實費中に加算のこと。

即時拂割引付の特典ある材料の送り狀及び請求書は割引有効期限內に本店に送附すべきである。

金錢出納記錄　金錢出納記錄は普通の出納帳で充分で各頁の左方を收入に右方を支出に宛てる。一般に入金は本店から受け入れる準備金が主なるものであるが此外殘材の賣却、運賃の割戻し其他小口の入金があるから日附、受入先理由等を簡明に記入することが必要である。現場で記帳事務を取扱はない所では此等の雜收入は小拂金に繰入れず一先づ本店へ納付する方法を推薦したい。尙支出金も同樣に日附、金額、摘要を摘記し且工事項目を附記することが必要である。記入は成るべく一週間分を一頁に納まる樣にすると週末の報告に便利である。この週末の報告は賃銀支拂帳に添付して本店へ送附する。

第七圖　出納報告

金錢出納週報

自　年　月　日　　年　月　日現在

摘要	收入		摘要	支出	

第八圖　追加變更工事報告

追加變更工事　現場

日月年	摘要	日數	時間數	賃率	金額	收入先

現場小拂金は工事の初めに一定の金額を工事主任に交附し其後は毎週末に其週間に於ける支出額丈けを補給すること丶する。この方法によれば現場の準備金は週末に於て常に一定する譯である。

變更工事の記錄　變更工事の金額が決定して施工に着手する時は原契約額に追加金を加算すればよい。かゝる簡單な場合は變更工事の記錄は不必要で單に變更工事の性質をよく理解して施工すればよい。併し乍ら本工事が一式請負で變更工事は實費で施工する事が屢々ある。殊に原契約により施工した商所を變更命令の出る前に取外したり模樣替をする場合は多い。斯る場合は普通の日記帳又は仕譯帳式の帳簿を使用し毎日使用の材料を記錄し毎週末に變更工事報告ミして本店へ送附する。多桁式仕譯帳を原價計算の材料勘定に用ふる場合は其一部を變更工事に充てれば便利である。手間も同樣に簡單に記錄が出來る。若し變更工事が少し纏つたものになれば出面記錄を別に行ひ賃銀支拂帳も變更工事專用のものを作成することにする必要がある。

變更工事の命令　原契約の圖面及び仕樣書に變更を生じた場合は責任者の文書による命令を受理する事が必要である。殊に變更によつて工費の增加を來す場合に於て然りである。文書による命令の受理を勵行しなければ常に口頭のみの命令に甘んじて仕事をせねばならぬ。之では追加工事費を要求しても滿足に支拂を受ける事が出來るかどうか極めて不確定である。凡帳面な設計監督者は口頭による命令は直ちに文書を以て追認することを忘れない。文書による命令は手紙式のものミ特に變更命令の書式に作つたものミがある。第九圖は變更命令書式の一例である。請負者は屢々迅速に變更命令が出ないので迷惑を蒙るもので、之は變更命令を受理しない間は一切變更仕事に手を着けぬここに決めれば自然改められることで設計者は其れをも强ひて反對しようミはせないであらう。

第九圖　追加變更注文書

年　月　日

注文番號　金額

工事

現場

何々建築會社

下記明細ノ追加變更工事ヲ注文仕リ候間

本契約ニ相加へ御請求被成下度候

金額　¥

（注文者）

（住所）

（存ハ現場　青ハ注文者　黃ハ本店　白ハ）

材料入場記錄　建築材料商人は可成新式の記帳法を用ひその發送材料には凡て自筆記錄式の送狀を添付する。送狀は商慣習によつて二通作成せられ一通は材料受取の證明書ミなつて商人へ返付せられ、他の一通は現場に保管せられる。送狀を承認する前には材料とよく照合

し數量寸法等の相違無き樣注意を要する。又送狀は鳩目、クリップ等で綴り入場材料記入の資料とし、尙毎月末請求書と付合せ且原價計算の爲め各工事項目と比較對照に供するである。

材料入場記錄は毎日記帳することが必要である。貨車積運送によるものは少しく取扱を異にする。即ち多桁式帳簿を用ひ納入者の人名別とし各頁には次の如き各欄を設ける。

番號	貨車	摘要	到着日附	契約日附	納品日付	備考
日付						

その備考欄には添付書類と受入品の相違せる點等を記入する。この帳簿は請求書との照合及び延滯料の徵收等に參考となるものであるから記錄は正確を期する事が必要である。

材料商人が納入に際して送狀を付けて來ない時は現場で受取證を發行する。凡て請求書は記錄によつて照合調査することが必要で決して關係者の記憶等に委すべきものでない。

尙茲に注意を要するのは入場材料の僅かの相違、破損と雖も添付の送狀と一致せぬものは承認せない事である。又運送中に毀損せられた材料は受取の證明を發行する前に運送會社に毀損の承認をなさしめねばならぬ。又注文品を一定の仕樣書によるべき規約ある場合は之に違反するものは一切受理してはならぬ。又斯るものは相當の値引の協定を遂ぐるに非れば單に入場した丈けの理由で支拂の承認をしてはならぬ。不良品を受付け之が支拂をしたときは後日訴訟を提起しても不良品を『正當と承認せるもの』と見做され極めて不利な立場となる。

機械賃借料記入簿　機械設備に關する工費の計算は多種多樣である。或ものは機械を使用すると否とを問はず常に一定の比率を以て工費を算出する方法をとり、又或ものは機械を使用する期間と休止期間に分ち夫々異りたる比率を課して工費を算出する。中には工事終了の際機械原價の一定比率を一時に消却する方法を採用して居る。又場合によりては斯の如き計算を全然用ひず機械が使へなくなると新しい機械を購入して補給して行くといふ簡單な方法によるものもある。

凡そ機械の成績は其の要する經費と收益とを比較して初めて分明するものであるが、機械を使用すると否とに拘らず一定比率を課する方法は機械の收益を多く見んとするものである。從つて其結果得られる平均一日の貸借料は凡ての仕事に其儘應用することは妥當でない。機械の工費は嚴密に言えば休止期間の料金は機械の準備的價値とも言ふべきもので、即ち機械を何時でも使用出來るといふ滿足に對する價値に相當し、使用期間の料金は機械使用によつて省略せられる勞銀の總額に該當するものである。機械賃貸を營業とする會社では一日一週又は一ヶ月等の期間を定めて使用、休止の如何を問はず一定の料金を課して居る。この料金は相當高いもので機械資金の利子、償却、修繕及び利益等を包含するものである。賃借機械の料金計算は時間記錄帳を用ひるがよい。即ち同帳の職工名に機械名を代入し毎日の記入欄には機械使用日をA、休止日をLとして記入する。而し毎週末に之等を合計し使用日數を合計欄の上部に、休止日數を下部に記入する。第十圖は機械使用週報の一例で之は毎週末本店へ送附せられるものである。尙他の會社から借入れた機械は報告を別にし使用濟の時は

第十圖　機械使用週報

何々建築會社

機械使用週報

工事番號　　自　年　月　日

現場名　　至　年　月　日

報告者

機械器具名	使用日數	使用料	セザル使用日數	金料右	計

速に借入先へ返還することゝする。

材料振替記錄 工事主任が振替材料に對し請求書を提出する規定になつて居る場合を除き一般に振替材料の記錄には普通の日記帳を使用して差支ない。手帳には振替材料を工事項目振替、臨時工事へ振替又は現場間の振替等に區別して記錄する。第十一圖は振替報告の一例である。之は振替先の工事番號又は名稱を記入し毎週纏めて本店へ送附する。勿論振替が唯一度よりない場合では報告を略する。

第十一圖 材料振替報告

何々建築會社

工事番號 現場

日 月	振替材料	金額

下請人の負擔すべき費用 下請人に負擔せしむべき材料及び手間を工事費に混入してはならぬ。下請人に負擔せしめる費用は工事項目を用ひず既に述べた臨時工事又は振替報告等の方法により下請人の負擔なる事を明らかにすればよい。

運送認票 運送認票は工事主任が承認を與へ共賦課すべき工事項目を明記の上本店へ送附する。又若し工事主任が運送認票により現場で運賃を支拂つた時は出納報告に記載し其の理由を明示すべきである。

工事費の請求 總額請負の工事に在つては毎月末に於ける材料勞銀の實施額に對する概算を査定し本店へ報告する。本店ではこの査定額を精査の上施主に提出すべき請負內金の請求書を作成する。實施額の査定には竣成部分の出來高數量を記載する。例へば根伐、コンクリート基礎の立坪數、鐵筋の噸數、防水層及び假枠の取付、取外しの面坪等である。次に材料が現場に入場さへすれば取付に到らずとも支拂をなす契約がある場合は之等の入場數量をも併記すべきである。

事故報告 現場の事故は凡て報告二通を作成し一通を最寄の保險會社へ他を本店へ送附する。州によりては產業委員會へも報告すべき事を規定して居る。事故の善後策は凡て本店の指圖に從つて工事主任之を行ふべきである。(つゞく)



神戸川崎男邸庭園に於ける春季大會參加者

春季大會參加記

編輯部

さつき晴の風光る五月十二日のよき日、恒例の春季大會は、地を替へて貿易の港神戸並名所明石に於ていとも盛んに催された。

二三日來の天氣は不良で、當日は最も氣づかわれたにかゝわらず今日の晴朗さはどうだ絶好の大會日和だ。ゆらい本會のいつの大會でも、好天氣に恵まれた多くのレコードを有つてゐる、それは丁度逐年本會の發展、隆昌に向ふを物語る様に。

庭木の清々しく、平戸は今を眞盛りの前庭には、數棟のテントが用意されて、清掃された机、椅子は人待ち顔に廣庭に列んでゐる。此處は集合所、神戸竹中氏邸である。同邸では朝まだきより山脇氏を初めたくさんの人々が、吾々を迎へるために何かと心せられて萬般の準備に餘念もないのである。

同邸を指して來り會する者、三人、二人定刻の十時には七十人を超過する大多數である。まづ茶を喫し、會ふほどの人々はお互に久闊を叙し劈頭から和氣藹々たる光景を現出す。

川崎男邸庭園見學

竹中邸を出て數町、橋を渡つた突當りに川崎男邸がある。此の庭園を永い間參觀したい希望を有つてゐた。それが今日しも、古宇田委員長の紹介でいよ〳〵このあこがれの名庭園の前に立つことゝなつた。まず山腹をとり入れた自然と人工の調和したその雄大さに驚かされた。山あり池あり、岡あり花園あり、阪あり坦あり、亭あり展望臺ありて、萬目すべて林泉の美ならざるはなしこいつても過言ではあるまい。いづれ專門的の紹介はその道の人を煩す事にする。同庭園には、有名な牡丹の園、芍藥の園があるが、時既に遲れて大方は散りしきて、唉き殘りのもの點々として徒らにその滿開時を偲ばずに過ぎなかつた。カツトにある記念撮影は同庭の綠の斷崖を背景にして撮られたものである。

神戸商工會議所見學

川崎邸の見學を終りて、再び竹中邸に引返し其處で晝餐をすまして、一同自動車を連ねて新築なれる神戸商工會議所に到る。原科氏大阪橋本組の人々に案内せれて、所内を隈なく見學す。本館は日本式を加味した近世樣式にして、耐震耐火の鐵筋コンクリート造六階建で、昨年二月起工して一ケ年を經たこの一月に竣工したものである。本館の外觀、各室の寫眞、プラン等の詳細は何れ本誌上で紹介することにします。

同館大食堂で、宗副會長、古宇田委員長の挨拶があつた。そして喫茶のあひまに大阪から來た、花月亭九里丸によりて滑稽漫談があり、その浮世ばなれの話についこちらから釣り込まれ初夏の暑さも



者加參するとせん學見を内港戸神てり乘にチンラ

忘れがちであつた。

神戸稅關見學

天皇陛下の關西行幸を數旬にひかへた、こゝ神戸は今全市を擧げて其準備に忙殺されてゐる。

神戸商工會議所を出た、吾々は神戸稅關へ向つた。同稅關へは畏くも　天皇陛下御親臨を忝なくいたす御沙汰で、全館多忙にかゝわらず係員諸氏の丁重な案内に接した。

三菱倉庫見學

吾々は神戸稅關を辭して三菱倉庫に到る。同倉庫は第三突堤附近にありて、倉庫としての總ゆる最新式の設備を施してあり、建築物から見ても、又大貿易港の貨物集散の現狀から見てもその故あるを知り得て感概これを久うした。此處で再び九里丸の獨逸女學生其他を聽き抱腹絶倒した。

神戸築港見學

後三時半頃、三菱倉庫を出た吾々は神戸港第四突堤から、ランチに乘つて港内を順覽した。げに入舟出舟千艘と古語にあるが、これを如實に示したものは即ち此神戸港の繁華であらう。第一、二三、四の現在の突堤から五、六、七と順々に大突堤が計畫せられ或一部は既に着手されてゐる。内務省土木出張所員の熱心なる說明にまだ知らざる智識慾に各々は耳傾けて一語も聽き洩らさじとかまへてゐる。東に南に西に廻れば、川崎、三菱、神戸製鋼等の工場は殆んど手にとる如く目に映つる。

陛下　神戸行幸に際しては、御召艦長門に御座乘、港外に御假泊相なり、港内をも御順覽の御豫定と承り、今日を思ひ、如何に當日の榮光に輝く神戸であるかを思ひ浮べるのである。

首を廻らせば、六甲、摩耶、鷹取の山々は新綠に映えて、神戸の繁華をうち衞るごとく、陸に林立する煙突は貿易都市の上に工業都市としての神戸を思はすに充分である。ねがはくば、神戸將來の爲め、貿易、工業あひ携へて隆々たることを望む。

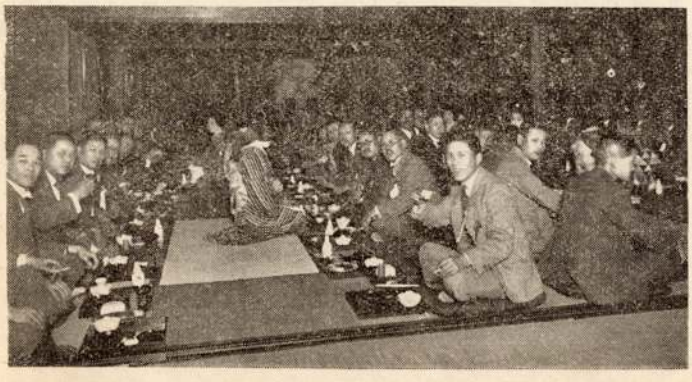
神戸から明石へ

かくて神戸築港の見學を終へた吾々は更にランチで明石に向つた紺碧の油を流したような靜な海を、ランチは今ひた走りに、夕陽を浴びつゝ明石へと急いでゐる。須磨を過ぎ、境濱海水浴場沖に現れ、鹽屋を右に、平磯燈臺を中に近く左に淡路島を望んで垂水の前に出た。白砂青松の舞子の濱を指呼の間に、はやランチは明石の浦に着いた。

懇親會

明石では明石公園を觀る豫定ですべて用意は出來てゐたが、時間の關係上、見學を他日に括愛してすぐ會場衝濤館にいそいだ。

座が定まつて古宇田委員長の挨拶があり直ちに開宴となる。館主自慢の日本料理に、酒間は同地の美形連が斡旋す、盃は廻わる、日本音樂がはいる、陽氣は增す、いよ〳〵高調に達し初夏の夜はいつ果つるとも知れず。



明石衝濤館に於ける宴會場の光景

建築と社會第十二輯第七號

廣告目次

頁 一七

A
葵商會……三五
有山組……三五
安藤組大阪支店……三五
淺野物産株式會社大阪支店建築材料部……五一
淺野スレート株式會社……一二
淺野スレート株式會社……七二
淺海商店……六〇
阿部鐵工所……六四

D
デウエット商會……六五
大和工業株式會社……八三

E
エッチ・イー・ルート……一八
エッチ・イー・ルート……一九
榮進社……三九
衛生工業商會……三一

F
福原工場大阪販賣店……四二
藤木工務店……三四
藤田商會……四〇

H
橋本庭園工務所……二三
波江野工生所……四七
白陽工務店……三一
汎建製作所……表紙三

I
池田組……三一
伊丹商店……四八

K
クロースルーフキング製造所……五六
江東サッシ株式會社……六七
木下謹三商店……七二
熊坂谷熊次郎商店……三四
高陽商會……一六
金剛商會……四三
桐田商會……六二
建築金物商會……表紙四
鴻池組……三五
久保田組……三三
駒井喜商店鐵工部……三五
工村社(阪口芳三郎)……二四
龜谷開作商店……三三
關西ステンドグラス製作所……一四
關城化學工業株式會社……二二

M
みよし組電氣工業所……七五
松井組……九
松村組……三四
松本商店……七六
三井物産株式會社……二
三熊製畳所……四八
森木建築社……三六
萬年スレート株式會社……一〇

N
ナンコク商事株式會社……一一
內外エレベーター株式會社……四九
內外土木建築材料合資會社……七四
內藤製作所……六〇
日本木材工藝株式會社……七九
日本木材工藝株式會社大阪出張所……四六
日本スレート販賣株式會社大阪支店七一
日本ペイント製造株式會社……一五
日本エレベーター製造株式會社……八
日本ピトロ工業營業所……一四
日本仲銅株式會社……六
日本石油株式會社……二九
日本水道衛生工事株式會社……六一
日本建築紙工株式會社大阪出張所……四七
日本鋼製建具株式會社……六九
日本地下水協會……八一
日本工劑株式會社……七三
西孫南店建築金物部……七〇
西原衛生工業所大阪支店……三〇
中川辰藏店……三三
中村グラニット商會……八〇
南滿鑛業株式會社……五三
野澤幸三郎商店……六八

O
オキナ商店……五五
大阪ピトロライト工事合資會社……一六
大阪耐火リノリューム工業合資株式會社……五〇
大阪窯業セメント株式會社……二一
大阪鐵筋混凝土工務所……七八
大阪橋本組……三二
大阪電氣商會大阪暖房商會……三二
大林組……三二
大谷金庫店……二〇
大倉商事株式會社……五
大倉土木株式會社大阪出張所……三一
大塚鐵工所金庫部……七
大野製作所……一
大平工業所……七七
岡本工務店……三二
岡田建築材料店……五六
奥村重兵衛商店……六三

R
ラバロイド商會……一三
玲光社(木內眞太郎)……五四

S
SO商會……四四
須賀商會……四五
島津製作所貿易部……八四
島貿易株式會社建材部……三
佐久間建材工業所……三七
佐伯組……三六
三機工業株式會社……表紙二
笹岡家具裝飾店……四一
城口研究所大阪支店……六六
清水組大阪支店……三六
品川白煉瓦株式會社大阪タイル部……七〇
信友堂書店……三八

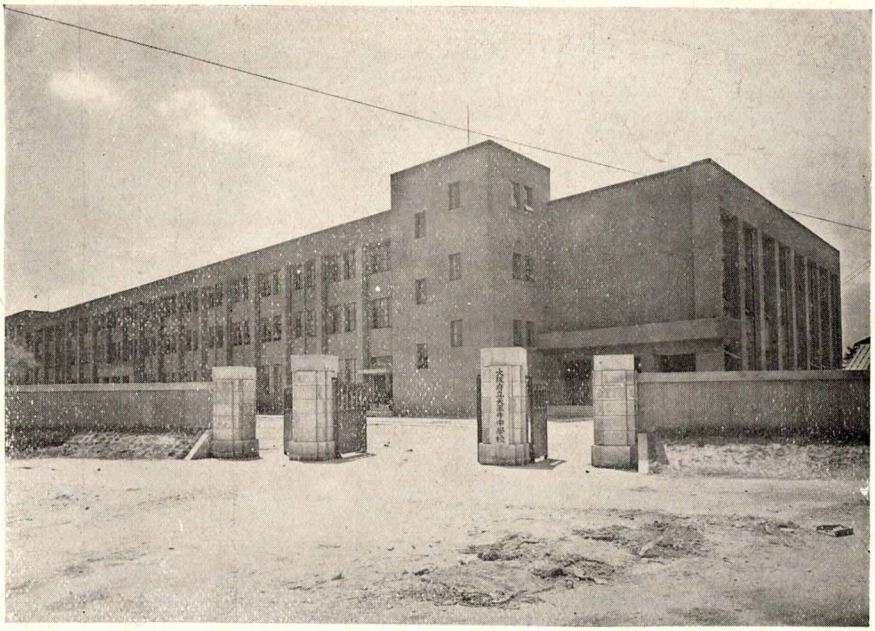
T
東洋コンクリート合資會社……五八
東洋スレート株式會社……八二
東洋工業株式會社コルク部……一〇
東亞鐵工所……五七
田中昌司商店……七四
田村商會……四
竹中工務店……三三

V
ベニス工房……五二

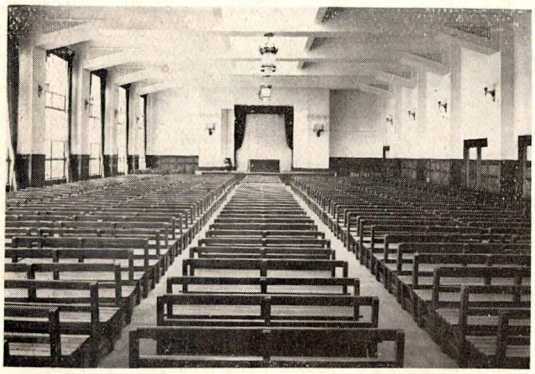
Y
山本東作商店……七八
山本窯業商店……五二
山中商會……五九
山田大理石製作所……三四
矢橋大理石商店……四〇
米本商店……五四

Z
錢高組……三六

1



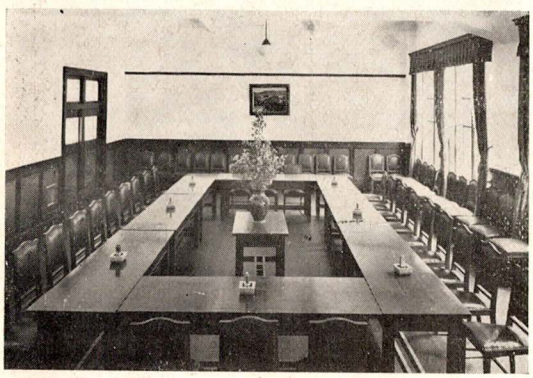
2



4



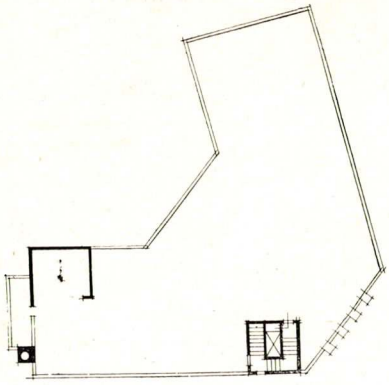
3



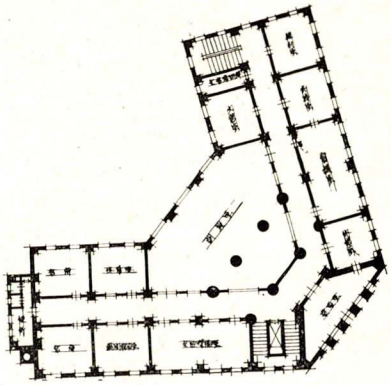
1 校舍外觀
2 講堂
3 會議室
4 校長室

大阪府立天王寺中學校舍

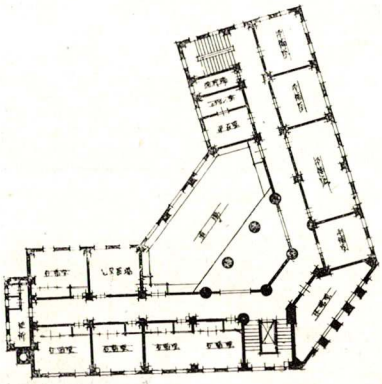
設計者　大阪府營繕課
施工者　株式會社高橋組



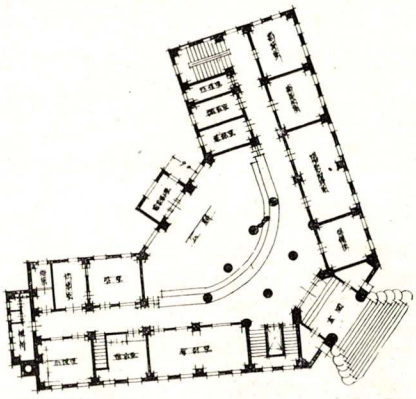
屋階平面圖



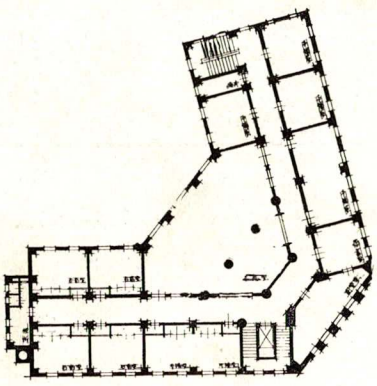
第二階平面圖



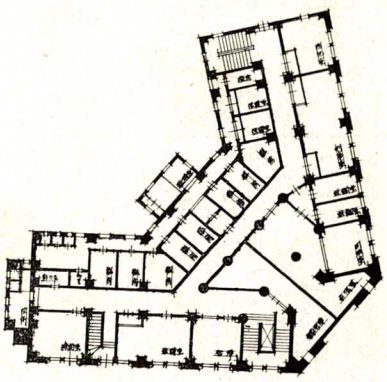
第四階平面圖



第一階平面圖



第三室平面圖



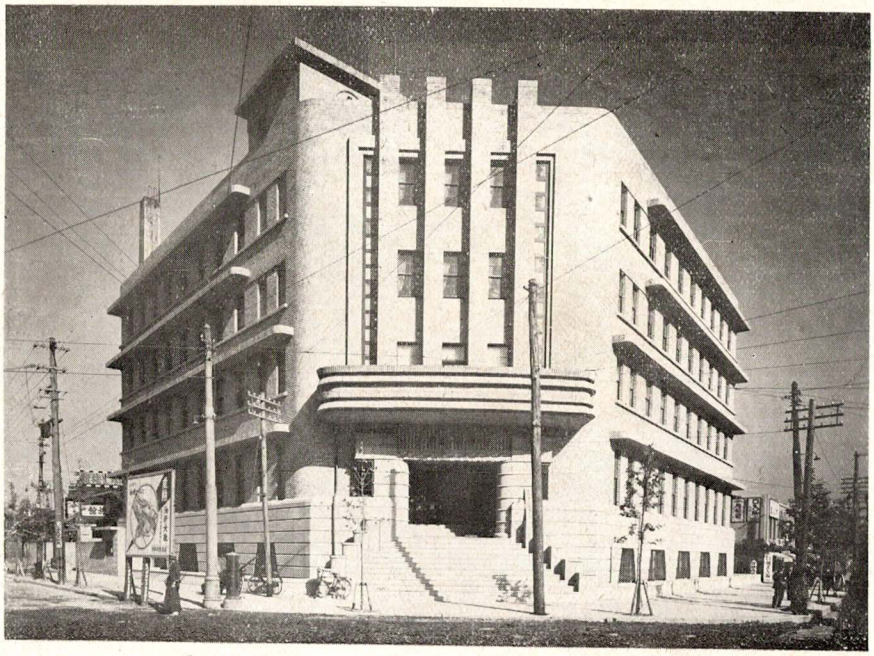
地階平面圖

大阪●曾根崎警察署 (2)

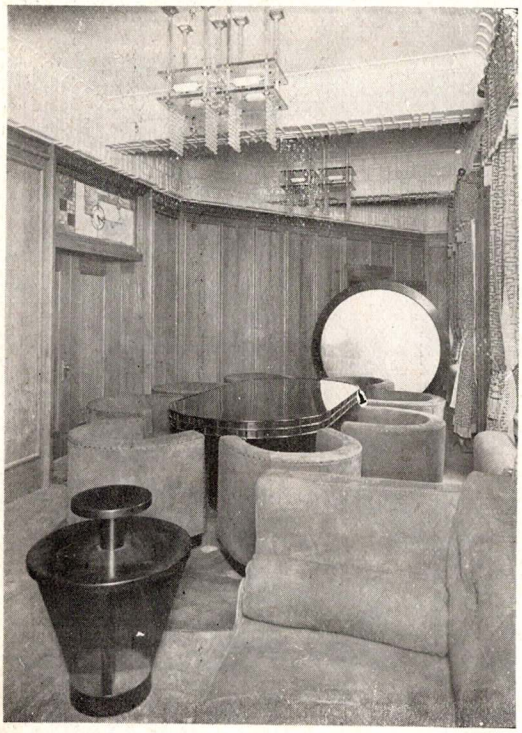
設計者　大阪府營繕課

施工者　株式會社大林組

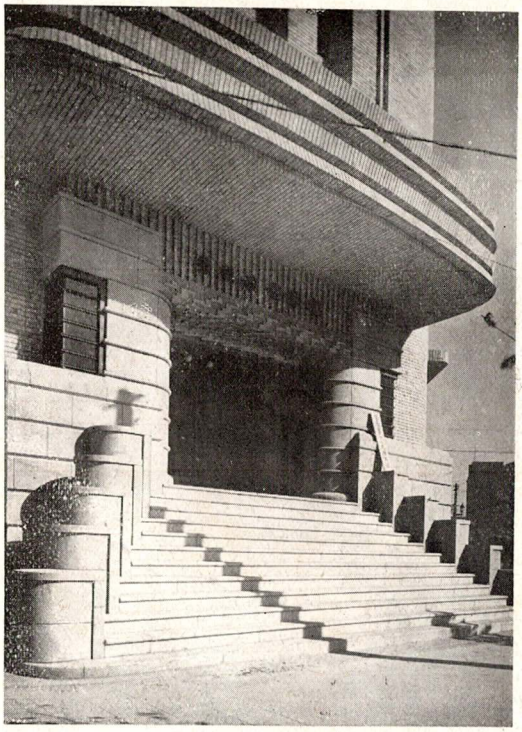
1



3



2



1 外觀
2 正門玄關詳細
3 貴賓室

大阪●曾根崎警察暑 (1)

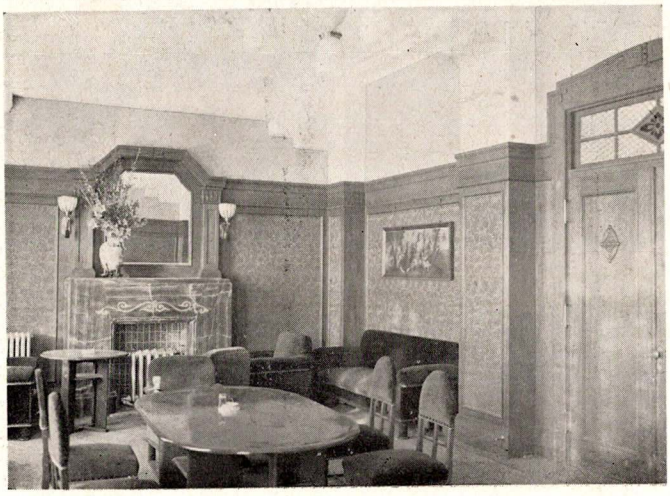
設計者　大阪府營繕課
施工者　株式曾社大林組

1





2



3

1　正面外觀
2　大食堂
3　貴賓室

神戸商工會議所（1）

意匠　古宇田實氏
設計者　原科建築事務所
施工者　合名會社大阪橋本組

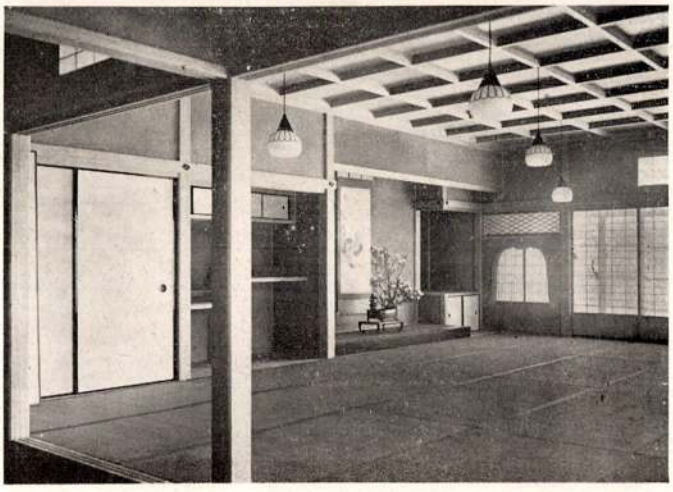
1



2



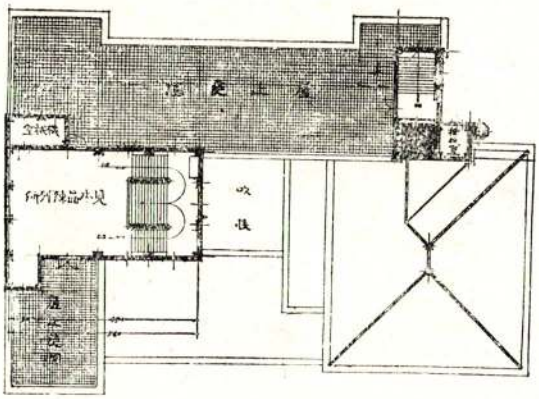
3



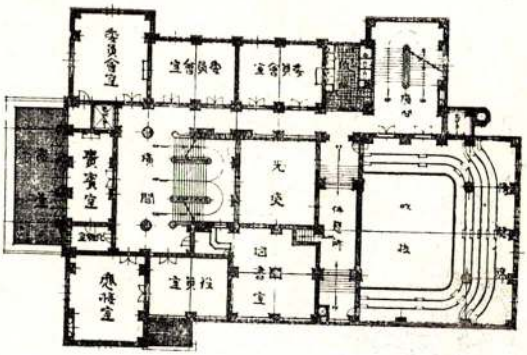
1 背面外觀
2 中日協會室
3 商工俱樂部室

神戸商工會議所（2）

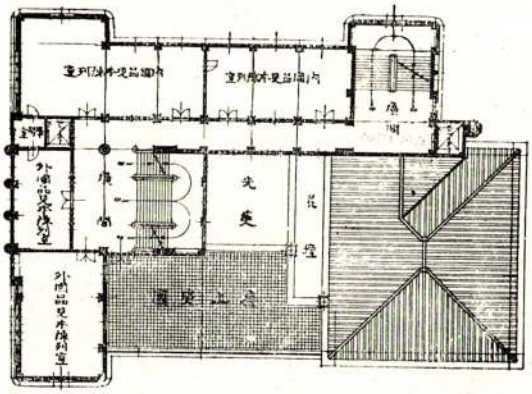
意匠古宇田實氏
設計者 原科建築事務所
施工者 合名會社大阪橋本組



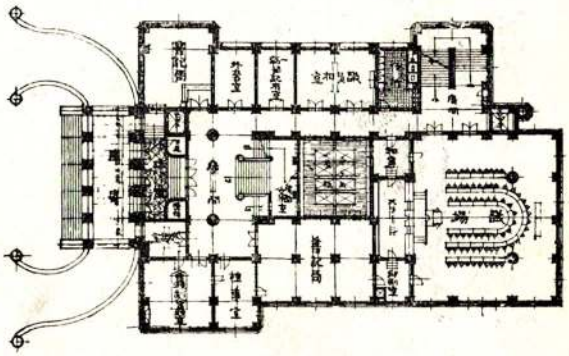
屋階平面圖



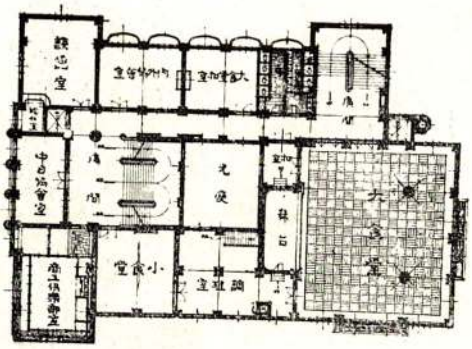
第三階平面圖



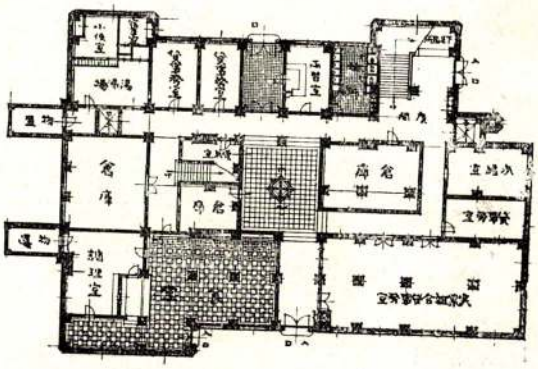
第五階平面圖



第二階平面圖



第四階平面圖



第一階平面圖

神戸商工會議所 (3)

意匠　古宇田實氏
設計者　原科建築事務所
施工者　合名會社大阪橋本組

大阪府立天王寺中學新築工事概要

一、構造　鐵筋コンクリート造一部鐵骨鐵筋コンクリート造
一、坪數　延坪二六九八坪、延坪一〇二〇坪
一、起工　昭和三年五月
一、竣工　昭和四年六月
一、設計　大阪府營繕課
一、請負　株式會社　高橋組

大阪會根崎警察署新築工事概要

一、構造　鐵筋コンクリート造
一、坪數　延一〇三〇坪建坪二三〇坪
一、起工　昭和三年五月二十五日
一、竣工　昭和四年五月二十五日
一、設計　大阪府營繕課
一、請負　株式會社　大林組

神戸商工會議所新築工事概要

位置　神戸市海岸通一丁目十六番地上ノ一部
工程　昭和三年二月　起工
同　四年一月　竣工

敷地面積　八〇七、四二〇坪
建坪　三八七、八一〇
總延坪　一、六四三、一二〇
内譯
第一階　三八七、八一〇
第二階　三五五、〇六〇
第三階　三二八、〇六〇
第四階　三二八、〇七〇
第五階　一八一、七五〇
屋上階　六二、三八〇
各階間取
第一階―實業組合數室、旅行案内所、公衆食堂、宿直室、小使室、汽罐室、電氣室、倉庫、下足預場、便所、其他
第二階―車寄、玄關、下足室、受付、ホール、階段室、電話交換室、應接室、會頭副會頭室、理事室、事務局、會計室、外套室、新聞記者室、議員控室、議場、同控室、便所、其他
第三階―貴賓室、化粧室、應接室、役員室、圖書室、委員會室、三室、議場傍聽席、便所、其他
第四階―外人商業會議所室、商工倶樂部、日本部屋、小食堂、調理室、談話室、内外協會大食堂、食堂控室、便所、其他
第五階―内外國見本品陳列室、休憩室、其他
屋上階―陳列室、「エレベーター」機械室、便所

構造概要

一、本建物は日本式を主調とせる近代樣式を以て耐震耐火の鐵筋混凝土造五階及四階建又階段室の部分は六階建とし其高さ地盤より正面及北面兩翼の「パラペット」上端迄六十二尺北面中央パラペット上端迄八十五尺、西正面最高部にて八十五尺五寸とす
基礎―各柱下は田中式を採用し地盤より六尺堀下げ長さ二十八尺内外の鐵筋入混凝土杭を打込み軸部柱及梁共鐵筋混凝土構造、其壁體は外側の全部及び内側の主要部及床鈑を鐵筋混凝土造とし一部の間仕切は木骨構成とす
外部―正面車寄の柱は研出しの北木産花崗石張、壁體は人造石、破風は中村式「グラニット」仕上、全建物根石は小叩仕上の花崗石を貼付け腰廻一階通りの西北兩側面は黄龍石張玄翁拂江戸切目地仕上、東南兩側面は「ソリヂット」掻取り仕上、西正面及北側の兩中央部柱形は黄龍石各柱頭彫刻飾及び同所各窓額緣蟇股等は中村式「グラニット」製、窓下彫刻は黄龍石張、北側柱形脇には「タイル」を張り前記兩側面の各左右翼及び東南兩側面の各四階迄は何れも四枚掛粗面「タイル」張、横太目地仕上、同上五階廻は「ソリジット」仕上、兩階段室塔屋は青味「モルタル」塗、大食堂及び階段室屋根竝西及北兩側面の兩翼「パラペット」上部は宇野製瑠璃色藥掛瓦葺き各陸屋根は防水層の上に「クインカー」敷とし各入口は鐵製扉を用ひ窓は凡て「スチールサツシュ」嵌込み、階段及地覆石等は花崗石を据付く
内部―表玄關床は各種の大理石破片を以て青海波形に「モザイック」張とし正面二階及三階「ホール」は「タイル、モザイック」張、一階廊下は人造石研出、其他各階廊下は

北階段『ホール』共『キルク』入『コンベス』研出仕上、各室床は概ね『リノリウム』敷、貴賓室及會頭室は『キルク』張の上繻緞敷込み應接室等は繻通敷、議場は『オーク』材床板張、大食堂は寄木張、五階各陳列室及一階事務室等は『キルク』入『コンベス』研出、小使室、倉庫調理室等は『モルタル』仕上、一階食堂及各便所床は『タイル』張仕上げとせり

天井―五階は二重天井『ボード』張上げ水性『ペイント』塗、議場吹抜天井は『インシュライト』張、挽粉入『ペイント』叩付け仕上げ、大食堂は『ドンゴロス』張り『ペイント』散し雲塗、其他の各室は漆喰塗仕上となし何れも所要の石膏製中心飾を取設く

内部仕上―貴賓室腰羽目は『チーク』製枠付き緞子張り上部壁紙張り、會頭室、應接室、役員室、談話室、中日協會室及び大食堂、小食堂等は各々腰羽目附とし小壁壁紙張り委員會其他は腰羽目壁面水性『ペイント』塗、其他事務局及貸事務室等は巾木仕舞壁漆喰塗二三階の正面『ホール』壁及丸柱腰羽目は大理石張、貴賓室、應接室、會頭副會頭室、役員室等の主要九室には大理石製煖爐前飾を取設け之れに『ラジエーター』を裝置す

階段―表階段車寄及玄關には花崗石を使用し廣間入口大理石張二階よりの昇階段石及手摺共凡て大理石張同上部よりの手摺は概ね人造大理石仕上げとし段石は大理石耳取り『コンベス』研出仕上、北階段欄桁は人造大理石製手摺は鐵製『ペイント』塗仕上とす

家具及裝飾―議場には議長席及演壇等を設置し階上傍聽席には椅子席を取設け其他各室夫々所要の卓子、椅子帽子掛等を加へ議場及大食堂の『ステージ』には緞帳及映寫幕等を裝置し其他外部各窓には『ブラインド』を取付け尙主要各室には窓掛を取設く

衞生設備―各便所は自働水洗式裝置とし大便所には『ペタル』式『スロンバルブ』を用ひ四階には特に『ストール』を採用し各汚水は淨化槽に導きたる後半馬力電氣自働揚水『ポンプ』に據り放流せしめ一階食堂調理室の臭氣筒は二馬力の扇風機に直結し六階屋上に排氣せしむ又議場大食堂には『ベンチレーター』を裝置し其他所要の各室には『レヂスター』を取設け室内の清淨を保たしめ各階の清掃に便ならしむるため『ダストシュート』を設置す

煖房設備―低壓蒸汽煖房裝置とし階下汽罐室には獨逸製『ローラー』型を採用し傳熱面積約七七五平方呎のもの二基及び自働喞筒を設備し各放熱器に送氣し外氣華氏三十度の時室内の溫度七十度廊下廻りを五十五度以上の溫度を保持せしむるものとす

給水及給湯―小使室、調理室、便所其他所要各室に給水竝に給湯を施設し各階廊下に消火栓徑一吋半布『ホース』五十尺二本『ノツズル』付を裝置し尙補助消火器獨逸製『ミニマツクス』を設備し屋外には市設水道に接續せしむる丙防火線徑三吋を裝置せり

電燈、電鈴、電話―配線は床『スラブ』内に埋設し各階には開閉器を設け電燈總數四百十五個各室に應じ照明器具を裝置す

電鈴は一階小使室に二十四ヶ所用表示器を設置し各室所要の押釦に通ぜしめ尙會頭室、理事室より事務局及會計室等相互に單獨異音電鈴を設置す

電話は交換室迄『ケーブル』線を引込み私設電話を所要の箇所に設備せるものとす

避雷針―突針及枝針三本付純金を燒付けたるものを屋上二基『パラペツト』上一基及び煙突上部に一基を設置し地中板に誘導せしむ

昇降機―乘客定員十名速度毎分百五十呎のもの廊下兩端に各一基を設備し其外食料品用リフト一基を裝置せるものとす

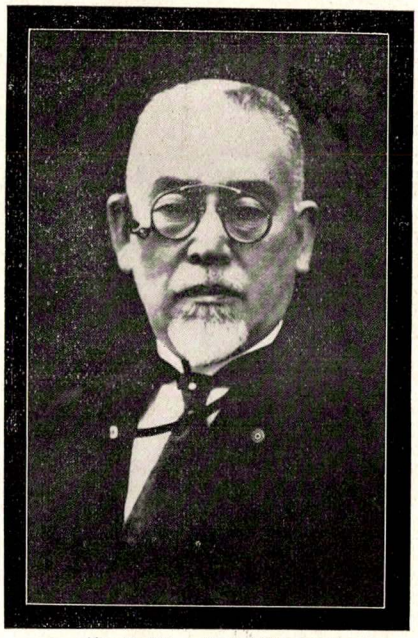
瓦斯設備―瓦斯は小使室、調理室等に湯沸及『カンテキ』用を設備し尙廊下其他所要の各室に豫備燈火用を裝置せしものとす

工事關係者

神戸商工會議所顧問　意匠　古宇田實

設計及監督　原科建築事務所

建築施工　合名會社大阪橋本組



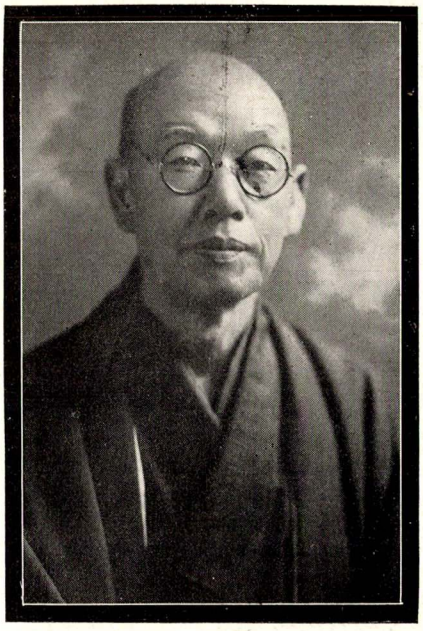
故名贊 後藤新平伯

名譽賛助員後藤新平伯昭和四年四月十三日薨去せらる、寔に哀悼に禁へず謹んで弔意を表す。伯は岩手縣水澤町の人、伊藤の醫臣後藤十右衛門氏の長男として安政四年生る。遞信、內務外務の大臣又は東京市長等の任にあり、大正六年本會名譽賛助員に推薦、同十一年秋本會主催住宅改造博覽會總裁となり住宅改造の大目的の爲盡力せらる。享年七十二。



故名賛 池上四郎氏

名譽賛助員池上四郎氏、昭和四年四月四日逝去せらる、寔に哀悼に禁へず謹んで弔意を表す。氏は舊會津藩士池上武輔氏の二男にして安政四年四月福島縣耶摩郡駒形村大字窪に生る、大阪府警察部長、大阪市長、朝鮮總督府政務總監等の職にあり、大正六年本會名譽賛助員に推薦され現在に及ぶ。享年七十三。



故名譽賛助員　北條時敬氏

名譽賛助員北條時敬氏、昭和四年四月二十七日逝去せらる、寔に哀悼に禁へず謹んで弔意を表す。

氏は安政五年三月廿三日石川縣に生れ、明治十八年七月東京大學理學部を卒業す、東北帝國大學總長、學習院長等の職にあり後貴族院議員に勅選せられ大正六年本會名譽賛助員に推薦せられて今日に及ぶ。



故會員　高岩　靜氏

會員高岩　靜氏、昭和四年四月十五日逝去せらる寔に哀悼に禁へず謹んで弔意を表す。氏は明治十四年東京市麹町區に生る明治三十三年七月東京工學校建築科を卒業し同年大阪住友本店建築部に入社し三十七年八月更に辰野、葛西建築事務所に入り兩博士の指導を受けて建築技術を練磨し三十八年九月日露の戰尚酣なるの時大連關東州民政署建築部に轉じ四十年九月大連山葉洋行工事部建築主任となりて業務を統轄し四十一年二月南滿洲鐵道株式會社に入社し建築課に職を奉じ設計及施工事務に從事すること二十有餘年に及ぶ。

昭和二年十二月滿鐵參事となり會社を退職せるも引續き建築業務に從事して今日に至れり。享年四十九。

日本建築協會會報

□懸賞サンマー、ハウス設計圖案當選賞金授與式

日時　五月六日正午
會場　本協會會議室
出席者　受賞者　久保田彦雄氏、前田慶太郎氏、岸本登氏、中村義實氏
會長　片岡安
編輯常務　池田谷久吉、本間乙彦、松本儀八、酒井勇三郎
一、正午編輯常務四名立會の上會長より當選者各自に賞金を授與し後會長より應募の謝辭將來の希望等一場の挨拶ありて式を終る
應募圖案　六十七通
當選者氏名
第一等　久保田彦雄
第二等第一席　前野段太郎　同二席　三上卓一
第三等第一席　石川禎一郎　同二席　岸本登　同三席　中村義實
選外佳作第一席　河部茂　同二席　佃十俊　同三席　三上卓一　同四席　保田信夫　同五席　中村勇　同六席　福富正治

□第四部(災害)委員會

日時　五月七日午後五時三十分—十時十分
會場　住友倶樂部二階談話室
出席者　委員長　光安梶之助
生査　池田宮彦、林豪藏
委員　岡本　弘、渡部　圭吾、黒田　茂鹽路　憨吉、篠原　太郎
記事
一、本夕は光安委員長出席ありしも本夕開會の建築士法案特別委員會に出席の爲休主査に托して退席せらる
一、建築學會學表コンクリート及鐵筋コンクリート標準仕様中一部内容調査
尚砂及砂利中に含まるゝ塵分許容量、其他款義に付學會へ照會することに決定
右照會案文作成したるも尚第分二科委員に疑義の點照會の上發送することに決定す

□建築士法案特別委員會

日時　五月七日午後五時三十分—八時三十分
會場　大同ビル、ライオン食堂
出席者　會長　片岡安
委員　德政　金吾、大澤　幸平、和田　信
呼子　正、谷　民藏、坪井　誠一
中村　義雄、浦　英之助、野村　一郎
安井　武雄、松室　重光、前内文二郎
阪井　米吉、光安楫之助、下浦　光衛
姫野　武、森本　藤吉
記事
一、先づ會長の建築士法案特別委員會の設置に至りたる經過報告あり次で光安委員は各部委員會の職務及立場等詳細に亘り述べられ、尚本委員會は格別急を要するものに非ざれば廢止しては如何の說を述べらる
右に付會長は本特別委員會を第一部委員會に移牒させることに決議し此旨評議員會にはかることにしては如何との說を述べ各委員一同之を賛成して閉會す

□第一部(法制)第四分科會

日時　五月八日午後五時三十分—八時三十分
會場　大同ビル、ライオン食堂
出席者　主査　高田利一郎
委員　伊藤幸太郎、鳥山良馨
記事
一、實費報酬加算式契約の實費の範圍に付意見の交換をなす

春季大會

日時　五月十二日
會場　神戸明石地方見學
概記　當日天氣清朗絶好の旅行日和に集合所神戸市熊内町竹中藤右衛門氏邸を指して集る參加會員定刻迄に七十餘名同邸庭園に設けし天幕内に休憩先づ之を第一班として徒歩數丁を距てし川崎男爵邸庭園見學に歩を進め同邸に於て執事庶野孝一氏(男爵家族は目下渡歐中にて不在)の案内により數奇を凝したる庭園を一巡して木門内に待ち合せる第二班を合し記念撮影をなし第一班は再び竹中邸に歸る、第二班は殘留して庭園見學を終り是亦竹中邸に歸り一同竹中氏饗應の辨當により中食を了る夫れより零時半、自動車に分乘して同邸出發、神戸商工會議所に至る
同所入口に於て橋本組社員より同會議所の繪葉書と建築概要の印刷物を受け隨意に内部の建築を見學したる後三階の休憩室に集合し橋本組寄贈のコーヒ菓子により休息
此席に於て宗理事は壇上に立ち會長代理として本日春季大會擧行に付挨拶あり續いて古宇田委員長の見學プログラムの變更したる理由及當會議所の建築概要等說明なし、一場の挨拶ありたる後餘興として阪口委員の同伴したる落語家九里丸の滑稽談ありて心氣一轉し該所を出づ時に午後二時徒歩數丁、神戸稅關本館に到り、同關營繕係青木喜三郎氏の案内に依り館内各階を見學し隣地にある三菱倉庫に到り建築見學をなし休憩室にて再度九里丸の滑稽談を聞き海岸に向ひ歩を進む神戸港第四突堤には吾等一行の神戸港内案内の爲港務部より差廻しのランチ梅丸及協會雇入のランチ一艘は一行の乘船を待つ
一行は先梅丸に乘船、直に記念撮影をなし内務省神戸土木出張所員、金山重臣、龜山長雄兩氏の案内により港内を一巡見學をなす時に午後四時次て一行は明石行ランチに乘換へ出船明石に向ふ船中大林組寄贈の麥酒に渴を潤しつゝ右に須磨、舞子の景勝佳絶の風光を眺め左に洋々たる茅渟海を隔てゝ紀州淡路島を見、談笑の裡に日沒前明石港

に上陸す
明石にては明石公園人丸神社等見學の豫定なりしも之を變更して一行は着船直に晩餐會場なる衝濤館に入るかくて午後八時半同大會は一同大いに滿足し大盛會の裡に解散したり

當日の出席者左の如し

池田實、池田谷久吉、磯田竹次
石本喜久治、井上新太郎、岩尾保衛
橋本正太郎、林田瀧次郎、伴野貞三
本間乙彦、岡本新次郎、小畑源之助
小川繁太郎、奥村丈太郎、岡村忠一
小川政次郎、大澤幸平、川島甚兵衛
河合幾次、河合貞一郎、川村齋藏
辰己吉之助、高安九藏、高橋直喜
坪井誠一、中島富藏、中島富藏
中島智喜、中村喜七、中谷榮藏
永田鼎三、中川辰藏、村井季四郎
野呂長四郎、熊取谷熊次郎、山本潔
山本清、山口半兵衛、八尾常次郎
山田千代松、山中茂一、山添繁藏
前内文二郎、政井繁治、松下由藏
松本儀八、牧野利秋、松丸盛一郎
福澤谷藏、藤田茂、藤井茂美
藤田辰三、藤村愛貴、駒崎朝治郎
佐藤正次郎、阪口正雄、木村喜代松
清野彌三郎、水口床太郎、宮崎治三吉
芝田知重、設樂貞三、設樂貞雄
白川雄一、城口龜吉、椎原兵市
平島末吉、森村正美、須賀藤五郎
菅谷元治

春孝大會來賓

明石市長代理
明石警察署長代理
神戸稅關青木喜三郎氏
内務省神戸土木出張所金山重臣氏
同龜山辰雄氏

春孝大會委員

宗兵藏、古宇田實、井上新二
原科準平、德政金吾、岡部顯則
置鹽章、谷田實、山脇友三郎
小西一眞、阪口芳三郎、酒井勇三郎
宮飼克二、宮本長治、西谷節
大和榮衛、鷹取陽、三宅保男

□第一部(法制)第一分科會

日時 五月十三日午後五時三十分—七時三十分
會場 住友倶樂部大阪ホテル出張所
出席者 主査 小川安一郎
委員 加藤善吉

記事

一、本夕は出席者少數なりしも前々回分科會に於て協議せし建議に關し意見の交換をなす

□第三部(資料)第一分科會

日時 五月十一日午後五時三十分—七時四十分
會場 大同ビル、ライオン食堂
出席者 主査 大澤幸平
委員 谷口德政代

記事

一、現場コンクリート試驗體作成のこと
一、鐵筋コンクリート梁に於ける鐵筋の應滑力試驗方法研究の件
一、委員の增員及定例日確定の件

□第三部(資料)委員會

第二分科
日時 五月二十日午後五時三十分—八時
會場 大同生命ビル、ライオン食堂
出席者 主査 中村、河合、三宅

記事

一、委員長より『タイル』の規格に就て調査方の命あり
一、スレート及洋瓦に於て研究を續行す

第四分科
日時 五月二十日午後五時三十分—八時
會場 大同生命ビル、ライオン食堂
出席者 主査 下浦、辰巳、三木、岡

議事

一、見本塗板片製作に關する寸法の決定
一、外壁セメントコーデングの手間及材料坪當り表作製の件

第六分科
日時 五月十二日午後五時三十分—八時
會場 大同生命ビル、ライオン食堂
協議事項 一、前回に引續き研究を續行す

第八分科
日時 五月二十日午後五時三十分—八時
會場 大同生命ビル、ライオン食堂
記事 一、事務室用卓子椅子書棚の標準寸法の調査をなす

轉勤轉居

會員

井上貢君 神戸市東須磨月見ノ下九番ノ一
角田吉章君 大阪市東成區北生野町二丁目五一
武田五一君 京都市上京區小山上總町四番地
設樂貞雄君 大阪府下大軌沿線花園字玉井一二六
設樂貞三君 兵庫縣武庫郡本山村小路九十一菊地
田中泰一郎君 京都府乙訓郡向日町上植野字野上山二七
高木眞太郎君 大阪府下藤井寺宮前
會員(地方在住)
朝香茂君 神奈川縣川崎市扇町三、東京汽力發電所工事場大林組内
中西十一君 東京市芝區芝口一丁目十六番地、宇都宮德藏回漕店建築場大林組芝口出張所内
正木英雄君 東京府下蒲田御園二〇三
田原政見君 橋本氏方
新潟縣廳土木課營繕係、新潟市濱田中町五一七九番地ノ一二
松浦完二君 愛知縣知多郡半田町東洋紡績知多工場(山方新田社宅四號)
松井宗一君 橫濱市中區新港町(稅關構内)營繕管財局橫濱出張所

普通贊助員

大倉　荒吉君　長崎市瀨ノ脇町九四番地
大林組長崎瀨ノ脇町出張所内

近藤　正夫君　朝鮮京城府總督府內務局建築課朝鮮京城府黃金町二丁目九四名島方

柏木　好文君（舊姓廣田）名古屋市南區東築地五號地一九

齋藤小三郎君　大阪市東區唐物町二丁目中橋筋、山本商店新築場大林組出張所內

小野　五作君　大阪市住吉區阿倍野町一九四ノ十二

友淵　義延君　京都御兎內匠寮出張所樁內、匠第十五號官舍

長屋新太郎君　大阪市此花區吉野町一ノ五五

岡田　信郎君　奈良縣吉野郡下北山村下桑原字小口

津田　知一君　大阪市東成區東小橋南町三丁目一一三津田鹿之助氏方

事務所移轉

會員　春日井政一君　大阪市北區南森町天滿ビル（市電森町交叉點）電話北三〇三三　三三〇六

村名變更

特別贊助員　伴秀雄君　大阪府中河內郡縄手村河內六一一（瓢箪山莊園）

入會者

會員（地方在住）

伊藤　鐵衛君　東京府下代々幡町代々木西原九四六

前田　松韻君　東京市外日暮里渡邊町一〇四〇

特別贊助員

村井　毅君　兵庫縣尼崎市外杭瀨四三ノ五

小森市太郎君　大阪市西區薩摩堀南ノ町普通贊助員

林　喜太郎君　京都府伏見市兩替町四丁目

門　正夫君　大阪市天王寺區東高津南ノ町四三長瀧商店內

川瀨　忠夫君　大阪市南區周防町三五川瀨醫院內

退會者

會員　末岡好松君

普通贊助員　田島長二郎君

寄贈書籍

剛節構理論　京都帝國大學教授工學博士三浦耀著

建築構造要覽　工學博士內藤多仲外八學士共著早稻田大學出版部

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其　社
都市人　每號　其　社
學士會月報　每號　學士會
建築世界　每號　其　社
朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會
日本ポートランドセメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　每號　住宅改良會
建築雜誌　每號　建築學會
工政　每號　其　會
經濟資料　每號　東亞經濟調查局
土木建築　每號　其　社
建築新潮　每號　洪洋社
大阪工業俱樂部　每號　其　部
通俗衛生　每號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　每號　其　會
工業評論　每號　其　社
電氣學會雜誌　每號　其　會
鐵道軌道經營資料　每號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　每號　關西園藝會
土木建築之日本　每號　其　社
工業ト社會　每號　東京工業會
工業　每號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　每號　其　會
庭園と風景　每號　日本庭園協會
圖書室月報　每號　東京市政調查會
大阪工業俱樂部　每號　其　部
エンヂニヤリング　每號　其　社
工業要錄　每號　其　同
名古屋工業會々報　每號　其　會
大阪　每號　大阪都市協會
都市問題　每號　東京市政調查會
新建築　每號　其　社
京都の實業　每號　京都商工會議所
都市創作　每號　其　會
木材彙報　每號　大阪木材協會
建築學研究　每號　其　會
大阪土木建築組合報　每號　其　組　合
木材新聞　每號　關西木材商報社
工業新聞　每號　其　社
日本建材新聞　每號　其　社
日本建築士　每號　其　會
東洋建材時報　每號　其　社
朝鮮鐵道協會會誌　每號　其　會
住　每號　其研究社
超科學　每號　大阪網島工業會
建築業協會々報　每號　其　會
建築畫報　每號　其　社
土木建築工事畫報　每號　其　社
工業之大日本　每號　其　社
動力之節約　每號　增進研究會
土木學會雜誌　其　土木學會

役員

會長　理事　評議員　片岡安
副會長　理事　評議員　宗兵藏
副會長　理事　評議員　日高胖
監事　評議員　池田實
主記　常務　評議員　德政金吾
同　常務　評議員　坪井誠一
同　常務　評議員　波江悌夫
主計　常務　評議員　岡部顯則
同　常務　評議員　吉井長七
同　常務　評議員　山脇友三郎
同　編輯　常務　評議員　池田谷久吉
同　常務　評議員　本間乙彥
同　常務　評議員　松本儀八
同　常務　評議員　酒井勇三郎
評議員　伊藤幸太郎
評議員　小川陽吉
評議員　大野直平
評議員　大澤幸平
評議員　渡部圭吾

評議員　和田貞治郎
評議員　高田利一郎
評議員　竹内綠
評議員　竹田延則
評議員　中村義雄
評議員　中島智喜
評議員　村上徹一
評議員　久保田筆雄
評議員　熊澤榮太郎
評議員　山脇友三郎
評議員　八木幸次郎
評議員　前内文二郎
評議員　增山新平
評議員　牧野利秋
評議員　小西一良
評議員　阪井米吉
評議員　芝田知重
評議員　下浦光衛
評議員　姫野武
評議員　樋口辰太郎
評議員　森本藤吉

編輯後記

◇―天皇陛下には六月四日より三日間大阪に行幸あらせられ、七日は神戸に行幸、御豫定の如く各所に親臨あらせられ九日御無事宮城に還御あらせられた。

◇―かしこくも　天皇陛下この度の御巡幸に殘したまへる御仁慈の數々は、吾々行幸地方の臣民が子々孫々に語りつぎて何時迄も聖慮のお在す所を奉體すべきは申すまでもなく、國民は常に奉公の至誠を致して、君民一體、國を擧つてなほ一家の如き、美しき吾國體精神を宣揚し、汎く世界に光被せしめなければならぬ。

◇―東京の建築學會の委員會に於て研究中の實業學校建築教育調査事項が終了しその成案を發表してゐる、建築家の注意を要する權威あるものです、同案閲覽希望の方は本會事務所で御覽願ひます。

◇―七月號は諸先生から多くの御執筆を頂きまして深謝致します都合で來八月號にも亘る原稿もあるが不悪御許容を。

◇―別項會告の如く八月中旬貸家に關する展覽會を開き、貸家に對する權威ある啓蒙運動を起す筈です、御賛助を願ひたい、同時に貸家懸賞設計圖案の應募にも預りたい。

新刊紹介

▼剛節構理論

京都帝大教授　工學博士　三浦耀著

鐵筋混凝土の發達に伴つて近年著しく剛節構造が唱導され凡そ建築構造界の士は、この知識なくしては濟まなくなつて來たのである。取り分けその專門的な參考書がないのを遺憾にされて居たのも久しいことである。本書にはこの意味で全く新なる基軸たるべき創刊である。元來剛節構解法には數多の特殊解法があり、且つその何れにも長短があつて、初學者は往々戸まどひするの現狀であるが、然しこの方面の學習者は假相動の定理による一般解法の外に、少くとも撓角法と定點法とは心得て置くべきものであるから此の書には本論第二章及第三章に兩方法を併せて明記し、第四章には矩形構を解くに實用的と思はるゝ著者の解法を揭げて實際計算の便に供してあるは一層本書を價値づける。

菊判、木版四八、凸版一八三、定價四圓五拾錢、稅廿七錢、發行所丸善株式會社東京日本橋通、大阪博勞町

▼建築構造要覽

上下二册　工學博士　内藤多仲外七名共著

本書は建築の構造方面に關與する人々にとり必要缺くべからざる資料を普く集錄してこれを嚴正かつ最新の理論的立場から系統的組織的に整理したもので、一般構造力學上の基本事項、構造設計上の基礎要件、材料の規格及び材料試驗、鐵骨鐵筋コンクリート構造、木造及び特種構造の計算竝びにそれらに關連する法規構造設計の指針、設計計算及び設計製圖の實例竝びにそれらの仕樣書例等々、あくまで實際本位、以て現下建築界の絶好指針たるを失はぬ。

菊判、圖表三〇〇、挿圖三〇〇〇、定價上卷五圓五拾錢、下卷六圓五拾錢、稅各卷廿七錢、發行所早稻田大學出版部、東京牛込

本誌定價表

册數	定價	郵稅
一册	五拾錢	貳錢
十二册	六圓	貳拾四錢

昭和四年六月廿八日印刷（毎月壹回）
昭和四年七月一日發行（一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人　鷹取陽

大阪市東區内淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　御々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

國産



アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御參考上カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目〇

東京本社 下関 小樽

I
設計監督
井原建築事務所
井原國三
大阪市西區信濃橋交叉點
電話土佐堀一七二三番

H
設計監督
橋本建築事務所
建築士 工學士 橋本勉
大阪市西區土佐堀通一大同生命ビル第八階
電話土佐堀九三八番
東京事務所　東京市麹町八重州ビル四階

I
設計監督
伊藤建築事務所
伊藤幸太郎
大阪市港區市岡元町五丁目八番地
電話西二六八一番

H
設計監督
原科建築事務所
原科準平
神戸市中山手通一丁目柴田ビル二階
電話葺合四〇五三番

I
設計監督
池田建築事務所
工學士 池田實
大阪市南區難波驛前鴻池ビル
電話戒一一二三番
宅　大阪市住吉區住吉町一七四

H
設計監督
本間建築事務所
本間乙彥
大阪市西區土佐堀通一大同生命ビル第七階
電話土佐堀四三四三・四三四五番

I
設計監督
池田谷建築事務所
建築士 池田谷久吉
大阪市西區京町堀上通一彌生ビル
電話 土佐堀 一五八一・二九五五 三四〇八・四八六七

K
設計監督
春日井建築事務所
建築士　春日井政一
大阪市北區南森町交叉點天滿ビル
電話北三三〇三・三三〇六番

K
設計監督
片岡石本建築事務所
工學博士　片岡安
工學士　石本喜久治
大阪市北區堂島大每ビル五階
電話北四〇六四番
東京市丸ノ內郵船ビル六階
電話丸ノ內(2ヽ)二九八一番

K
設計監督
葛野建築事務所
工學士　葛野壯一郎
北區絹笠町大江ビル
電話北二四九二番

M
設計監督
眞水三橋建築事務所
松下由藏
早大工學士　太田正之
大阪市北區眞砂町四一
電話北二〇四一番

M
設計監督
村上建築事務所
村上徹一
大阪市東區淡路町三丁目船場ビル
電話本二七五〇番

N
設計監督
野村一郎事務所
建築士 工學士　野村一郎(マヽ)
大阪市北區梅田新道大平ビル內
電話北三〇四番
東京市丸ノ內仲通十四號館四
電話丸ノ內二三八五番

N
設計監督
浪花設計事務所
佐藤松太郎
大阪市東區大手通一丁目一五
電話東五六八三番

O
設計監督
小笠原建築事務所
建築士　小笠原釗(マヽ)
大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビル第四十一號室
電話北二一五一・二一五六番

O
設計監督
大阪建築所
熊澤榮太郎
大阪市北區中ノ島七丁目十七河野ビル
電話土佐堀二三〇一・六〇八二番

T

設計監督

朝永建築事務所

朝永國次郎

大阪東區空堀通一ノ八六

電話東四四五七番

T

設計監督

田村事務所

工學士 田村啓三

大阪市北區中ノ島二丁目一四日本産業内

電話本局自二六〇番至二六四番

東京事務所　東京市丸ノ内ビル三一五區

電話丸之内(23)一八七四番

U

設計監督

上野建築事務所

上野伊三郎

京都市上京區竹屋町通河原町東へ入ル末丸

電話上二九五二番

W

設計監督

和田建築事務所

建築士 和田貞治郎

大阪市北區中ノ島ビル三階

電話土佐堀七三二三番

Y

設計監督

横濱建築事務所

建築士
工學士 横濱勉

大阪市北區大江橋北詰
堂島ビル四〇六室
電話二三九九番

Y

設計監督

横河工務所

工學博士 横河民輔

工學士 松井貴太郎

田中綱

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階

電話本局二九六四番

東京市麹町區有樂町一丁目
一番地 帝劇事務所四階

電話丸ノ内(23)一〇九三番

Y

設計監督

安井建築事務所

建築士
工學士 安井武雄

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

電話本局二〇七二番

O—S

建築事務所錄

S—S

O

設計監督

岡部建築事務所

建築士 岡部顯則

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビル三階K室
電話土佐堀五三二三番
宅 大阪市住吉區天王寺町九二二
岡山出張所 岡山市石關町一二〇番

O

設計監督

置鹽建築事務所

工學士 置鹽章

神戸市榮町二丁目山口ビル四階
電話三宮(3)三四七〇番

S

設計監督

宗建築事務所

建築士
工學士 宗兵藏

建築士 須川廉太郎

工學士 脇永一雄

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

S

設計監督

島田建築事務所

島田良馨

大阪市西區西長堀北一大阪實業會館
電話新町一四九四番

S

設計監督

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

神戸市下山手通六丁目七六
電話元町二六七一番

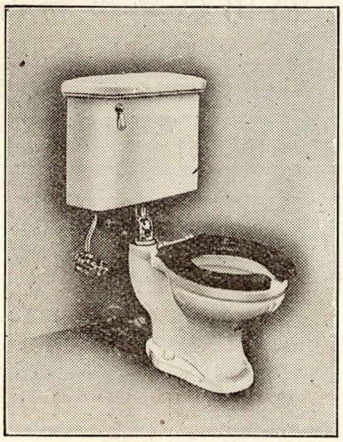
西原式 汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三二一號 第六三三五四號 第六一四二三號 第六〇四七二號

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

國產優良品

パイロット衛生器具



（御申越次第カタログ進呈）

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、

C W 50 — A

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

西原衛生工業所大阪支店

大阪市北區中之島五丁目三十番地

電話土佐堀 三七一八番 七八一五番

京都市萬壽寺通烏丸東入

西原衛生工業所京都出張店

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地三丁目拾三番

電話 局北一一五七番 北一五〇七番

大阪市東區釣鐘町二丁目廿九番地

大倉土木株式會社

大阪出張所

電話東長 自三二一 至三二五 一三一二・六二五〇

和洋住宅專門

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地

電話 北一五六二 一五六三

一般衛生工業設備

賣販械器及行施計設

給水裝置　排水裝置
防火裝置　衛生裝置
煖房裝置　給汽裝置
給湯裝置　換氣裝置

大阪市北區中之島七丁目
（河野ビルヂング）

衛生工業商會

電話堀江二二八〇・六一三番

建築請負業者案内

（次第不同）

大阪市東區農人橋二丁目十二番地

合名會社 **大阪橋本組**

代表社員 橋本政吉

電話 東一五八〇番 長一五八一番 東一七五三番

東京市麹町區八重州町一ノ一 八重州ビルヂング四階

東京支店

電話丸ノ内(23)四七八〇番 (四七八一番)

小倉市大阪町十丁目百廿二番地

九州支店

電話長四三〇番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店 東京、横濱、名古屋、小倉

營業所 京都、神戸、

工作所 大阪、東京、

大阪市西區江戸堀南通一丁目

合資會社 **大阪電氣商會**

大阪畯房商會

社長 菅谷元治

電話土佐堀(一一)五四四 (一四四六) (一八三七)

支店、東京、名古屋

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

石川屋

電話本町八三四(本店) 櫻川一六七(工場)

岡本工務店

岡本武藏

岡本新次郎

山中茂一

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北一五三番
東京市神田區猿樂町
貳丁目參番地
東京出張所
電話神田（25）三〇五番

合名會社

竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ内郵船ビル　丸ノ内（23）長一二五〇
　　神戸市船内町六丁目　貸合　八〇六
　　名古屋市西區菊原町二丁目　長一八四二
　　京都市坊城通三條下ル　中二三八六
　　橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
　　（長濱町局番（三））
製作所　大阪市港區南境川町　西長八〇四
　　東京市深川區西平井町　大手二〇四六

久保田組

久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

建築請負業者案内

（次第不同）

諸石材販賣彫刻請負業

一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
高島産錆色（人造石用）石粉各種
黃龍石材各種）幷ニ

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番

出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

株式會社

松村組

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長三一一七二一番
三三一七三二番
三五三三番）

東京本社

東京市麹町區內柳下町一丁目一番地
電話銀座（二三二三番
二三二四番
二三二五番
二三二六番
二三二七番）

大理石
鐵平石
萬成磨　工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六

合資會社

山田大理石製作所

電話土佐堀四三四二番

長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電語ニテ御一報次第御伺仕可候

大阪市港區小林町七十五番地

藤木工務店

藤木正一

電話淺櫻川（64）（一一五五八番
一一五八八番）

東京市深川區平久町二丁目一一番地

東京支店

電話本所（73）二六四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目弐
電話土佐堀（長二六二・四二一七）二六三・四二一八番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番）一九九一番

製材工作場 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西七六八・長一五二三番

合名會社 **有山組**

大阪市東淀川區十三西之町
電話 自宅用 北二〇五〇
營業用 三〇五一

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（六五八）二八六番

安藤組大阪支店

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **佐伯組**

本店 大阪市港區市岡元町五丁目八番地
市電築港線夕凪橋停留場前
電話 長西一〇九〇番 西二六八一番 西五七〇九番

出張所

東京
橫濱
福岡
熊本
鹿兒島
宮崎
大分
坂出

森本建築社

大阪市南區高津三番丁三番地
電話 長戎二八一〇番

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
電話 長土佐堀 六六六番 六六七番

（本店）東京
（支店）橫濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀 長三四一七 三四一八

東京市京橋區木挽町四丁目四

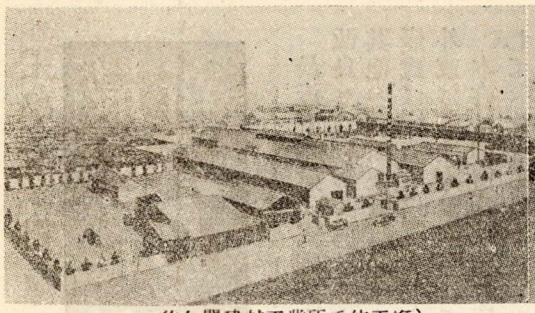
東京支店
電話銀座 長四二九二番 長四二三四七番

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所
電話 東三五一八番

橫濱市高島町六丁目一二

橫濱出張所
電話本局三〇七六番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高出工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

國産として優秀なる

佐久間式マルエス印

コンパウンド
パーマネントルーフイング
磐下用紙
建築用紙
フエルト
C印フエルト
ルーフイング



御用命

三菱地所部殿
東京府庁殿
東京市殿
大蔵省殿
文部省殿
鉄道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
藤組殿
安高組殿

橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

佐久間建材工業所
所主　佐久間榮吉
東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所　電淺草五〇〇六番
千住工場　電千住四〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場　電淺草二五六番

東京工業試驗所報告

品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉角度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	瓩 70·5	瓩 42·9	1.4	糎 0·5	180°	生ゼズ	大正十四年十二月二十六日
某舶來一流(A)アスファルトルーフイング	瓩 53.7	瓩 21.8	1.2	糎 1.3	180°	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	瓩 74.4	瓩 55.9	1.7	糎 0.5	180°	生ゼズ	大正十五年二月十日
某舶來一流(A)アスファルトルーフイング	瓩 80.3	瓩 39.3	1.2	糎 1.0	180°	生ゼリ	同上

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

最新便所の設計及改良法

工學士　相澤時正著（新刊）

四六判洋裝　定價金壹圓五拾錢　送料六錢

最近下水道の完備せる都市の便所は水洗式方法に依り追々改良せられつゝあれども一般的に改良せらるゝまでには經費其他の關係上實行出來さるなり。而し從來の非衛生的なる溜壺式は病菌の培養所なり故に都市は勿論下水道の完備なき郊外或は各地方農家等にても是非便所は改良せられたし。

本書は都市及郊外の便所の改良の方法より設計の參考書として著作せられたるものなれば家屋の新築及設計或は便所を改築せんとする諸氏は是非本書を一讀して心地よき衛生的な便所を作られん事を御勸め致します。

內容概略

第一章　住居內に於ける衛生法の必要事項。水槽、防溢水槽、陶器製水槽、排泄物の處理法、水運法、便尿の處理法、清淨裝置、淨化裝置、各種淨化法及濾過床法、消毒裝置、清淨裝置の設計法、非水洗式便尿の處分法。**第二章**　內務省式改良便所、多槽式便池の構造、多槽式便池の細菌學的實驗、內務省實案改良便所と大正便所。**第一**大正便所の發明の動機、構造の失敗、實例一、二、**第二**內務省案改良便所、內務省の研究　現在。**第三章**　汚水淨化裝置及取扱上に於ける注意事項、淨化槽の設置方に就ての注意及位置、淨化槽見積用の必要事項**第四章**　並列式和風洗滌便所、水洗式便器及用器の特色、汲取式便所、手洗鉢の種類、公衆便所、建築位置、有料便所、地下便所、注意を要する諸點、便所の設計圖、防凍裝置法、附錄　水槽便所取締規則其他諸表等あり。

◆建築圖書目錄御申越次第進呈

發行所　東京市神田區通神保町六番地　振替東京二四九七八番　信友堂書店

日本建築規矩術

東京高等工業學校長　手島精一先生序
東京帝國大學工學博士　中村達太郎先生校閱
東京高等工業學校助教授　齋藤兵次郎氏著

並製假綴　金貳圓五拾錢
上製クロース　金參圓　送料各十八錢

規矩術續編

菊判洋裝　定價金壹圓七拾錢　送料十二錢

附錄日光五重塔建地割詳細圖壹枚・長二尺五寸・巾一尺二寸

上、中、下五册假綴　金四圓
合本クロース表紙二册　金五圓　送料各廿七錢

日本家屋構造

東京高等工業學校助教授　齋藤龜吉氏著

四六倍判　金參圓五拾錢
クロース表紙　送料十八錢

神社建築構造法

四六倍判　金貳圓　送料十八錢

破風造構造法

菊判布表紙　金貳圓五拾錢　送料十八錢

床棚書院

建築普及會編

全六卷　一回ニ付金八拾四錢　六回全部金四圓四拾七錢

實用速成建築製圖講義

スチールサッシュ
スチールドアー
スチールシャッター
手動昇降機

合資會社

榮進社

營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルディング二階
電話京橋(5)二二二九番

第一工場　東京府下日暮里町日暮里一二八番地
電話下谷(83)一〇二七番
一四〇二番
一四八三番

第二工場　東京府下日暮里町大字
谷中本二五六番地

出張所　横浜市中區常盤町一丁目一番地
常盤ビルディング二階
電話長者町二七一四番

大阪市北區梅ヶ枝町梅ヶ枝ビル二階
電話北三二三五　五三五九
五八六八　二八四六

神戸市葺合下山手通
一二三番地
電話元町二七〇九番

大連市紀伊町八五　滿洲建築協會ビル内下
電話　四六〇二番

Fujita. Super-Septic Tank.

藤田式汚水淨化槽

給水衛生工事設計請負

藤田商會

電話 土佐堀 2336

大阪市西區京町堀上通三丁目七番地ノ一

大理石工事請負

合資會社 矢橋大理石商店

本店 岐阜縣不破郡赤阪町 電話 五

出張所 東京市麹町區八重洲町一丁目丸ノ内十號館五號

電話丸ノ内四六三九番

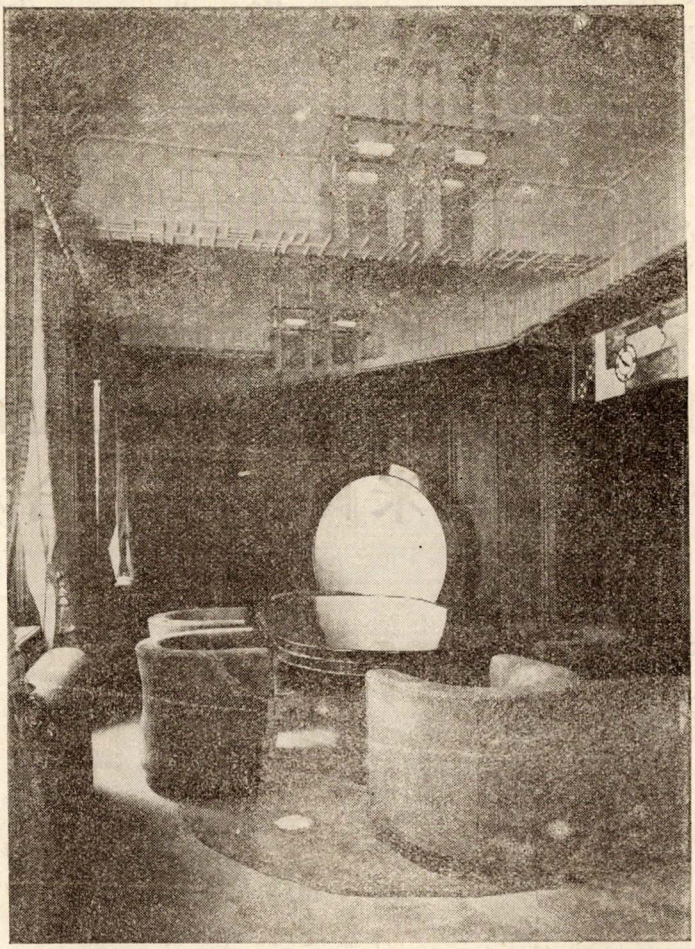
大阪市東區北濱四丁目二十三番地

電話本局㊦五三一九

京城府光化門通一九〇

最近施工の一例

宝寶貴署察警崎根曾



家具と裝飾

弊店は眞面目がモットー
皆様方の使用人

大阪市西淀川區海老江上三丁目一一七

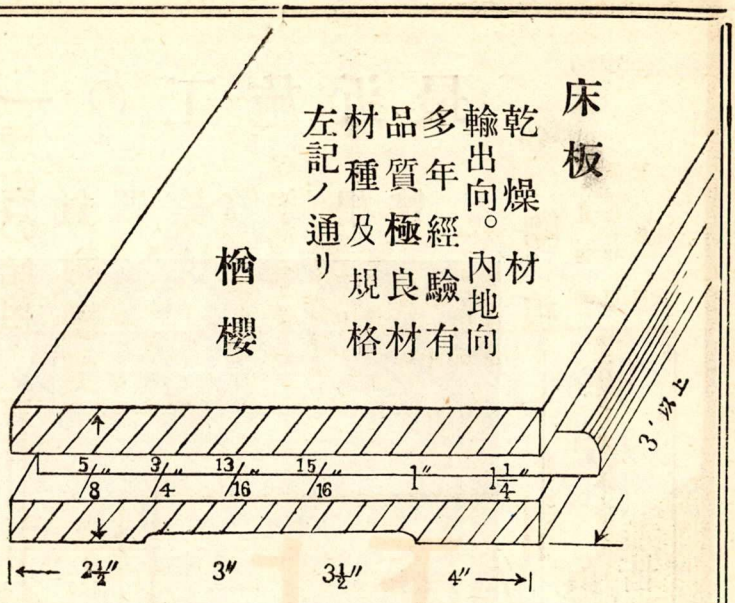
笹岡家具裝飾店

電話土佐堀二九六九（代表）
振替口座大阪七九七三三

床板

乾燥材
輸出向。内地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

楢
櫻



フローリングブロック並
ニ造作用楢乾燥材多量貯
藏當店へ御引合願上候

貯藏板子材厚ミ

1″
1¼″
1½″
2″
2½″
2″

AMERICAN READY-MADE DOORS.

米國製出來合建具

Door List of Size
出來合建具寸法表

高	巾	厚
6′6″	2′	1 3/8″
6′6″	2′6″	1 3/8″
6′6″	2′8″	1 3/8″
6′6″	3′	1 3/8″
7′	3′	1 3/8″

今回第一着手トシテ米松製ノミヲ輸入致シマシタ貸事務所、學校、病院、簡易住宅、等ニ比較的豫算ノ少ナキ御建築ノ際御引合下サイ絶對歪ハヌ建具ヲ安ク差上ゲマス

福原工場大阪販賣店

港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

小樽市入舟町二丁目三四番地

福原床板製造工場

電話二五二九・一二三番
振口小樽二五六七番

東京販賣店
京橋三四六一

名古屋販賣店
南三九〇



金剛商會

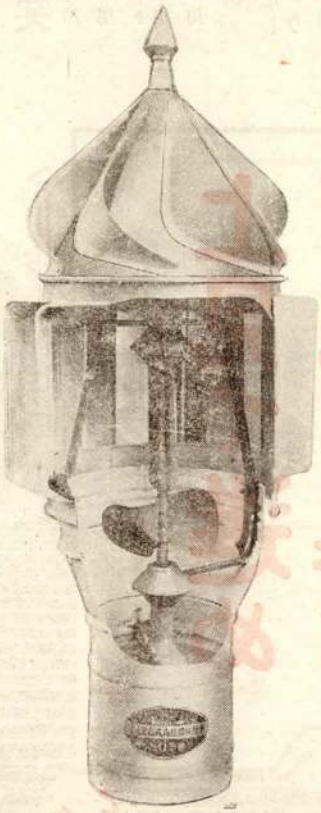
本店　東京市芝區虎ノ門　電話芝三九三・三九四・三九五
大阪支店　大阪市北區中之島四丁目　電話土佐堀二〇二五・二九二四
名古屋支店　名古屋市中區南園町二丁目　電話本局一三五一

新案特許

プロペラー　特許　No. 118986
防水裝置　特許　No.　1306

ヱスヱム式自然換氣風車

最新考案特許二件ヲ有スル
理想有効保證ベンチレーター



外側笠ノ廻轉ニヨリ内部吸上ゲプ
ロペラーノ廻轉ニヨリ換氣量ヲ最
大ナラシム

大阪市北區梅田阪急前（第一曾根崎ビル四階）

總發賣元

SO商會工事部

電話北 2155・2156

製造工場　大阪市東野田四番地

佐々木工作所（電東 696）

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置　スプリンクラーシステム、消防用器具、ウイヤーミンスコンネクシヨン、ミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼煖房▲蒸汽噴房裝置、溫水暖房裝置、熱氣晩房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルフ製造會社日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

〔創業明治三十四年〕

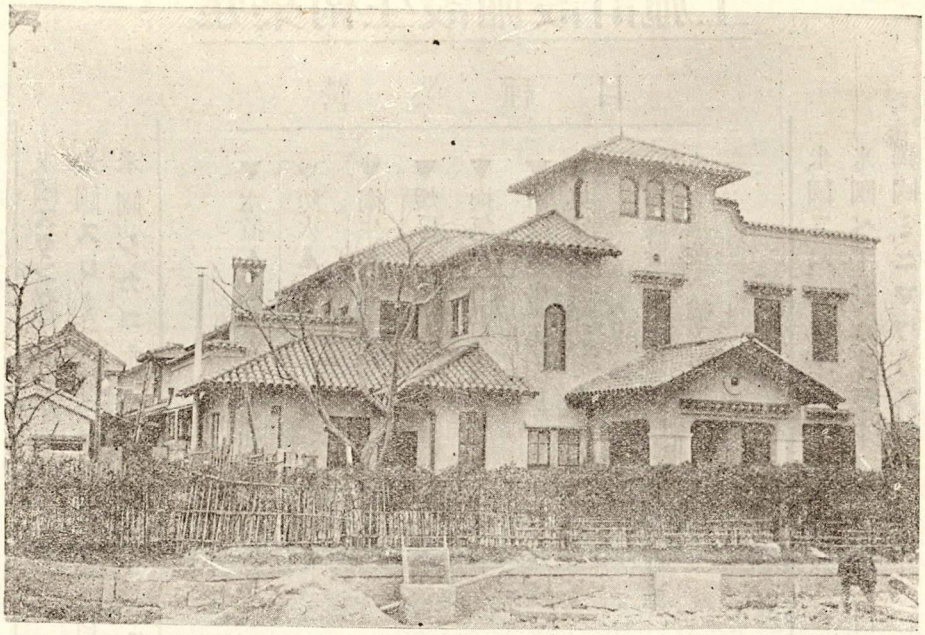
宮内省御用達

株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八九四五番

支店
名古屋
東京
京都

支店
住吉
神戸
博多



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所
大阪市西區堀江通一丁目四〇
（木綿橋停留所前）
電話櫻川一五八番

優良國產屋根材の權威



見本進呈

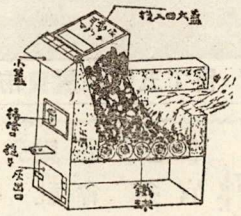
專賣　煤ト煙ハ出マセン　特許

動床式 鐵ダマ入 燃燒裝器

風呂 風呂 風呂

長州風呂 箱風呂

他種應用自在



用途

長州及箱風呂
製飴用煮竈
飲食屋竈
染晒沸釜竈
酒造其他煮沸釜竈
酒其他殺菌竈
工場其他雜用沸竈
錢湯用風呂釜

最近御採用先

一住友工作部建築課殿
一三菱造船所建築課殿
一竹中工務店殿工事先
一京大工教授山田氏邸殿
一京大工教授岡本氏邸殿
一工學博士井口氏邸殿
一武田長兵衛氏邸殿
一醫學博士藤田氏邸殿
一山本東作氏邸殿
一高島味淋釀造所殿
一大黑正宗釀造所殿
一株式會社壽屋殿
一府下山崎釀造所殿

發明者燃料實驗所長
工學博士 內藤游

燃燒有利ニ關スル工事設計
煤防除

波江野工生所

特賣店 株式會社 須賀商會

大阪市西區江戶堀下通四丁目十三
電話土佐堀七〇三九番

大阪市東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八九四番 一一八九五番

檜實剝繼手付

櫻 **床板**

同上羽目板

同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番

三熊製疊所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲當所ノ疊製品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社ノ設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

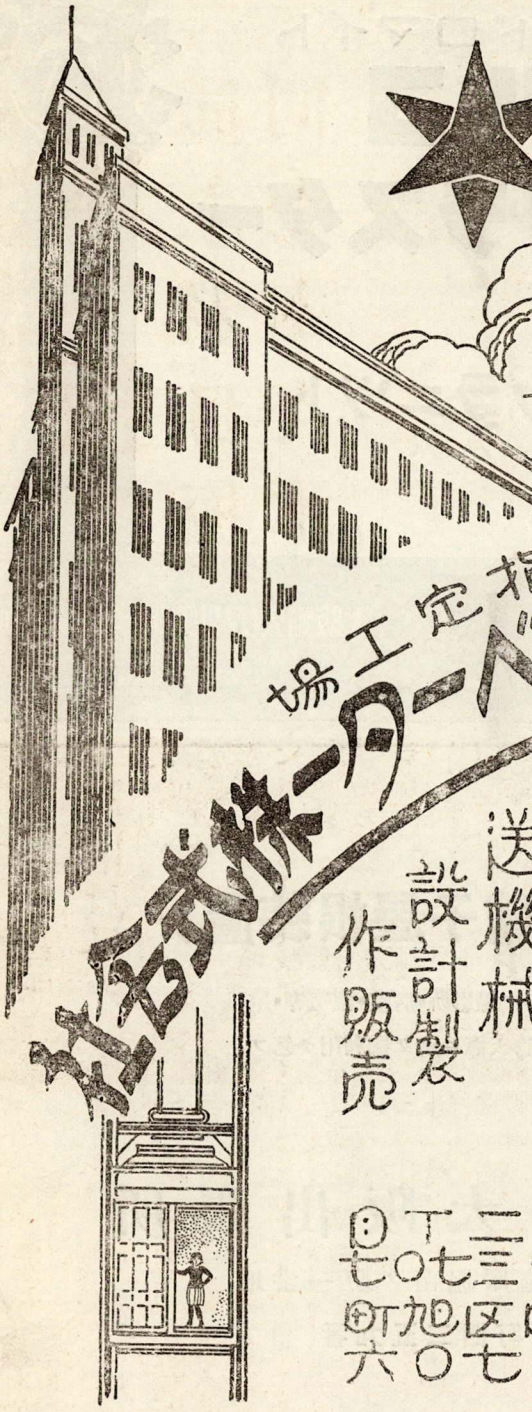
特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀
疊內部防水防塵衛生裝置

新疊
院寺校用
堂學等
殿社席
莊會茶
別省館
宅官洋
住

負請事工般一疊

賣販地布綠及表疊
全國

販路—關西關東を始め全國各地一圓現場納入
▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はゞ委細御說明申上候
價格表御一報次第送呈仕候
出張所々在地　大阪　京都



各省諸官衙指定工場

内外エレベーター株式会社

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

東京営業所 電話神田(三)七〇六
神田区旭町六
神田本局(一)七七一・七三〇七
神田区下沢通二丁目

國産ドロマイト

マルコプラスター



特許 岩元式グラニツト

関西一手販賣

大阪耐火リノリユム工業合資會社

大阪市西區靱南ノ町一番地

電話 4359番

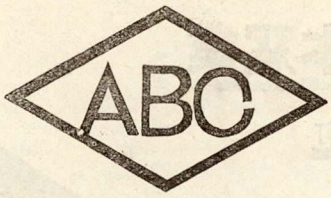
特許 坂本式硝子屋根裝置

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地

電話新町四三五九番



淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
内外各種ルーフ井ングス
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
内外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負
（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物産株式會社大阪支店

建築材料部

タイルの山本窯業

大阪市北區芝田町

電話北 286. 5610

タイルとテラコッター

東京出張所

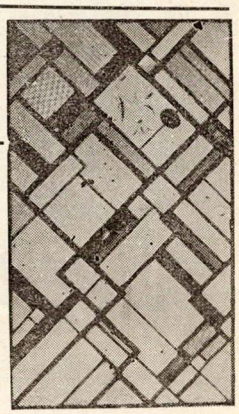
東京市日本橋濱町三丁目一地

(中之橋際) 電話浪速 1978番

ステインドグラス

グラスモザイク

VENUS STUDIO



大阪市東區谷町二丁目五 電東四二二〇

出張所 東京 代理店 京城

ベニス工房

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコツタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元

三井物産株式會社

製造元

南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

電話長西三四八九番

玲光社

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

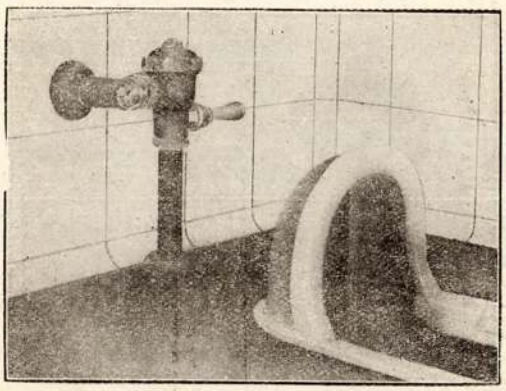
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

耶耶耶
太三太
眞彌邦
內崎瀨
木三廣

辦滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



東京帝國大學營繕課御指定
東京・大阪・京都市役所御認可
製造發賣元 米本商店
大阪市天王寺區南河堀町四丁目三番地
電話 天王寺 七九四番

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐

設計製作
据付諸工事

..TRADE MARK..

合資會社

オキナ商店

大阪東区今橋貳丁目二三地

代表社員 小川繁太郎

電話本局 一三八九
五九三二番
振替大阪 二〇六二一番

特約 インターナショナル石油發動機
おのくち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ ベリル
グライングヴィ マグネットヒーチール

地下室用防水布
陸屋根



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度伸度滲透壓に於て同種品中最高の記録を有する合理的にして最も進歩せる

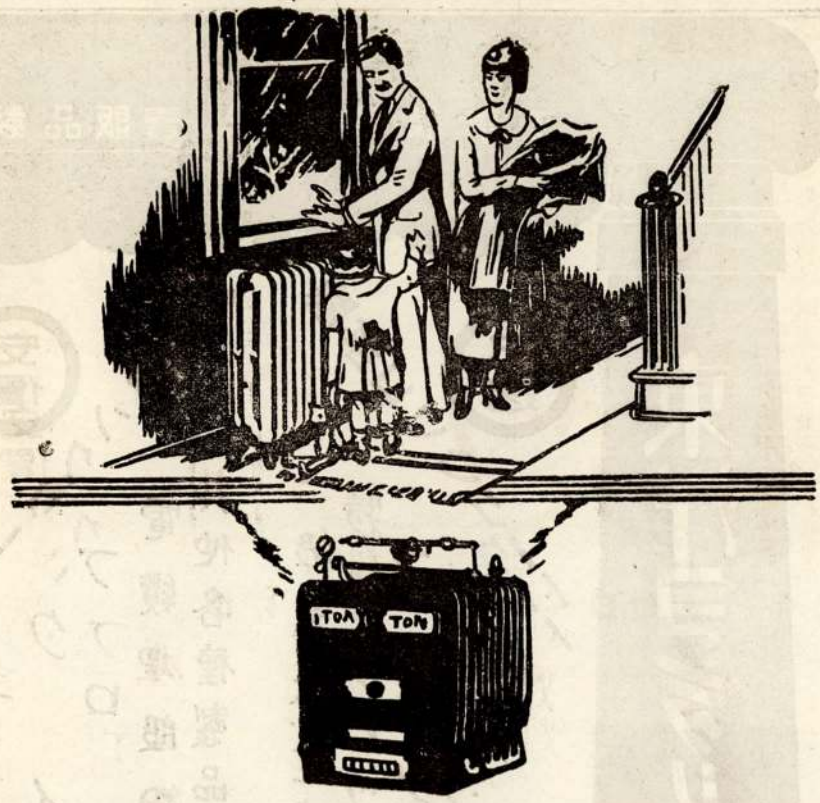
専賣特許
富士印クロースルーフ井ング

製造所 クロースルーフ井ング工場
大阪市東區平野町四丁目五八　電話本局五四〇七番

營業種目

- 田中式天窓（スカイライト）裝置
- 岡田式耐酸アスファルト
- 大橋及東洋式各種ラス
- 階段辷止金具ノンスリップ
- 高陽スレート
- 各種ルーフイング及フエルト
- タールピヤ及アスファルト
- 陸屋根地下室防水工事

岡田建築材料店
名古屋市西區西菊井町二丁目
電話西一二一番　振替名古屋五五九六番



株式會社
東亞鐵工所

大阪市此花區西九條濱通一〇

電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

株式會社
東亞鐵工所東京出張所

東京市麹町區丸ノ内ビル三九八

電話丸ノ内(23)一七九六番

營業案内

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

製品販賣　工事請負

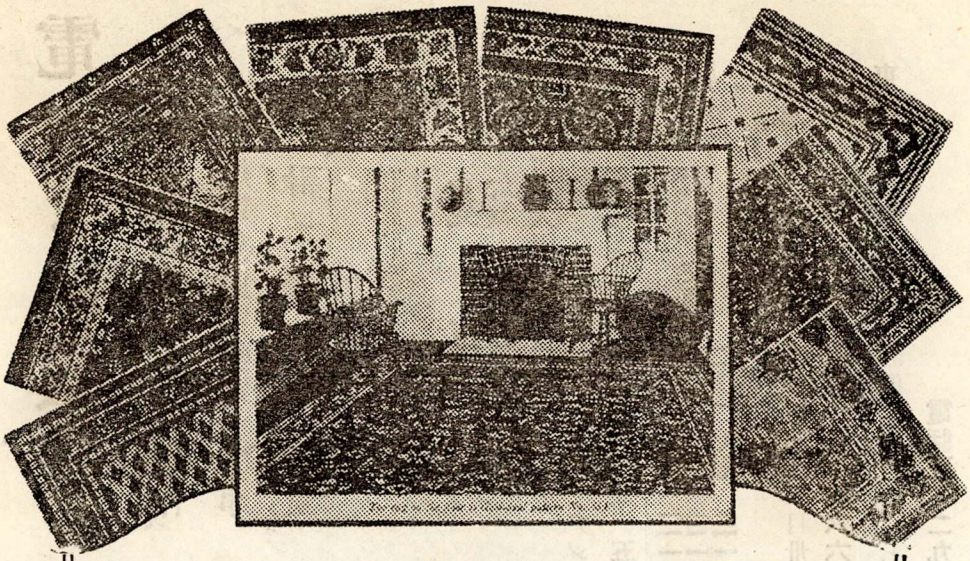
東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
ブロックトイル
電纜埋設用トラフ
其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
一般土木建築工事
特殊ブロック建築
ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀三八三四番



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
　　電話直通　北一五七六番
交換北一二一五番　三一九六番
二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番

東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番

特許

内藤式無煙風呂

浴場設備には

現代の文化的意義を充分に具備せる内藤式無煙風呂釜を御採用願ひます

特長

下向きに燃えて絶對無煙焚方簡易にして速く沸く燃料普通風呂釜の三分の一

（カタログ進呈）

大阪市天王寺區大道三丁目
株式會社　内藤製作所
電話天王寺一〇一五番

負請事工計設量測

大正九年創立

資本金貳百萬圓

日本水道衛生工事株式會社

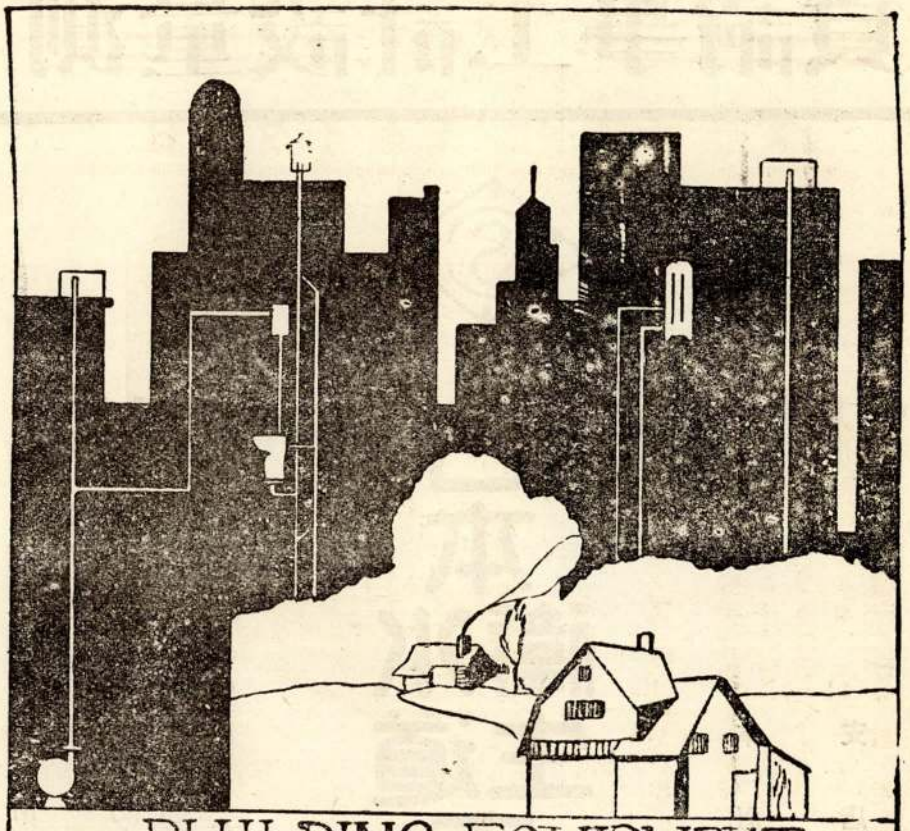
營業課目

上下水道工事（市、町、村住宅地、官衙、兵營、工場）
水力電氣工事
建築衛生工事（防火、給水、給湯、排水、汚水淨化）
煖房換氣工事（通風、冷房諸機械設備）
諸官廳ニ於ケル右工事手續代理行爲

本社　大阪市東區高麗橋詰町六〇
電話東長（二一四二二番）
電報略號　受信　ニチスイエイ
發信「ニス」又ハニ
振替口座　東京五一五七五番　大阪五三七一五番

支店　東京市京橋交叉點第一相互館
電話京橋（四〇〇一番）（四〇〇二番）

出張所　京都・神戸



BUILDING EQUIPMENT

都市水道
衛生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

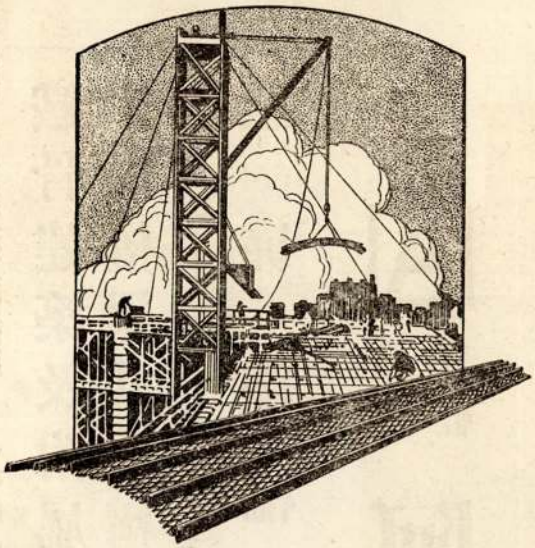
大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

Nippon
DIAMOND RIBLESS

日本ダイヤモンドリブラス

鐵道省、大藏省、各官廳指定品



國立大阪工業試驗所の試驗表(輸入品と比較)

御用(なたし)の節は御申越次第型錄に共さ御入用の品を使用する時は既に御送附致しました。御愛用の品產國に切かへ去りました。希望を希ます。

全國一手販賣店

三共貿易株式會社

東京市日本橋區江戸橋一丁目四

電話日本橋 二四八六番 三四八七番 三九九一番

關西、鮮、滿、臺、總代理店

奥村重兵衛商店

大阪市北區中ノ島六丁目

電話土佐堀 四六一番

製造元

合資會社 日進製作所

大阪市此花區四貫島旭町一丁目

電話土佐堀 二八四一番 三一三三番

日本**ダイヤモンドリブラス**最近納入先の一部

總理大臣官邸・東京帝大圖書館・日本勸業銀行・東京歌舞伎座・東京市政調査會館・秋田驛機關庫・寶生會・鐵道協會・日本電氣株式會社・聖心女學院・上野驛・横濱生糸檢査所・陸軍第一衛戍病院・內閣書記官長邸・飛行館・横濱栗田谷小學校・横濱老松小學校・大阪造幣局・關西學院・大阪鐵道局大阪勞働共勵館・日本銀行大阪支店・日本皮革株式會社大阪工場・三井銀行新町支店・天滿織物株式會社・大日本紡績株式會社・第一生命京都支店・枚方菊人形新館・山一證券株式會社大阪毎日京都支局・京都武田五一博士新邸・昭和レーヨン株式會社・東洋紡績一宮工場・明石警察署・姫路驛機關庫・廣島專賣局・福岡武德殿・佐賀市廳舍・九州水力電氣株式會社其他

●防火宣傳●

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シヤッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉鐵柵類一式

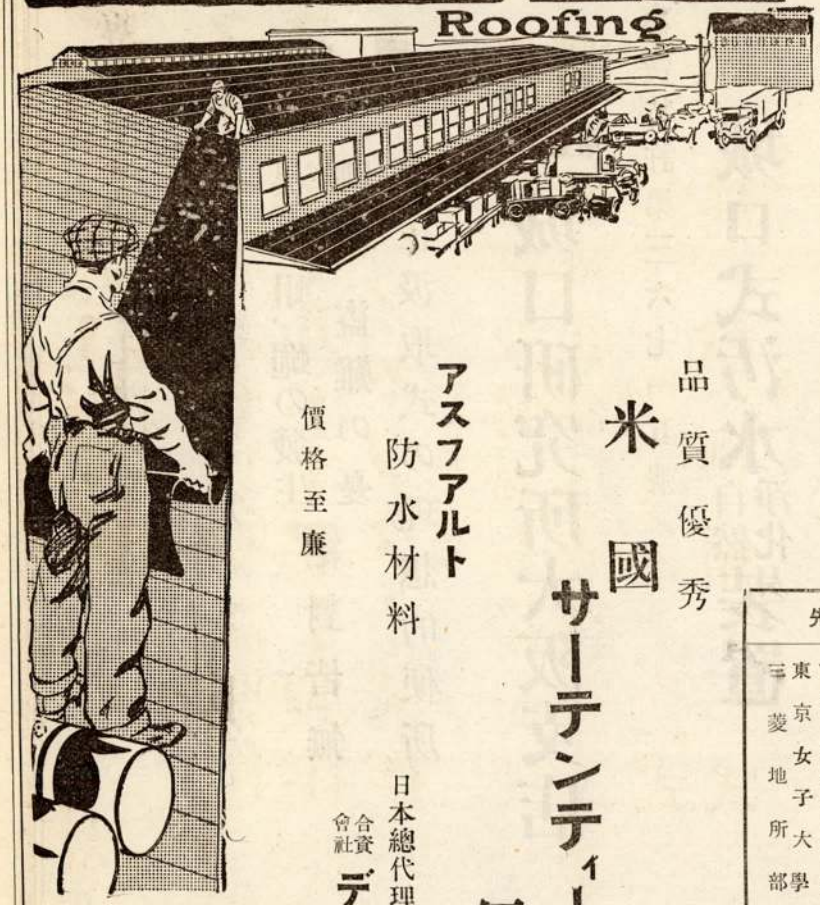
A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江上二丁目五九
電話土佐堀（長一八一四番 三八〇〇一番 八四一番）
振替口座大阪四八〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

内外建築大家御指定品

Certain-teed

Roofing





品質優秀

米國サーテンティード便利瓦

（ルーフィング）

アスファルト防水材料

價格至廉

日本總代理店

合資會社 **デウエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル

電話銀座一〇八一番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル

電話本局三七四四番

主なる御使用先

丸ノ内ビルヂング　三菱鑛業會社
日本郵船ビルヂング　久原鑛業會社
有樂館　横濱ユーナイテッドクラブ
東京帝國大學　横濱スタンダード會社
東北帝國大學　横濱ライヂングサン會社
早稲田大學講堂　清水組
三越吳服店　大林組
上野松坂屋本館　竹中工務店
アメリカンスクール　安藤組
東京女子大學　大倉土木會社
三菱地所部　戸田組

便所之改善

専賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絶對皆無
現在汲取式の理想的便所

専賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

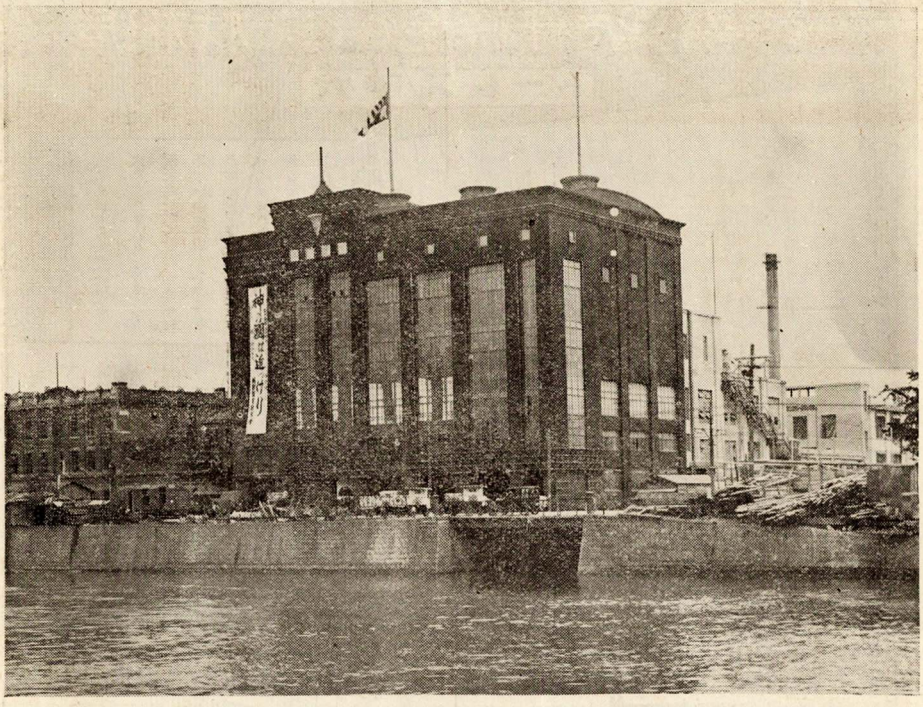
『パームチット濾水器』關西代理店

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二三 一九 一五 八六 番

本店	東京市神田區千代田町十八番地	特長 二二五二 三番 電話神田 二二五二 番
出張所	名古屋市西區本町三丁目五番地	東話電 二三七〇 番
同	京都市大和大路前	園祇話電 四七二四 番
同	神戸市三宮町一丁目百七十番地	三話電 一六一九八 番
同	横濱市常盤町五丁目八十一番地	
同	廣島市竹屋町百三十五番地	話電 二八〇八 番

江東サッシ御採用の大阪朝日會館



江東サッシ

東京・龜戸

電話墨田3138番

屋根材としての全條件を具備せる

六甲スレート

六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十cmの壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
「異狀ナシ」であります

六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六・七%」であります

阪工報第貳〇七號
報告書(寫)
神戸市北長狹通壹丁目壹壹番地八壹壹番屋敷
依賴者 野澤幸三郎
壹棟
一、品名六甲スレート
石當所ニ提出シタルモノニ付試驗ノ成績左ノ如シ
五壹壹・四坪
耐壓強度(壹平方糎ニ付)
但シ供試品ハ長穴・壹號孔・壹號孔・壹號ニッケル四片
捏リ積ミ原木共間ヲ純ポルトランドセメントモルタル二テ接
合シタルモノヲ以テ試驗ヲ施行ス
昭和貳年貳月拾九日
大阪工業試驗所
工業試驗所技手 武部末次郎回
大阪工業試驗所第一部長 理博士 井司市太郎回

阪工報第貳〇七號
報告書(寫)
神戸市北長狹通壹丁目壹壹番地八壹壹番屋敷
依賴者 野澤幸三郎
壹棟
一、品名六甲スレート
石當所ニ提出シタルモノニ付試驗ノ成績左ノ如シ
耐壓強度(壹平方糎ニ付)
供試體壹片ヲ採リ之ヲ五日間攝氏壹五度乃至貳〇度ノ清水中ニ
浸漬シ次ニ攝氏壹八度ニ冷却スルコト壹六時間ニシテ攝氏壹
五度乃至貳〇度ノ水中ニ投ジ四時間浸漬シ更ニ前記ノ如ク冷却
スル試驗ヲ貳五回繰ヲ返シタルニ著シク變化ヲ認メズ
昭和貳年四月十七日
大阪工業試驗所
工業試驗所技手 武部末次郎回
大阪工業試驗所長 理博士 井司市太郎回

六甲スレートの色合

現在販賣中の壹壹種類中淡黒及緑の六種でありまして何れも耐久的で色澤を使用致して居ります
葺し六甲スレート使用上特殊の方法を必要とせず普通の方法で施工して差支ありません

六甲スレートの導熱

石綿盤はコルク次に不良導體であることは世間周知の事實であります六甲スレートは石綿盤と同質であつて厚さ約三倍ありますから一層遮熱の効ある事申迄もないと存じます
英國アイラッセンドシンジケートの發表する處に依れば左の通りであります

	Iron 100	Roofing Tile 58.2	Natural Slate 46.4	Fibre Cement 13.9	Cork 9

維持費不要

耐壓力の強大と凍寒試驗をパスせる六甲スレートは自然維持費を要せず永久の御利益勝少でありませぬ

六甲スレート
葺上の体裁は
典雅荘重の四字であります
又雨降りと雖も滑らかなる流線美を發揮し氷柱を垂るゝ事なく
而して「つの特色を
無くも以て
一つの特色を
以て

道具屋
軒先ケラバ用各種附は勿論鬼斗棟
鬼板「巴」緑り等各種取揃居り各
「箕甲」も製作致して居ります

六甲スレートの伸縮

膨張係數は〇・〇〇二四即ち
一萬分の二強の伸縮あるのみ
であります

組社の特許權

專要特許	No. 29.305	大正四年十一月	
〃	No. 30.344	〃 五年十二月	
〃	No. 67.558	〃 十五年六月	
〃	No. 68.522	〃 〃 八月	
〃	No. 68.644	〃 〃 十月	
實用新案	No. 99.921	〃 〃 〃	
〃	No. 101.526	〃 〃 〃	

製造 日本石綿盤製造株式會社
發賣 野澤幸三郎商店

神戸 元長狹三丁目 番合 2830 2831
東京 丸ノ内 丸内3670
大阪 線路所 大辻ビル内 北5994
福岡 紺屋町三六 1945
振替 大阪 貳壹壹〇三 東京 四壹壹〇三 口座共通

昭和ビル内

鋼製建具

シヤッター
サッシュ
ドアー

元大阪鐵扉製作所

日本鋼製建具株式會社

大阪支店

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

電話土佐堀五九二〇番

本　社　東京市丸ノ内丸ノ内ビルヂング八階　**電話丸ノ内3627**

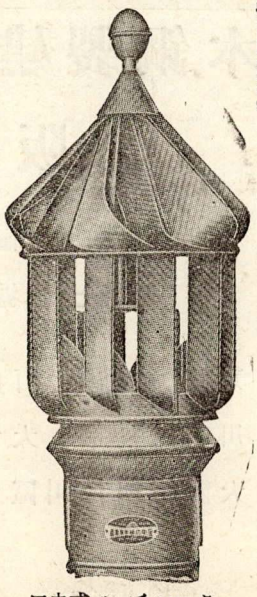
東京工場　川崎市大師河原　**電話川崎973**

大阪工場　大阪市西淀川區傳法町南二丁目　**電話土5920**

品川白煉瓦株式會社
大阪タイル部
大阪市西區江戸堀北通一丁目
電話土佐堀 { 711 / 7008 番

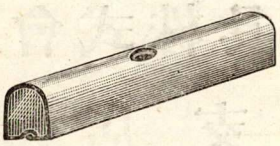
品質本位
品川タイル

!! 除風器界の權威 !!
學理と實際に基き製作したる最新式除風吸揚器


田中式ベンチレーター

保健！衛生！ 田中式除風吸揚器
實用新案（新案特許第一一四四八六號）

營業科目
◉和洋式建築金物
◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
◉釘針金平浪板諸材料
◉鋼鐵自働防火シヤッター
製＝作＝直輸＝入請＝負



各建築需要家に於て大好評を博しつゝある
實用新案鎭鑰巻
ユニオンレール
ユニオン印
建築金物製作發賣元

合名會社 西孫南店 建築金物部
電話北二八五〇番
大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋

同直輸出入部
電話船一九六・一九七番 三〇二九番
大阪市南區順慶町二丁目

理想的屋根の代表的スレート新材



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

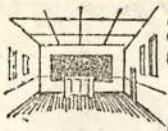
日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊦3468番・3469番
本社東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊦684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
門司市東本町四丁目 電話㊦548番
出張所 名古屋・仙臺・京城



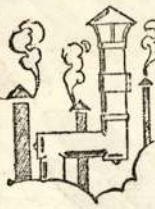
淺野波形板

母屋が木質でも鋼骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間仕
切壁等に用ひて
比類なき最適品



淺野煙突

燒けない・錆びない・
腐らない・火の用心
に
淺野煙突

社會式株トースレ野淺

市京東	市阪大	市司門	市屋古名	市幌札	府城京
京橋區三十間堀三丁目 電話 1861 1862 銀座 1862	北區中之島五丁目八 電 話 8295 8296 土佐堀 827	門司市白水町 電 話 1228 1931	中區南大津通 電話中 1097	三條通北一ノ四丁目 話特長 598	三一通江滋 電話 祇園 1226

建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

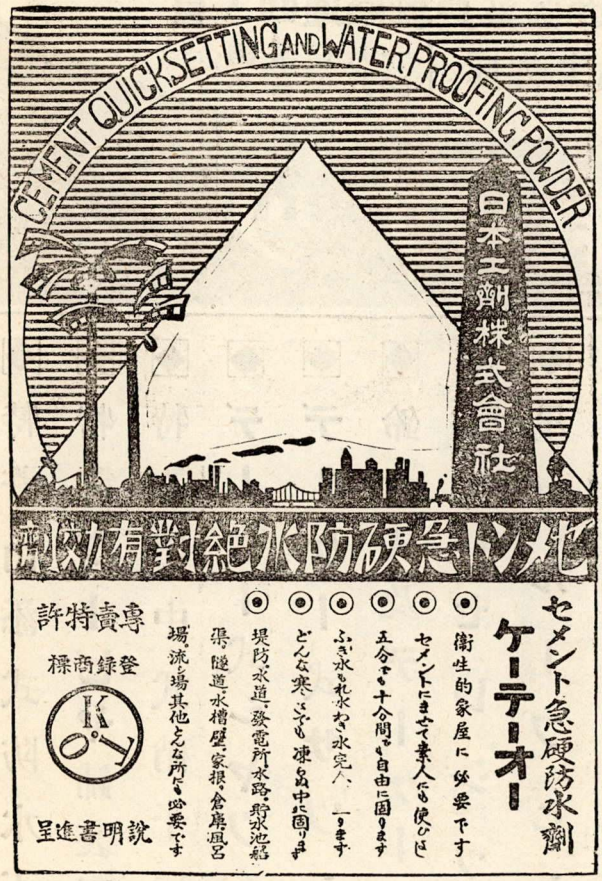
本店 大阪市西區江戶堀南通五丁目
電話土佐堀(二)二一六六番
～七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート（石綿盤）
天然スレート（石盤葺）
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

セメントを早く固めて
ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番

完全防水 ルーシールヴァエ

大理石代用 オパキサイト

マグスタッコ床塗

関西総元売

田中昌司商店

大阪市西區江戸堀南通四丁目

電話土佐堀 {一四八〇番 七三五八番}

江東サッシ

◆特許山添式防水工事
◆特許タービヤ舗装工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目

内外土木建築材料合資會社

電話局櫻川一六一〇番

一般電氣工事設計
監督請負

高級裝飾照明器具設計
製作並輸出入販賣

みよし組電氣工業所

營業所
大阪市東區味原町九九
電話南一〇三七・五貳二九
神戸・東京・福岡

製作所
大阪市東區味原町九九



塗裝工事請負
並ニ設計
材料販賣

松本商店

美壽本松主店

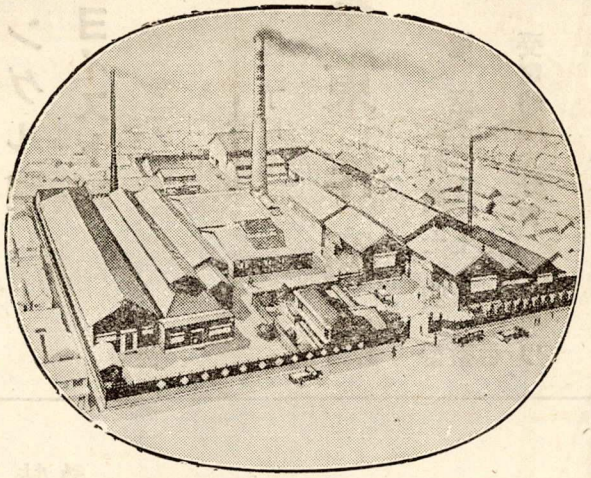
大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内
電話土佐堀二三九一・二一二五・三五〇九番

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用　ペイント用　染色用　陶磁器用　漆器用　建築用　皮革用　防水布用
製紙用　リノリユーム用　燐寸用　ゴム製造配合用　電線被覆用　印刷インキ用　印刷製版用　スレート用

製品種目

富士鳳印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鵄印	丹頂印	
四十鳥印	隼鳥印	鴫鳥印	椋鳥印	鵙鳥印		

（見本進呈）

發賣元　合資會社　大平工業所
大阪市西成區長橋通四丁目
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

代理店　藤澤友吉商店
大阪市東區道修町二丁目
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二

建築用鐵材

丸鐵、鐵板
角鐵、アングル鋼
平鐵、ジヨイスト鋼
チヤンネル鋼



大阪市西區立賣堀北通二丁目

山本東作商店

電話（新町七四番／同七五番／同七六番）
受電略號オサカ・ナニワヅ

鐵筋用丸鐵

在荷豊富見積書御一報次第提出可仕候

特許ORC式テーパー型鐵筋コンクリート造

煙突工事

合名會社 大阪鐵筋混凝土工務所

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川㈡一〇八六・二六二一
神戸出張所・名古屋出張所

（カタログ進呈）

(賜攝政宮殿下台覽)

各府縣市營繕課御推奬品

建築界之驚威

安くて
強くて
美しい

登錄商標

ミクニ板

(特許杉柾目 杢目天井板 板目)

關東特約販賣店

東京市京橋區本材木町三丁目
篠田政之助商店

青森秋田岩手宮城四縣特約店

青森市濱町五丁目
小館木材株式會社支店

大阪府特約店

大阪市西區立賣堀南通二丁目
澤田秀吉商店

京都府特約店

京都市河原通夷川角
藤原彌三郎商店

其他全國樞要ノ地ニ特約店販賣店アリ

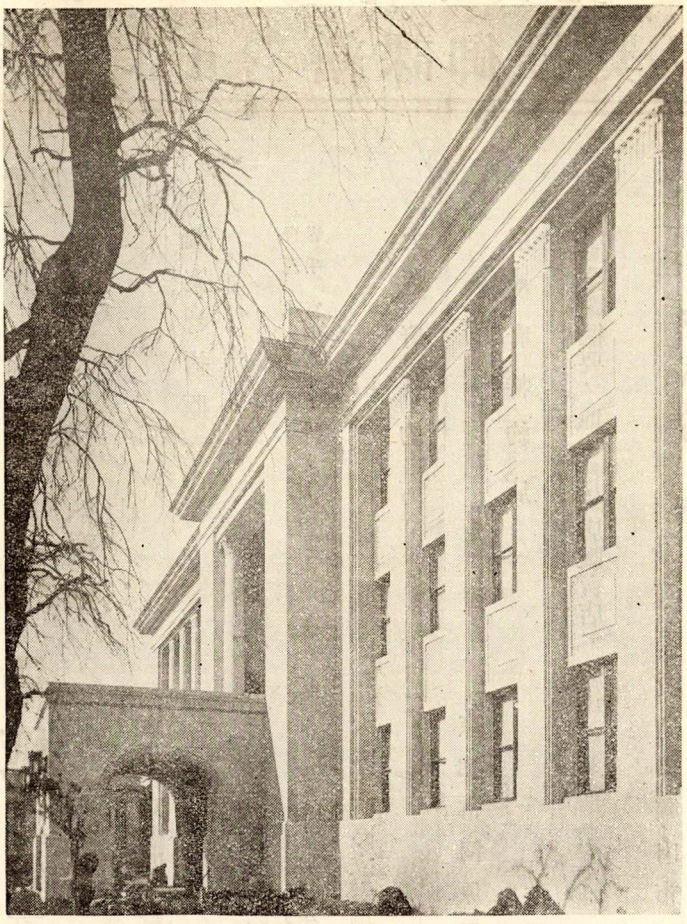
登錄商標

ミクニ板製造元

廣島縣福山市西町

日本木材工藝株式會社

長電三九七番



特許中村式**グラニツト**を以て全壁を被装せる**仙台市廳舍**

中村グラニツト商會

大阪營業所・大阪西淀川區海老江町一二〇〇
電話土佐堀**1357**
東京支店・東京市芝區月見町二ノ四
電話高輪**946**

地下水の利用

鑿井界之權威

多年ノ經驗ト優秀ナル技術ト誠意アル工事ハ他ノ追從ヲ許サズ弊會施行ノ鑿井ノ實績ヲ見ラル、モ明ナリ

詳細型絲進呈

獨逸式大鑿井工事請負

日本地下水協會

本社　堺市大濱北町公園地　電話堺㊷二二二九
大阪出張所　大阪市西區立賣堀南通四丁目　電話新町一〇九四
名古屋出張所　名古屋市中區矢場町東陽ビル　電話中局七七七

全國總代理店

常盤商事合資會社

大阪市東區備後町二丁目野村ビル　電話本町七五五

感謝狀

當市上水道ハ曩ニ於テ鑿井式蒲矢シテ湧泉湊々トシテ盡ヌ全國羨望ノ的タリ然ルニ第三水源井ノ湧水漸次減退シテ一晝夜二千石ニ過キサルニ至リタルヲ以テ貴會ト契約シ右水源ノ十二吋鑿井穿孔工事ヲ施シタルニ豫定ノ日數ヲ經ヲ完成シ其湧量忽チ一万石ニ達シ給水上ノ憂ナキヲ得ルニ至レリ右ハ獨特機能ヲ有スル貴會ノ獨逸式「パーホレター」機ニ因ルト共ニ又貴社終始精勵能ク責任ヲ果サレタル結果ニ外ナラス茲ニ鑿泉奏功感有トシテ推奨ト感謝ノ意ヲ表ス

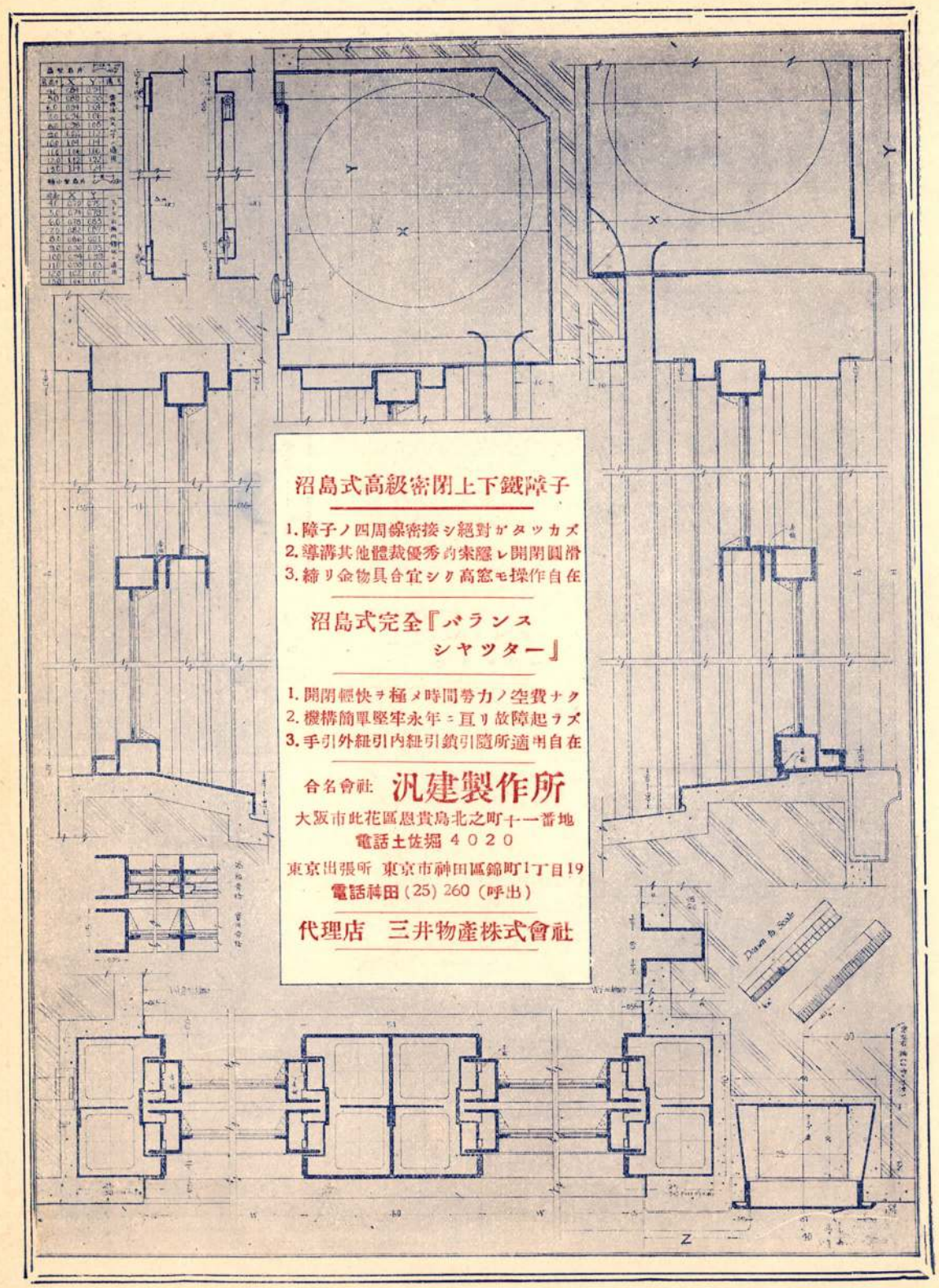
佐賀縣佐賀市長野口能敬㊞

日本地下水協會
佐々木正一郎殿

◉最近工事先御芳名

堺市役所水源地　佐賀市水源地　高岡市役所水源地（工事中）
錦華紡績佐賀工場　大和川染工場本社（工事中）　日本木材防腐會社（同）
大同土地興業櫻ヶ丘　東洋紡績一宮工場（同）　長崎紡績堺工場（同）
武雄町水源地　豐田紡織庄內川工場（同）　大阪織物株式會社（同）


東洋スレート株式會社
大阪市港區九條南通一丁目
電話西長九三・一六二・二五四二
次越申御本見錄型
第御送附申上候
波形スレートの特長
●東洋波形スレートはポーランドセメント及加奈太產石綿を原料とし弊社獨特の强大なる壓搾機により高壓壓力を加へて製造したるものなるが故に
●强度絕對無比
●水の浸透率極めて僅少にして雨漏の憂なし
●寒暑による伸縮又は龜裂破損の心配なし



沼島式高級密閉上下鐵障子

1. 障子ノ四周線密接シ絶對ガタツカズ
2. 導溝其他體裁優秀ノ案ニ據レ開閉圓滑
3. 締リ金物具合宜シク高窓モ操作自在

沼島式完全『バランス シヤツター』

1. 開閉輕快ヲ極メ時間勞力ノ空費ナク
2. 機構簡單堅牢永年ニ亘リ故障起ラズ
3. 手引外紐引內紐引鎖引隨所適用自在

合名會社 **汎建製作所**

大阪市此花區恩貴島北之町十一番地
電話土佐堀 4020

東京出張所 東京市神田區錦町1丁目19
電話神田(25)260(呼出)

代理店 三井物產株式會社

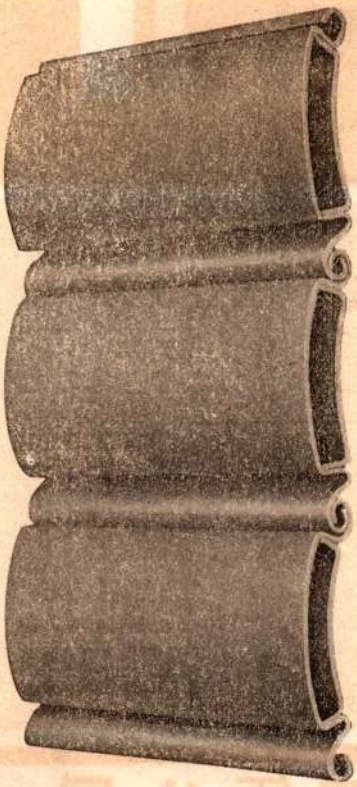
鈴木式ホロー・シヤタア

特許番號

日本	英國	米國
第一〇〇三三三號	第二六五八七三號	第一七〇七二八七號

米國特許局は今回
ホロー・シヤタアに第一七〇七二八七號を附して
特許を許可されました

世界の專門大家が……**世界一**……と
激賞する……ホロー・シヤタア



至急御申込を乞ふ

上等舶來アート摺一百二十頁、實例滿載の
新刊・ホロー・カタログ・御設計用として無代進呈

東京巢鴨町宮下
京都東山通月見町二

建築金物商會

SUDZKI'S PATENT
HOLLOW SHUTTER